

食育推進計画策定のための アンケート調査報告書

平成 28 年 10 月

匝 瑳 市

目次

第1章 調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査の内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書の見方	3
第2章 調査結果の概要	7
1. 回答者属性（一般）	7
(1) 性別について	7
(2) 年代について	7
(3) 職業について	8
(4) 同居している家族について	8
(5) 健康状態について	9
(6) 起床時間について	9
(7) 就寝時間について	10
2. 結果の概要	11
(1) 朝食について（質問1～質問4）	11
(2) 食生活について（質問5～質問12）	11
(3) 食生活に関する知識について（質問13～質問14）	12
(4) 食育について（質問15～質問19）	12
(5) 食の安全性について（質問20～質問21）	12
(6) 匝瑳市のことについて（質問22～質問25）	13
(7) その他の質問について（質問26～質問31）	13
(8) 小中学生の調査結果について（小中学生調査 質問1～質問23）	14
3. 総括	16
第3章 調査結果	21
1. 食生活等の状況について（一般）	21
質問1. 朝食について	21
質問2. 朝食の内容について	23
質問3. 朝食を欠食するようになった時期について	26

質問 4. 朝食を食べない理由について	26
質問 5. 主食・主菜・副菜がそろった食事の摂食について	27
質問 6. 欠食回数について	29
質問 7. 食生活について	31
質問 8. よくかんで食事をしているかについて	32
質問 9. 朝食を一緒に食べる人について（平成 28 年度のみ設問）	33
質問 10. 夕食を一緒に食べる人について（平成 28 年度のみ設問）	34
質問 11. 食生活において実行していることについて	35
質問 12. 自分の食事や食卓に対する不安や不満について	38
質問 13. 食生活に関することで知っていることについて	41
質問 14. どのような指針等を参考にしているかについて	45
2. 食育について	47
質問 15. 「食育」の意味を知っているかについて	47
質問 16. 「食育」への関心について	48
質問 17. 「食育」に関心がある理由について	49
質問 18. 食育が大切だと思う世代について	51
質問 19. 食育を行うにあたって重要な場所について	52
質問 20. 食の安全性について	53
質問 21. 食の安全性について不安に感じることにについて	54
質問 22. 匝瑳市に当てはまることにについて	57
質問 23. ここ 1 か月以内に購入した食材について	58
質問 24. 匝瑳市の郷土料理や特産品について	59
質問 25. 地元農産物のよい点について	64
質問 26. 行事食をどの程度行っているかについて	67
質問 27. 食育月間について	68
質問 28. 地産地消を進めていく上で必要なことにについて	69
質問 29. 食育ボランティアへの参加について	71
質問 30. 食育を通して知りたいことにについて	73
質問 31. 行政や地域社会に期待したいことにについて	76
食育に関する意見や感想について（自由記述）	78
第 4 章 小中学生調査結果	81
FS 1. 性別について	81
FS 2. 農作業や漁業を体験したことがあるかについて	82
質問 1. 「食育」を知っているかについて	83
質問 2. 朝食について	84
質問 3. 朝食の内容について	85
質問 4. 家族と一緒に朝食を食べるかについて	87
質問 5. 朝食を食べない理由について	88
質問 6. 起床時間について	89

質問 7. 就寝時間について	90
質問 8. 朝の目覚めについて	91
質問 9. 家族と一緒に夕食を食べるかについて	92
質問 10. 夕食の時間について	93
質問 11. 食事の際の会話について	94
質問 12. 食事を残さないようにしているかについて	95
質問 13. 残飯について（平成 28 年度のみ設問）	96
質問 14. 給食の時間について	97
質問 15. 家での食事について	98
質問 16. ご飯とパンのどちらが好きかについて	99
質問 17. 魚と肉のどちらが好きかについて	100
質問 18. よく食べるおやつについて	101
質問 19. のどが渴いたときに飲むものについて	102
質問 20. 出来合いの食べ物について（平成 28 年度のみ設問）	103
質問 21. ふだん心がけているものについて	104
質問 22. 匝瑳市の郷土料理や特産物について	105
質問 23. 食事の際にしていることについて	106
質問 24. 食物のことを知るためにしてみたいことについて	107
質問 25. ふだんのお手伝いについて（平成 28 年度のみ設問）	108
「食べること」や「食」についての意見や感想について（自由記述）	109
第 5 章 使用した調査票	113
一般調査票	113
小中学生調査票（共通）	128

・FSは「フェイスシート」の略で、アンケートなどの調査資料において、性別や年齢、職業など個人情報に関わる質問項目のことを指します。

第1章

調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

食育基本計画に基づき、本市の食に関する実情を把握し、「食育推進計画」を策定するための基礎資料を得るために行いました。

2. 調査設計

一般市民

- (1) 調査対象者 16歳以上の市内在住者 600人を無作為抽出
- (2) 調査方法 郵送配布、郵送回収
- (3) 調査時期 平成28年7月

小中学生

- (1) 調査対象者 市内にある小中学校 13校に通う児童・生徒 608人
(小学5年生 283人・中学2年生 325人)
- (2) 調査方法 集合調査(学校経由)
- (3) 調査時期 平成28年7月

3. 調査の内容

- (1) 食生活の状況について
- (2) 食育について

4. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
① 一般市民	597	239	40.0%
② 小学5年生	283	280	98.9%
③ 中学2年生	325	309	95.1%

※一般市民調査において、3通が宛先不明で返送されたため、母数を597としています。

5. 報告書の見方

- ・回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超えることがあります。
- ・回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入により端数処理しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が、合計欄の数値と一致しないことがあります。
- ・「性別」「年齢別」「家族構成別」「睡眠時間別」の結果については、統計検定で違いがみられたものを基に掲載しています。

第2章

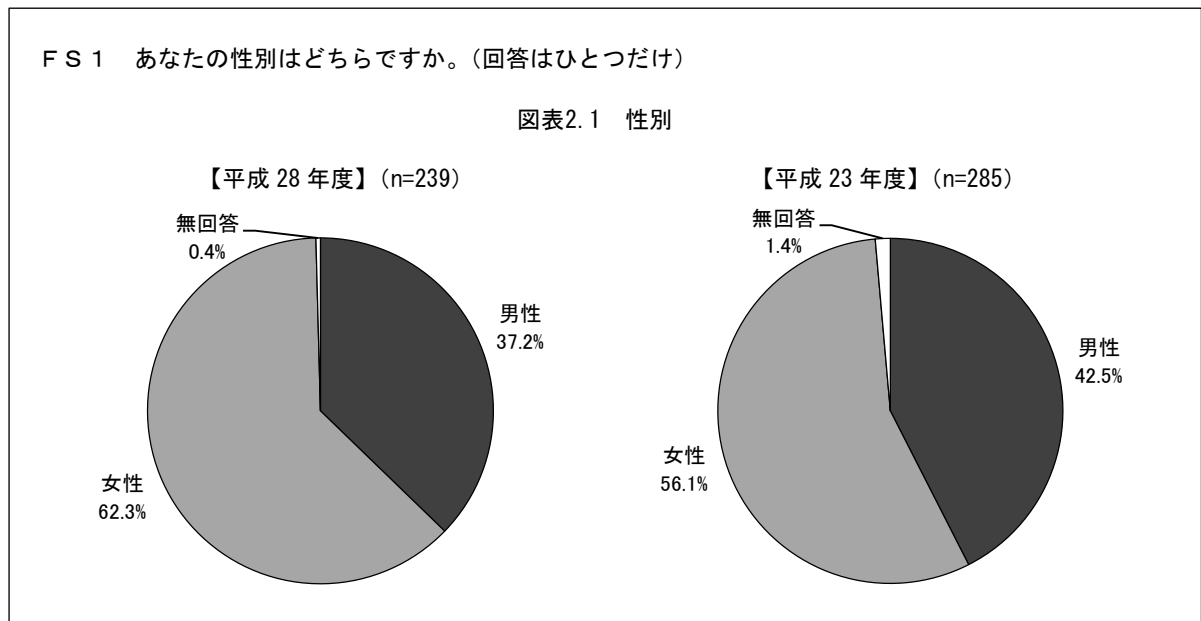
調査結果の概要

第2章 調査結果の概要

1. 回答者属性（一般）

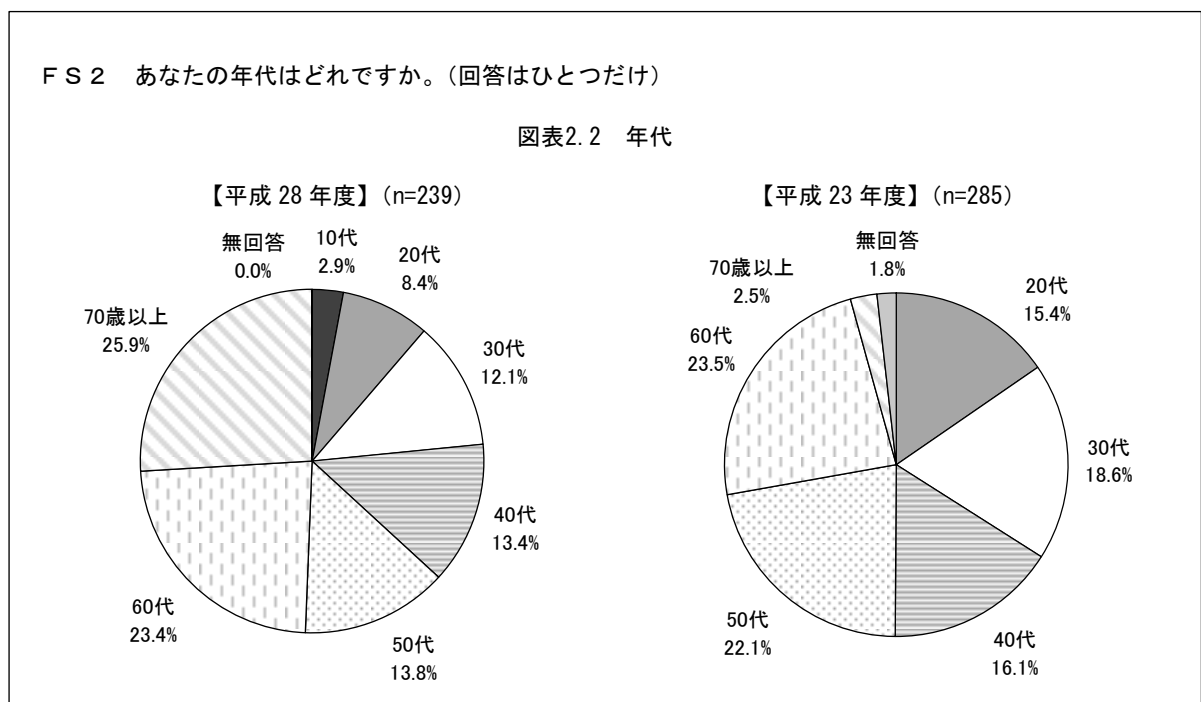
(1) 性別について

- 平成28年度は、男性が37.2%、女性が62.3%と、女性が男性を25.1ポイント上回っています。



(2) 年代について

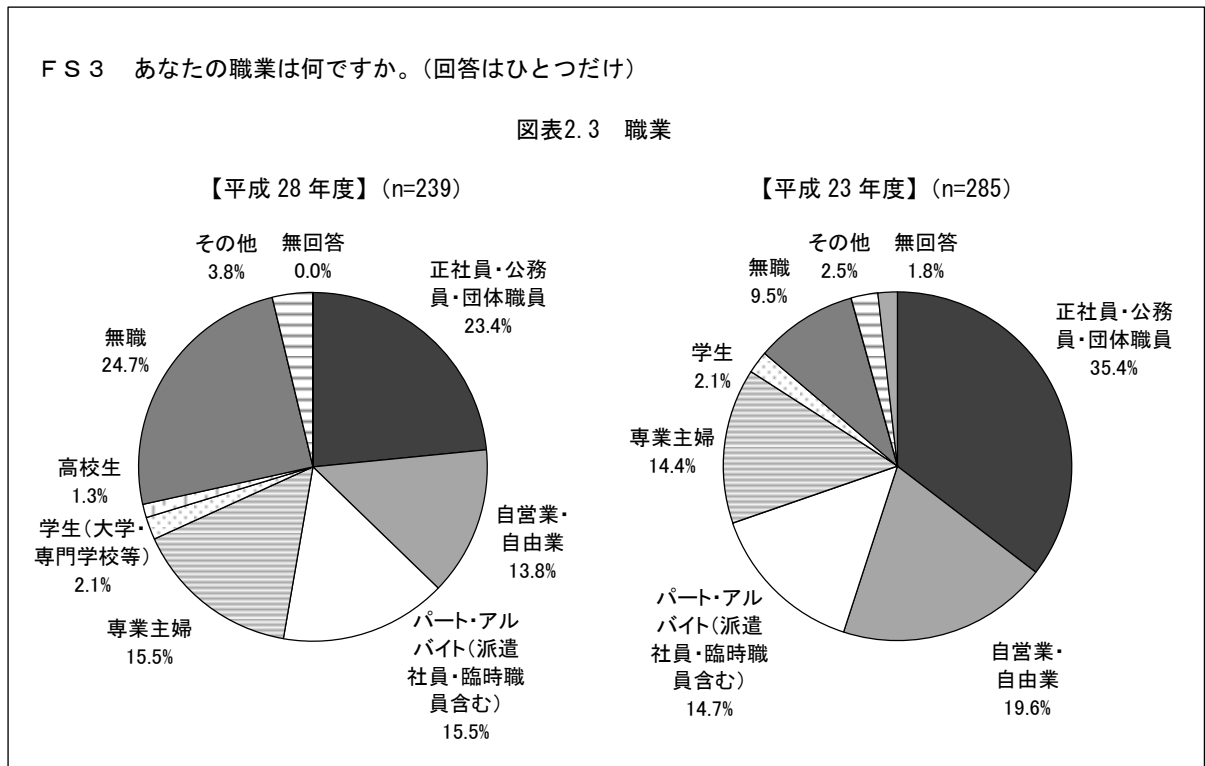
- 平成28年度は、70歳以上の割合が25.9%と最も高く、次いで60代が23.4%、50代が13.8%となっています。60代以上が49.3%と半数近くを占めています。



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、回答選択肢に「10代」はありません。

(3) 職業について

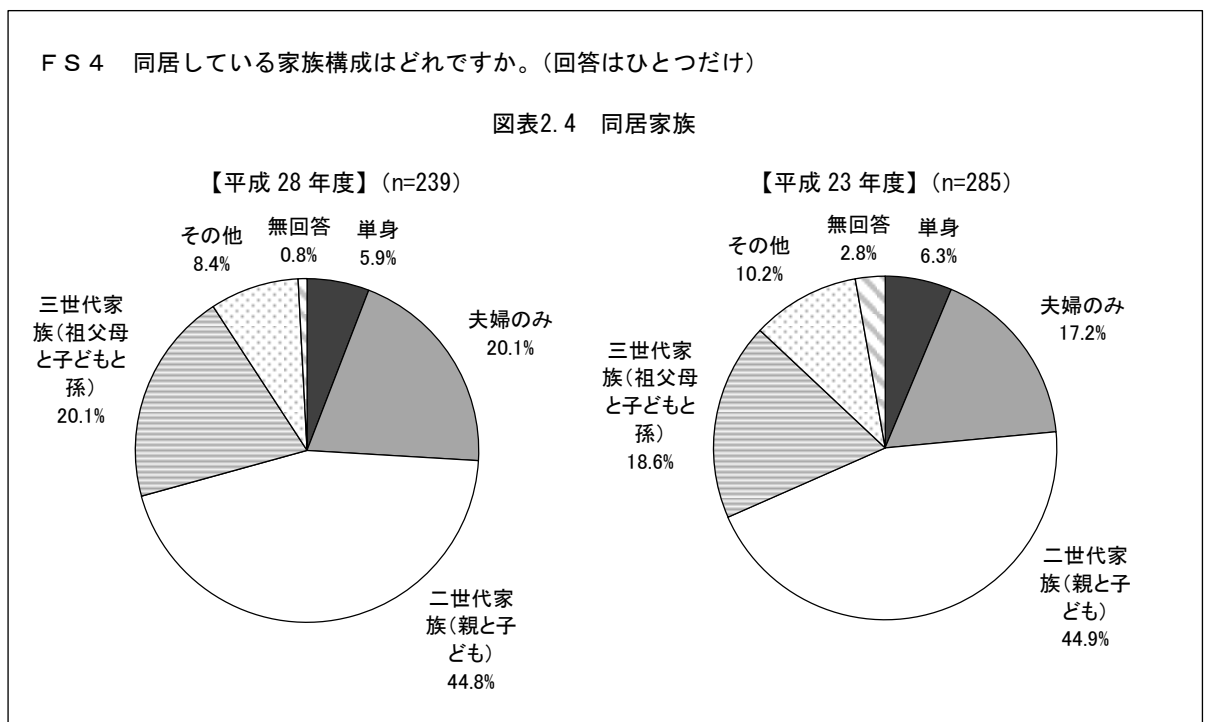
- 平成 28 年度は、「無職」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「正社員・公務員・団体職員」が 23.4%となっています。



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、回答選択肢に「高校生」はありません。

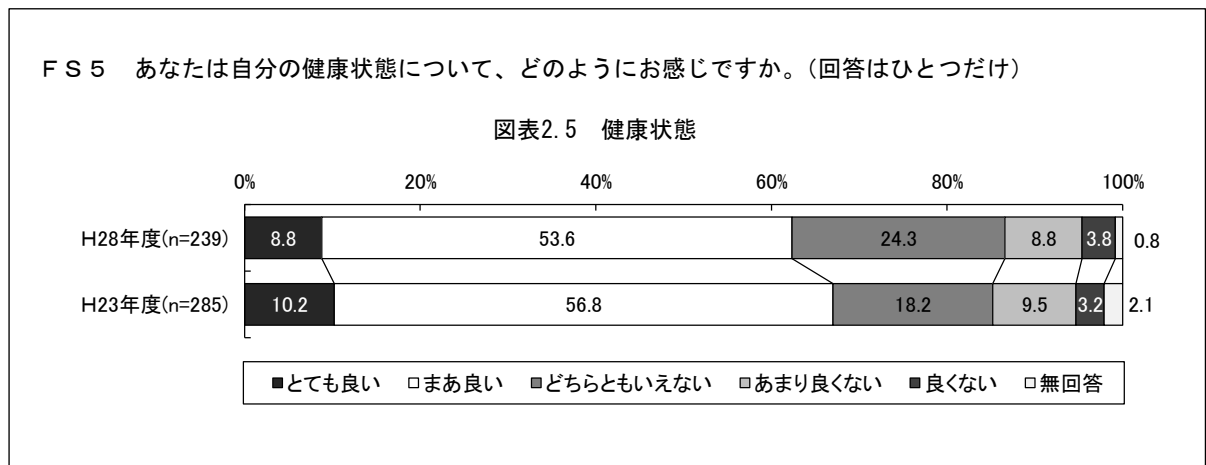
(4) 同居している家族について

- 平成 28 年度も前回調査同様、「二世世代家族(親と子ども)」の割合が 44.8%と最も高くなっています。次いで「夫婦のみ」「三世世代家族(祖父母と子どもと孫)」がともに 20.1%となっています。複数世代の同居が6割以上を占めています。



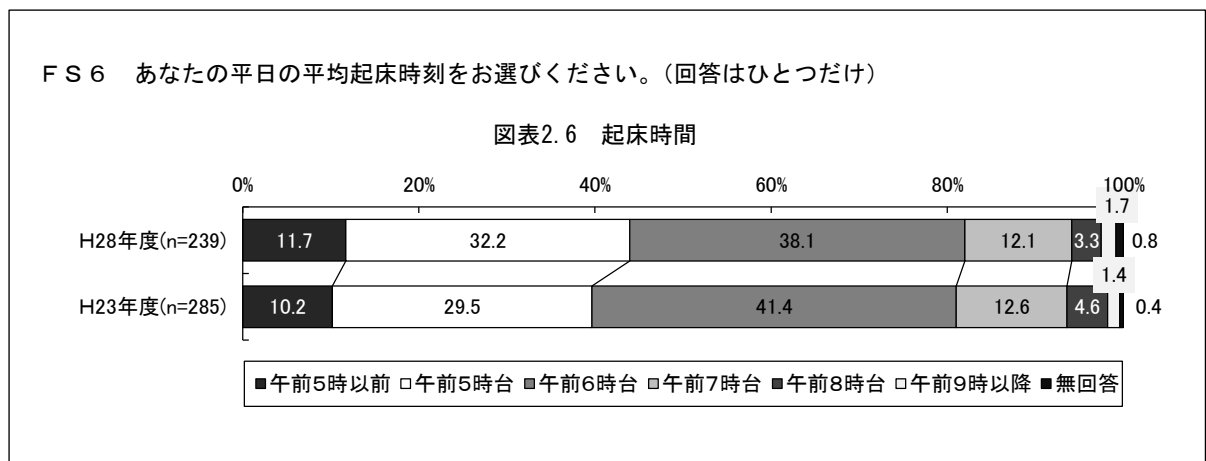
(5) 健康状態について

●平成28年度は、「まあ良い」が53.6%と最も高く、「とても良い」と合わせると62.4%となっています。



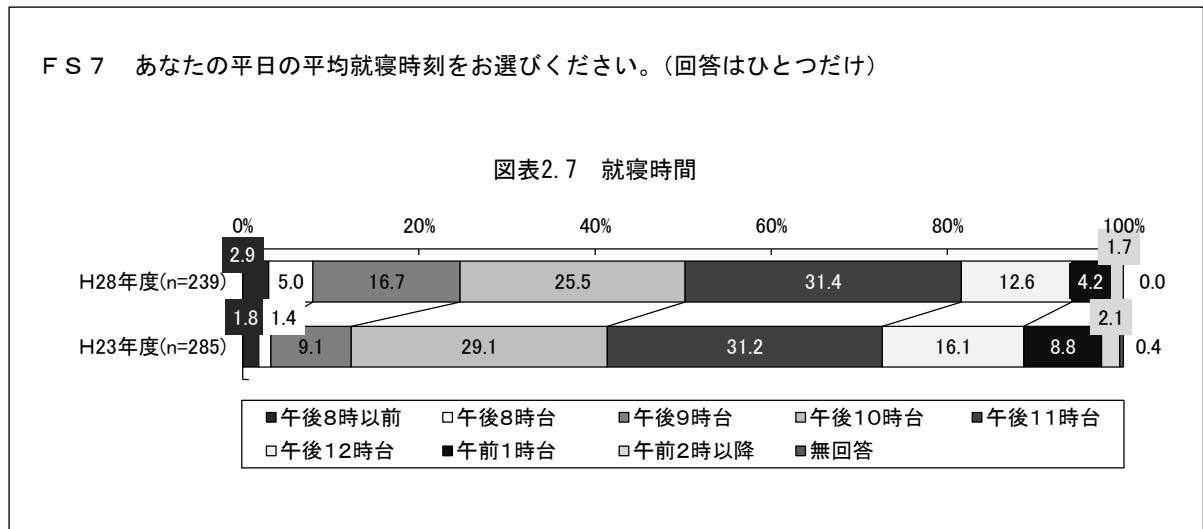
(6) 起床時間について

●平成28年度は、「午前6時台」の起床が38.1%と最も高く、次いで「午前5時台」が32.2%となっています。



(7) 就寝時間について

- 平成 28 年度は、「午後 11 時台」が 31.4%と最も高く、次いで「午後 10 時台」が 25.5%、「午後9時台」が 16.7%となっています。



2. 結果の概要

(1) 朝食について（質問1～質問4）

- 朝食の摂食は、8割以上がほとんど毎日食べていて、「ほとんど食べない」割合は、約1割となっています。
- 年齢別でみると、「ほとんど毎日食べる」のは全ての年代で7割を超えており、50～60代では8割台、70歳以上では9割以上と高くなっています。
- 朝食の内容は、主食である「ご飯・パン・麺」が9割以上、主菜の「肉・魚・卵・納豆などの大豆料理」が約5割、副菜の「野菜・芋料理・野菜たっぷりの汁物」は、約4割となっています。
- 年齢別でみると、30代で副菜の摂食が1割程度と低くなっています。
- 睡眠時間別では、睡眠時間が「6時間程度」の方の朝食の内容で、「菓子類（菓子パン含む）」が14.0%と最も高くなっています。
- 朝食の欠食は、「社会人になった頃から」と「仕事が忙しくなった頃から」が2割強、「学生（大学・専門学校等）の頃から」が2割弱となっています。
- 欠食の理由は、「朝は食欲がないから」が約4割となっています。また、3人に1人は「朝食を食べなくても特に困らないから」と回答しています。

(2) 食生活について（質問5～質問12）

- 主食・主菜・副菜がそろった食事の摂食は、約6割の人が「ほとんど毎日」摂っていると回答しています。
- 年齢別でみると、50代以上では約7割の人が「ほとんど毎日」摂っていますが、20代～40代では、4割程度となっています。
- 欠食の回数では、「食事を抜くことはない」が約7割となっていて、年齢別では、30代で約4割と、他の年代に比べ低くなっています。
- 咀嚼では、「よくかんで食べている」と「どちらかといえばよくかんで食べている」を合わせると約6割で、よくかんで食べている割合が多い傾向にあります。
- 食生活で実行していることとして、「野菜を多く食べる」で6割以上、「（家族がいれば）家族そろって食卓を囲み、会話をするようにしている」「1日3回、規則正しい食事をする」「自分で料理をしたり、家族の料理の手伝いをする」「寝る前や夜遅くに食事をしない」で5割以上となっていて、「食事の際に『いただきます』『ごちそうさま』を言う」「好き嫌いをしない」「食べ過ぎない」「食べ残しや廃棄を減らす努力をしている」についても4割程度実行されています。また、「料理教室等に参加する（おおむね1年に1回以上）」は1割未満と低くなっています。
- 性別でみると、女性の方が食生活で実行していることが多くなっています。
- 年齢別でみると、「1日3回、規則正しい食事をする」では、10代が約3割と最も低く、「塩分や糖分、脂肪をひかえる」では、10～20代が約1割と最も低くなっています。

- 自分の食事や食卓への不安や不満については、「つい好きなものだけを食べがちで、栄養バランスに偏りがある」「早食いをしてしまう」が3割程度となっています。
- 性別でみると、女性では「間食が多い」が19.5%と高くなっていますが、平成23年度の29.4%と比較すると9.9ポイント低くなっています。
- 年齢別でみると、「ゆっくりと食事をする時間がとれない」は、30代で4割弱、「食べる時間が不規則である」は、10代で3割弱と高くなっています。「早食いをしてしまう」では、10代で4割強、30代～40代で3割強と高くなっています。

(3) 食生活に関する知識について（質問13～質問14）

- 食生活に関する知識として、「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」「自分の適正体重」「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の意味」については6割以上が知っていますが、それ以外の項目に関しては4割以下となっています。
- 性別でみると、女性で「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」が約8割と高くなっています。
- 年齢別でみると、「自分の適正体重」は、10代、50代～70代以上で高く、7割以上以上が知っていると回答しています。また「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の意味」は、40代～70代以上で6割以上となっています。
- 健全な食生活の実践のために参考にしている指針については、「参考にしている指針はない」が約4割、「どの指針も知らない」が約2割となっています。

(4) 食育について（質問15～質問19）

- 「食育」という言葉について、「言葉も意味も知っていた」が約4割と最も高くなっています。
- 性別でみると、女性では「言葉も意味も知っていた」が約5割と高くなっています。また、男性では「言葉も意味も知らなかった」で約3割となっています。
- 「食育」への関心は、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせると、約6割となり、性別では、女性が約7割と高くなっています。
- 「食育」に関心がある理由として、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」が約7割、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」「食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから」が約6割となっています。
- 性別でみると、男女で「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」が6割以上と高くなっています。
- 食育が大切だと思う世代は、「小学生」が約6割と最も高く、食育を行うにあたって重要な場所は、「家庭」が約8割、「小学校」が約5割となっています。

(5) 食の安全性について（質問20～質問21）

- 食の安全性について、「不安を感じている」と「多少は不安を感じている」を合わせると約7割となり、性別では、女性が約7割と高くなっています。

- 食の安全性について不安に感じることについては、「原産地・原産国」が約8割と最も高く、「特にない」は0%となっています。
- 性別でみると、女性では「O-157 やノロウイルス等による食中毒」と「放射性物質の農作物等への影響」で高く、それぞれ約4割と5割強となっています。

(6) 匝瑳市のことについて（質問 22～質問 25）

- 匝瑳市に当てはまることとして、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせると、「匝瑳市では、必要な食材をスーパー、商店街などで購入することができる」が約8割と最も高くなっている反面、「匝瑳市では、食に関する必要な情報が得られると思う」と「匝瑳市では、食をテーマにした取組やイベントが活発だと思う」が2割を下回っています。
- 匝瑳市の郷土料理や特産品で知っているものは、「大浦ごぼう」「落花煎餅」で約7割となっています。
- 性別でみると、女性が「太巻き寿司」「いちご」「お米」「落花煎餅」「初夢（漬け）」「海草」で高くなっています。
- 年齢別でみると、20～40代は、50代以上に比べ、郷土料理や特産品を知らない傾向にあります。
- 地元農産物のよい点として、「新鮮」が約8割、「安全・安心」が約6割となっています。

(7) その他の質問について（質問 26～質問 31）

- 国や県が定めた「食育月間」については、「どれも知らなかった」が約9割となっています。
- 地産地消を進めていく上で必要なことは、「スーパーや八百屋に地元農産物コーナーを設置する」が約7割、「農産物直売所の充実を図る」「(学校や福祉施設での)給食で、地元農産物をより多く利用する」が約5割となっています。
- 性別でみると、男女とも「(学校や福祉施設での)給食で、地元農産物をより多く利用する」が高く、女性は約6割、男性は約5割となっています。
- 食育ボランティアへの参加は、「参加したくはないが興味がある」が24.3%と最も高くなっています。また、「参加してみたい」「条件が合えば参加してみたい」を合わせると25.5%となっています。
- 食育を通して知りたいことについては、「家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方」が約6割と最も高くなっています。
- 性別でみると、女性が「若さや活力、美容に良い食事のとり方」「手軽につくれる料理の仕方」で高くなっています。
- 年齢別でみると、「若さや活力、美容に良い食事のとり方」が、10代で約6割、40代～50代で4割程度と高くなっています。
- 行政や地域社会に期待したいことについては、「農薬や添加物を減らす等、より安全な食品生産・製造の指導」「自分や家族の健康状態・ライフスタイルに応じた食事の提案」が4割以上となっています。

(8) 小中学生の調査結果について（小中学生調査 質問1～質問23）

◎「食育」を知っているか

- 「食育」という言葉について、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が小学生約7割、中学生約6割と最も高くなっています。

◎朝食について

- 朝食を「ほとんど毎日食べる」が約9割と最も高く、朝食の内容は、主食が9割以上、主菜が約5割、副菜が約3割となっています。
- 朝食は、「家族の誰かと食べることが多い」が約5割と最も高くなっていますが、学年別で見ると、中学生では「一人で食べることが多い」が約3割、と小学生に比べ2倍となっています。また、「家族そろって食べることが多い」も中学生では減少しています。
- 朝食を食べない理由は、中学生では「朝は食欲がないから」が約8割と最も高く、小学生では「朝はできるだけ長く寝たいから」と「朝は食欲がないから」が約4割と最も高くなっています。

◎食事について

- 夕食は、「家族そろって食べることが多い」が約6割と最も高くなっています。「一人で食べることが多い」は、小学生で2.1%、中学生で6.1%となっています。
- 食事の際の会話は、小学生では「少し会話をする」と「たくさん会話をする」がともに4割台となっており、中学生では「少し会話をする」が4割台、「たくさん会話をする」が小学生より減少し、3割台となっています。
- 給食の時間について、「とても楽しい」と「楽しい」を合わせると、9割以上が楽しさを感じています。同様に家での食事についても、「とても楽しい」と「楽しい」を合わせると、9割前後が楽しさを感じています。

◎飲食の好みについて

- ご飯とパンのどちらが好きかについては、「両方好き」が約4割と最も高く、次いで「ご飯」が約3割となっています。魚と肉のどちらが好きかについては、小学生では「両方好き」が約5割、中学生では「肉」が約4割と最も高くなっています。
- よく食べるおやつについては、小学生は「アイスクリーム」が約5割、「スナック菓子・チョコレート菓子」が4割強、中学生は「アイスクリーム」が5割強、「スナック菓子・チョコレート菓子」が4割強となっています。
- のどが渴いたときに飲むものについては、「お茶」が約7割と最も高く、ついで「水」が4割台、学年別で見ると、中学生では「炭酸飲料」と「スポーツ・イオン飲料」が約4割と高くなっています。

◎普段心がけていること

- ふだん心がけていることについては、「朝ご飯を毎日食べる」が約7割と最も高く、「運動をする」が約6割、「睡眠を十分にとる」が約5割、「太りすぎない」が約4割となっています。

- 次いで、学年別でみると「栄養バランスや食べる量に気をつける」は、小学生では3割台、中学生では約2割となっています。

◎匝瑳市の代表的な産物や郷土料理や特産品について

- 匝瑳市の郷土料理や特産品で知っているものは、小学生では「お米」が約6割と最も高く、次いで「赤ピーマン」が約5割となっています。中学生では「赤ピーマン」が約5割と最も高く、次いで「落花生みそ」が約4割となっています。
- 学年別でみると、「大浦ごぼう」「ネギ」「いちご」「お米」では小学生が高く、「落花生みそ」「落花煎餅」「初夢（漬け）」「米粉パン」では中学生が高くなっています。

◎食事の際にしていることについて

- 「『いただきます』『ごちそうさま』を言う」が約8割と最も高くなっています。
- 次いで、学年別でみると、小学生では「食器を並べたり、一緒に料理したりするなど、手伝いをしている」が約5割、中学生では「食事を残さない」が約5割と高くなっています。

◎食物のことを知るためにしてみたいことについて

- 「料理教室」が約4～5割と最も高くなっています。
- 学年別でみると、小学生では「農業体験」「漁業体験」「牛や馬などの家畜の世話」「加工体験」が約2割～5割と高く、中学生では「特にない」が約3割と高くなっています。

3. 総括

<一般>

食生活について

朝食をほぼ毎日食べている割合は 83.3%で、摂食の内容も主食が 97.6%、主菜が 52.8%、副菜が 43.9%となっていますが、10代～40代では朝食の摂食が70%台と低くなっています。

朝食の欠食が始まったのは「社会人になった頃から」「仕事が忙しくなった頃から」が 23.8%、「学生（大学・専門学校等）の頃から」が 19.0%、「中学生の頃から」が 14.3%となっているため、朝食摂食に向けた対象者や時期の絞り込みが必要と言えます。

さらに、10代～40代では主食・主菜・副菜が揃った食事の摂食する割合が低くなっていて、食事自体の欠食する割合も高く、10代～30代ではゆっくりと食事をする時間すら取れていない割合も高くなっています。

食生活で実行されている割合が低いものとして「料理教室等に参加すること」や「テレビや本、携帯電話を見ながら食事をしない」「家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる」等が挙げられ、特に栄養バランスに偏りがあることへの不安や不満や、間食は女性に多いこともあるため、通常の料理教室や栄養講座以外に、食事をするときのマナーや地元農産物に直接触れること等の環境づくりも視野に入れる必要があります。

また、ゆっくりと食事をする時間がとれないと回答している 10代～30代は、食べる時間が不規則で、早食いする割合も高く3人に1人となっています。特に男性は自分の食事や食卓への不安や不満を感じていない割合が高いため、男性の 10代～40代に向けたメッセージも必要と言えます。

食育について

「食育」という言葉も意味にも知っているのは約4割で、平成 23 年度調査より 10.9 ポイント高くなっています。特に女性では、約5割が言葉も意味も知っており、食育への関心が高くなっています。しかし「食育月間」「食育の日」については、どちらも知らなかったが 86.2%という結果でした。食育への関心は、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」77.4%、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」61.6%、「食生活の乱れが問題になっているから」60.3%といった理由から施策の展開が望まれます。特に、生活習慣病予防、小学生に向けた「食育」、家庭や小学校で行う「食育」が望まれています。

食の安全性については、「不安を感じている」「多少不安を感じている」を合わせると 68.7%となっています。特に「原産地・原産国」81.1%、「食品中の添加物や農薬等」76.2%等に対する不安が強くみられます。また、地産地消の推進やより安全な食品生産・製造の指導が期待されていることから、地元農産物への検査体制の整備、スーパー等に地元農産物を取り扱ったコーナーの設置や、生産者からの声を伝えたり、学校等での地元農産物の利用といった施策が望まれるのと同時に、食に関する必要な情報の提供や食をテーマにした取組やイベントにも取り組むことが重要です。

食育を通して知りたいことは、男女とも「家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方」が約6割で、女性は「手軽に作れる料理の仕方」も5割を超えており、料理教室等の事業の取り組みや情報提供等も効果があると思われます。

<小中学生>

小中学生の約9割が朝食をほとんど毎日食べていますが、副菜を摂食している割合が約3割となっていて、孤食（「一人で食べることが多い」と回答）の割合は小学生が2割弱、中学生では3割強となっています。夕食時の孤食の割合は1割以下と朝食時に比べ低くなっているため、朝食時の孤食解消に向けた取組や、栄養バランスを考慮した朝食摂食に向けた取組が必要です。

「家族と一緒に夕食を食べることが多い」割合は、小中学生とも6割強で平成23年度調査より高くなっており、その結果、家での食事の時間について「とても楽しい」と回答した割合は、小学生60.0%で15ポイント、中学生31.7%で7.7ポイント平成23年度調査より高くなっており、家族そろって食事をするのが重要といえます。

よく食べるおやつは、「アイスクリーム」や「プリン・ゼリー・ヨーグルト」が約5割、スナック菓子・チョコレート菓子が4割強となっているため、子どものいる家庭を対象に栄養に配慮したおやつ作り教室等の開催といった取組も重要と言えます。また、喉が渇いた時にお茶が最も飲まれているため、お茶の効果について教えるといった取組も有効です。

匝瑳市の代表的な産物について、野菜類以外についても取り上げ、また、郷土料理や特産品についても小中学校を通して取り上げていく必要があります。

小中学生自身は食物のことを知るために、料理教室や農業体験等を知りたいと思っています。特に小学生では中学生よりも、農業体験や漁業体験等の体験を希望している割合が高くなっています。一般の調査からも食育は小学生を対象にすることや、家庭や小学校での食育が望まれていることもあるため、様々な体験の機会の提供についてさらに検討する必要があります。

第3章

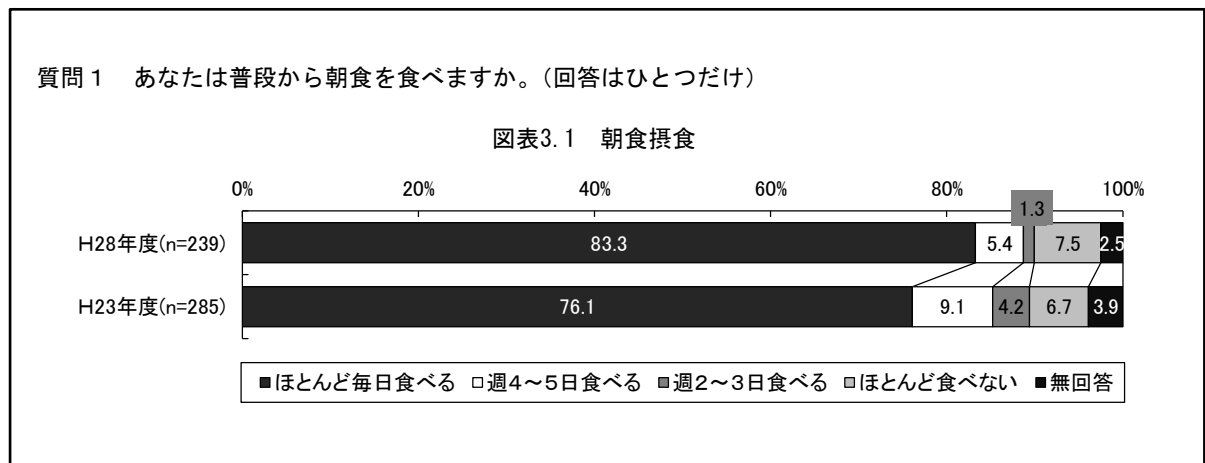
調査結果

第3章 調査結果

1. 食生活等の状況について（一般）

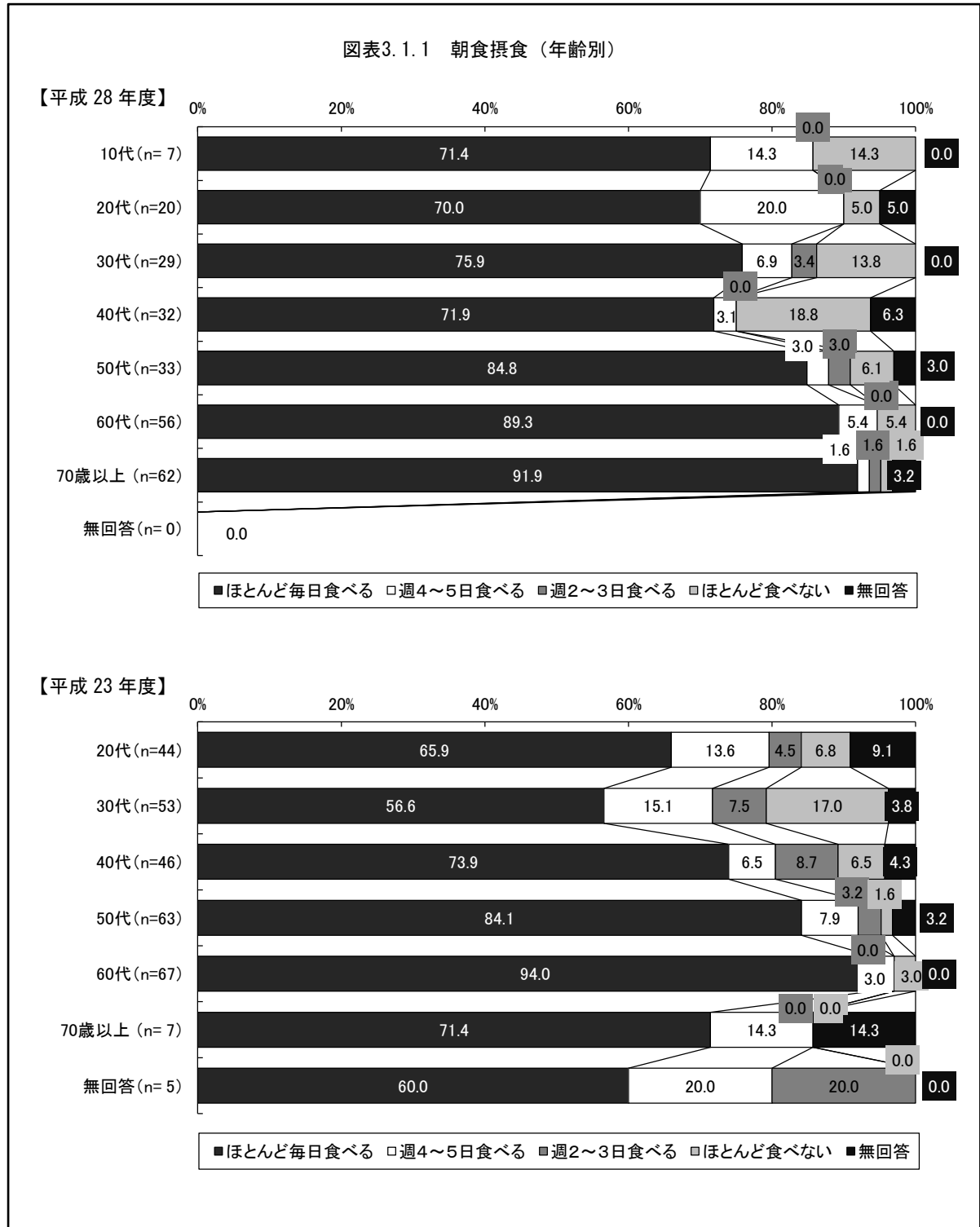
質問1. 朝食について

- 平成28年度は、「ほとんど毎日食べる」が83.3%と最も高くなっています。「週4～5日食べる」と合わせると88.7%となります。
- 「ほとんど食べない」は、平成28年度では7.5%と平成23年度より0.8ポイント高くなっています。



(年齢別)

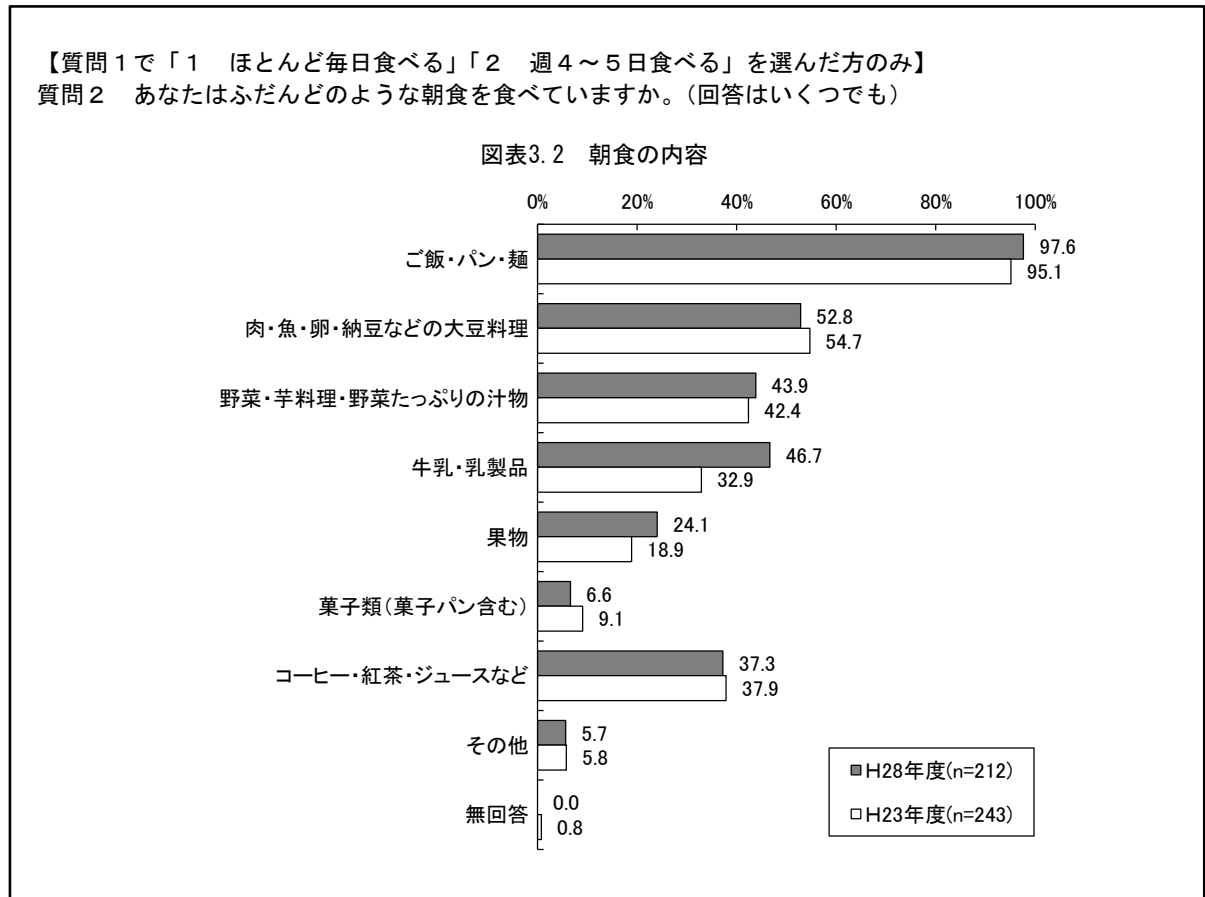
- 平成28年度は、「ほとんど毎日食べる」は全ての年代で70%を超え、70歳以上では91.9%と高くなっています。



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

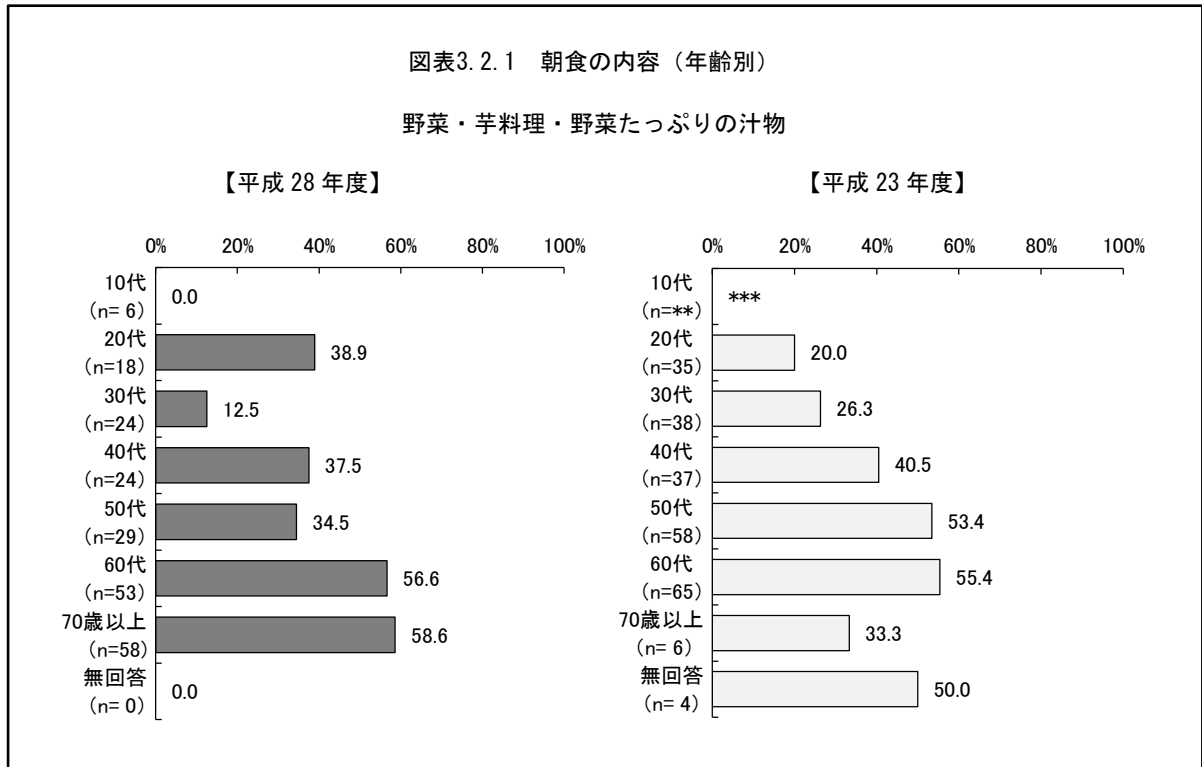
質問2. 朝食の内容について

- 平成 28 年度は、主食の「ご飯・パン・麺」が 97.6%と最も高くなっています。主菜の「肉・魚・卵・納豆などの大豆料理」は 52.8%、副菜の「野菜・芋料理・野菜たっぷりの汁物」は 43.9%となっています。
- 平成 28 年度は、「コーヒー・紅茶・ジュースなど」が 37.3%となっています。
- 平成 28 年度は平成 23 年度より、「牛乳・乳製品」で 13.8 ポイント、「果物」で 5.2 ポイント高くなり、「菓子類（菓子パン含む）」で 2.5 ポイント低くなっています。



(年齢別)

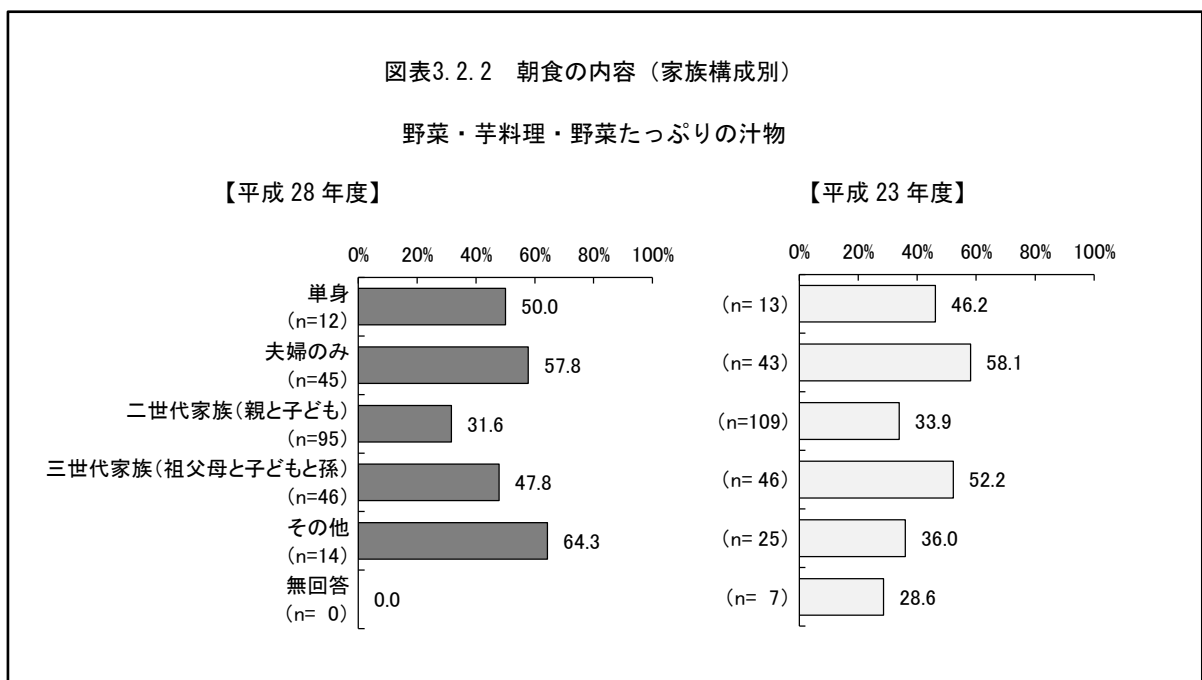
- 「野菜・芋料理・野菜たっぷりの汁物」は、平成28年度では、30代(12.5%)で約10%と低くなっていますが、60代以上では50%以上となっています。
- 20代では、平成23年度は20.0%であったものの平成28年度では38.9%と2倍近く摂取する割合が高くなっています。



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

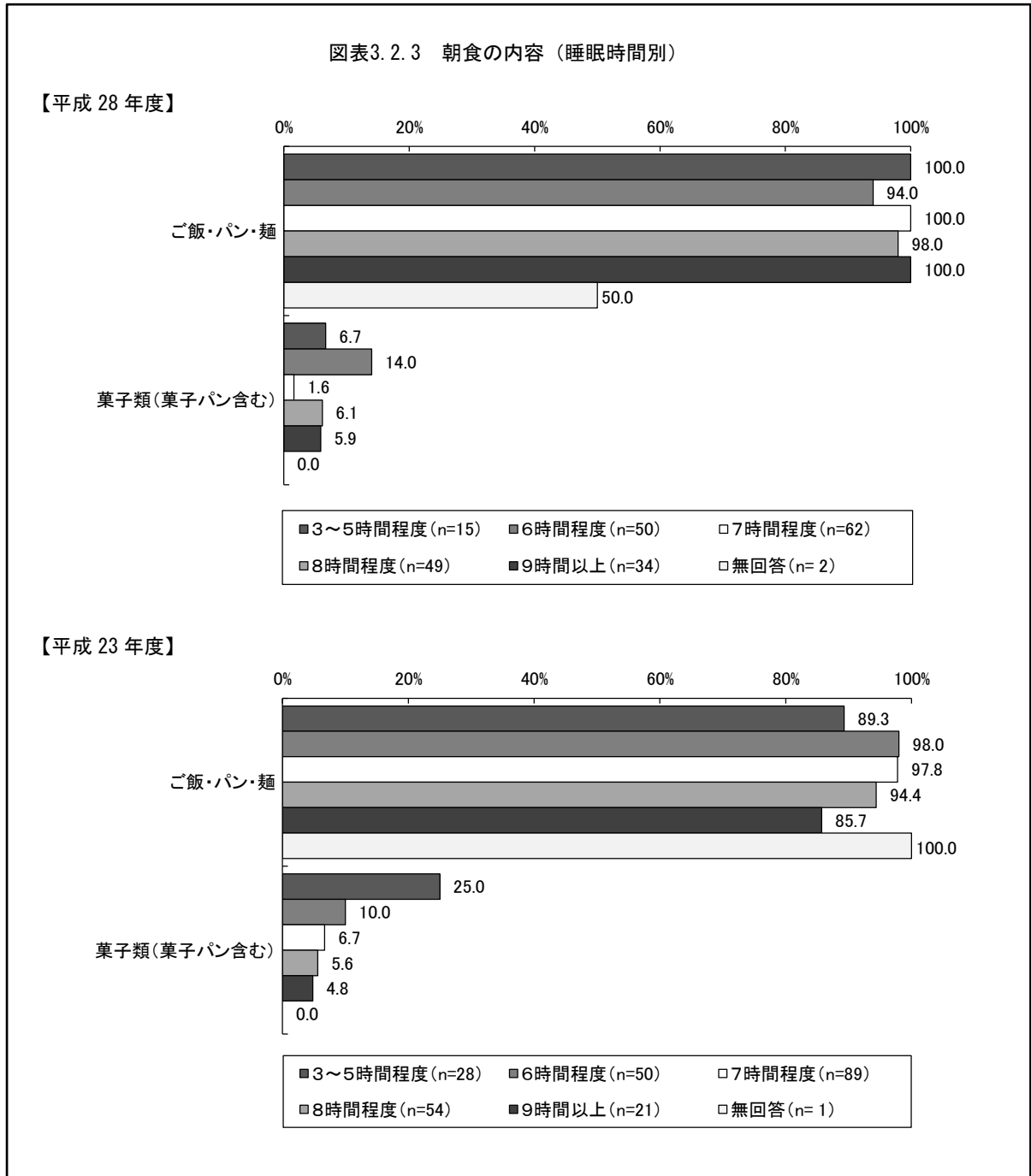
(家族構成別)

- 「野菜・芋料理・野菜たっぷりの汁物」は、「夫婦のみ」(57.8%)、「単身」(50.0%)で50%以上となっていますが、「二世世代家族(親と子ども)」では31.6%と低くなっています。



(睡眠時間別)

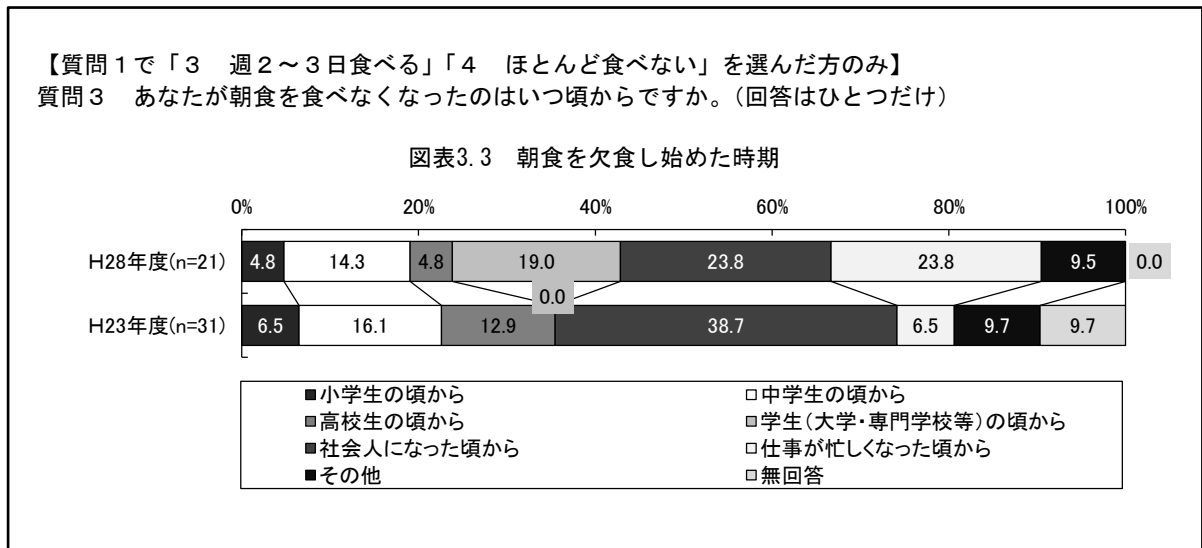
- 平成 28 年度は、「ご飯・パン・麺」では「6時間程度」(94.0%) が若干低い傾向にあります。
- 平成 28 年度は、「菓子類(菓子パン含む)」では「6時間程度」が 14.0%と最も高くなっています。



※菓子類(菓子パンを含む)は、23年度調査とは設問項目及び傾向が異なります。

質問3. 朝食を欠食するようになった時期について

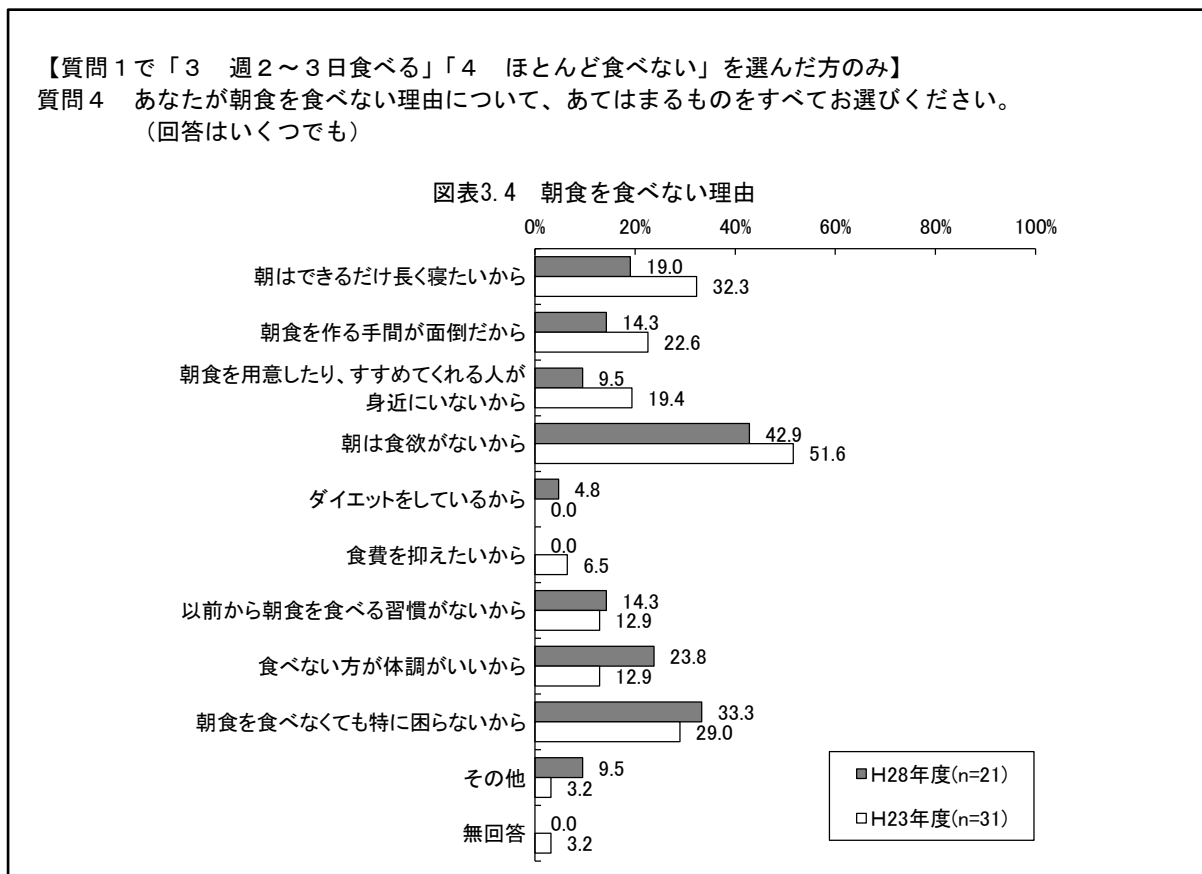
- 平成28年度は、「社会人になった頃から」「仕事が忙しくなった頃から」がともに23.8%と高くなっています。また、「学生（大学・専門学校等）の頃から」が19.0%、「中学生の頃から」が14.3%となっています。



※平成23年度の回答選択肢に「学生（大学・専門学校等）の頃から」はありません。

質問4. 朝食を食べない理由について

- 平成28年度は、「朝は食欲がないから」が42.9%と最も高く、次いで「朝食を食べなくても特に困らないから」が33.3%「食べない方が体調がいいから」が23.8%となっています。



健康のためには栄養バランスのとれた食事が必要です。栄養バランスのとれた食事の一つのポイントとして、「主食・主菜・副菜のそろった食事」があげられます。

主食 ⇒ ご飯・パン・麺類等（主に炭水化物）

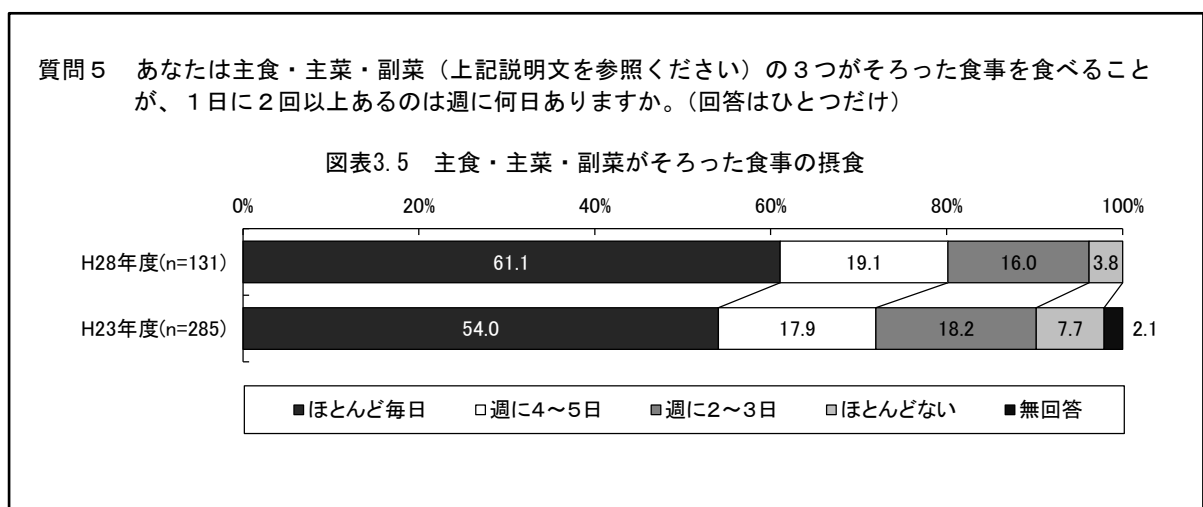
主菜 ⇒ 肉・魚・卵・大豆製品等（主にたんぱく質や脂肪）

副菜 ⇒ 野菜・海藻等（主にビタミン、ミネラル、食物繊維）

（これに、乳製品や果物を適度にとると、更に健康に良いとされています。）

質問5. 主食・主菜・副菜がそろった食事の摂食について

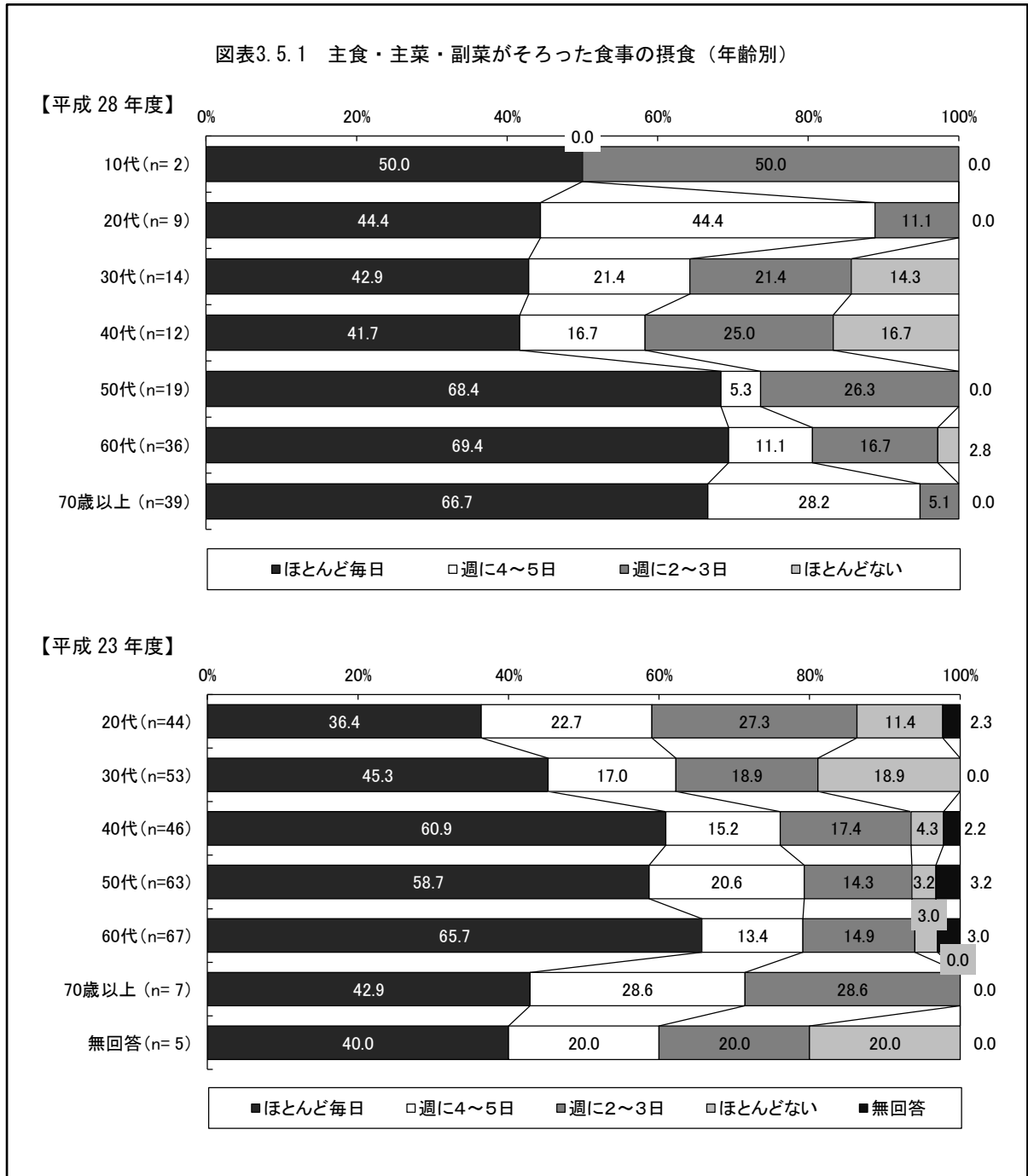
- 平成28年度は、「ほとんど毎日」が61.1%と最も高く、「週に4～5日」と合わせると80.2%となっています。また、「ほとんどない」は3.8%となっています。



※平成28年度は無回答者を母数から差し引いて割合を算出しています。

(年齢別)

- 平成28年度は、「ほとんど毎日」が10代~40代(順に、50.0%・44.4%・42.9%・41.7%)で低く、50代以上では60%を超え高くなっています。

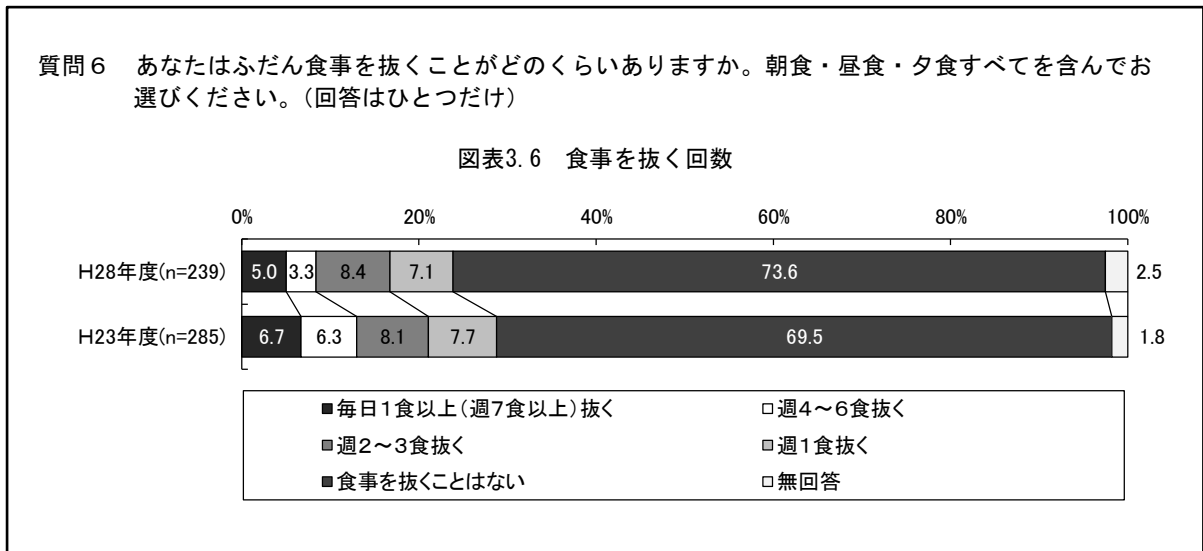


※平成28年度は無回答者を母数から差し引いて割合を算出しています。

※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

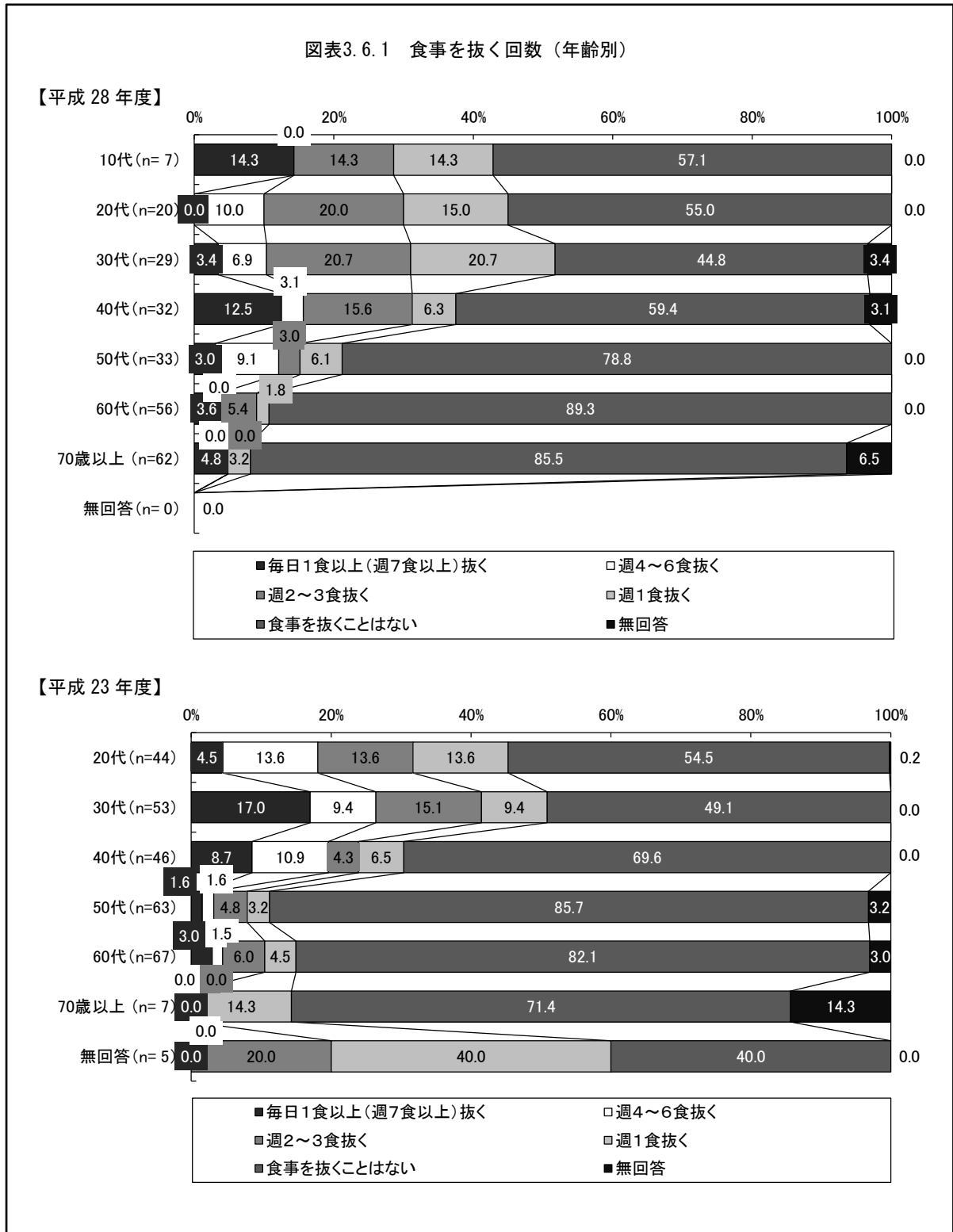
質問6. 欠食回数について

●平成 28 年度は、「食事を抜くことはない」が 73.6%と最も高くなっています。「週2～3食抜く」が 8.4%、「週 1 食抜く」が 7.1%となっています。



(年齢別)

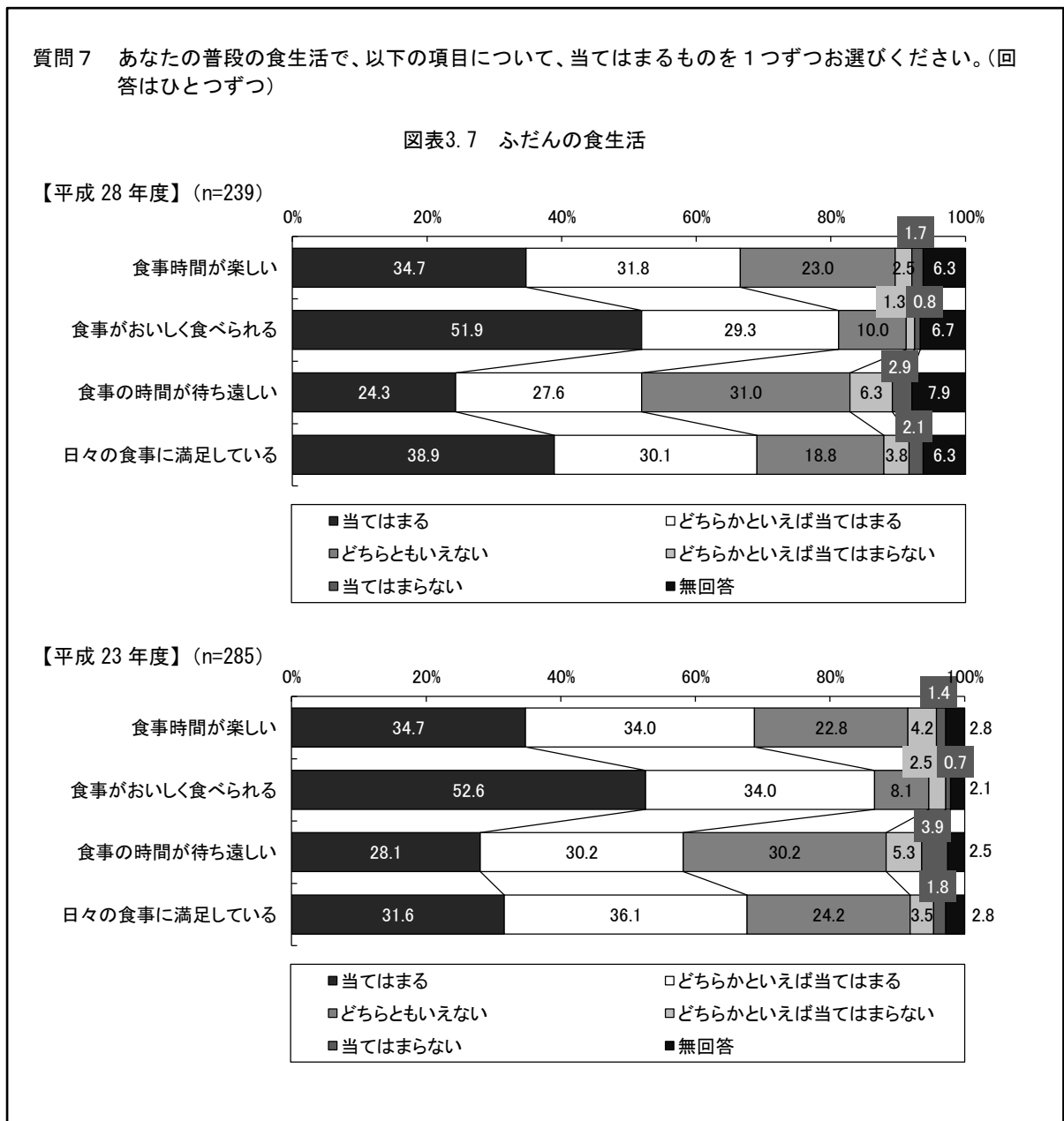
- 平成 28 年度は、「食事を抜くことはない」では 60 代以上で 80%以上となっていますが、50 代では 78.8%、40 代では 59.4%、30 代では 44.8%、20 代では 55.0%、10 代では 57.1%と、60 代以上と比べ減少しています。



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

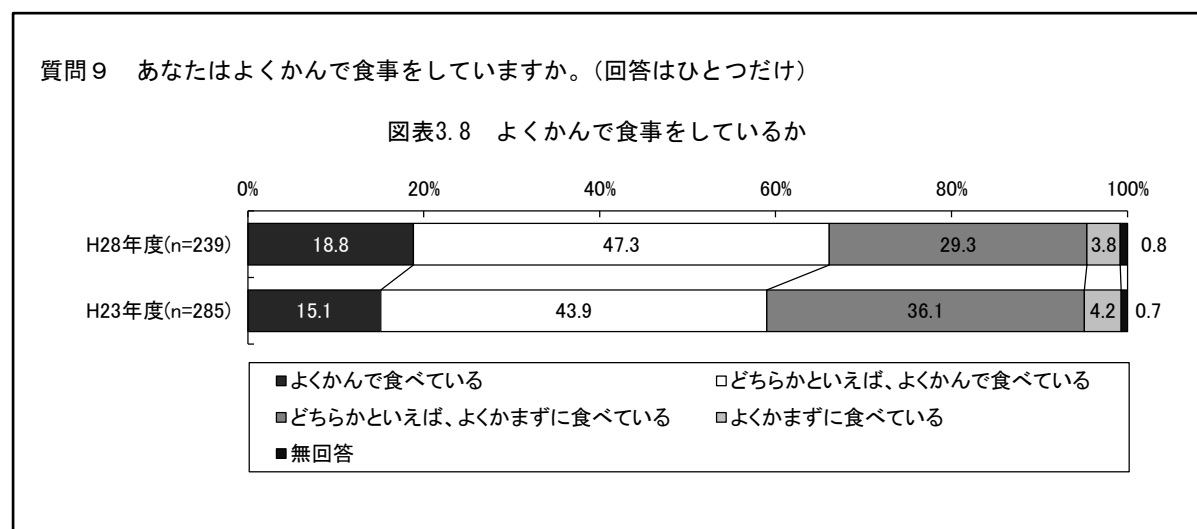
質問7. 食生活について

●平成 28 年度は、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせると、すべての項目で5割以上となり、特に「食事がおいしく食べられる」では81.2%となっています。



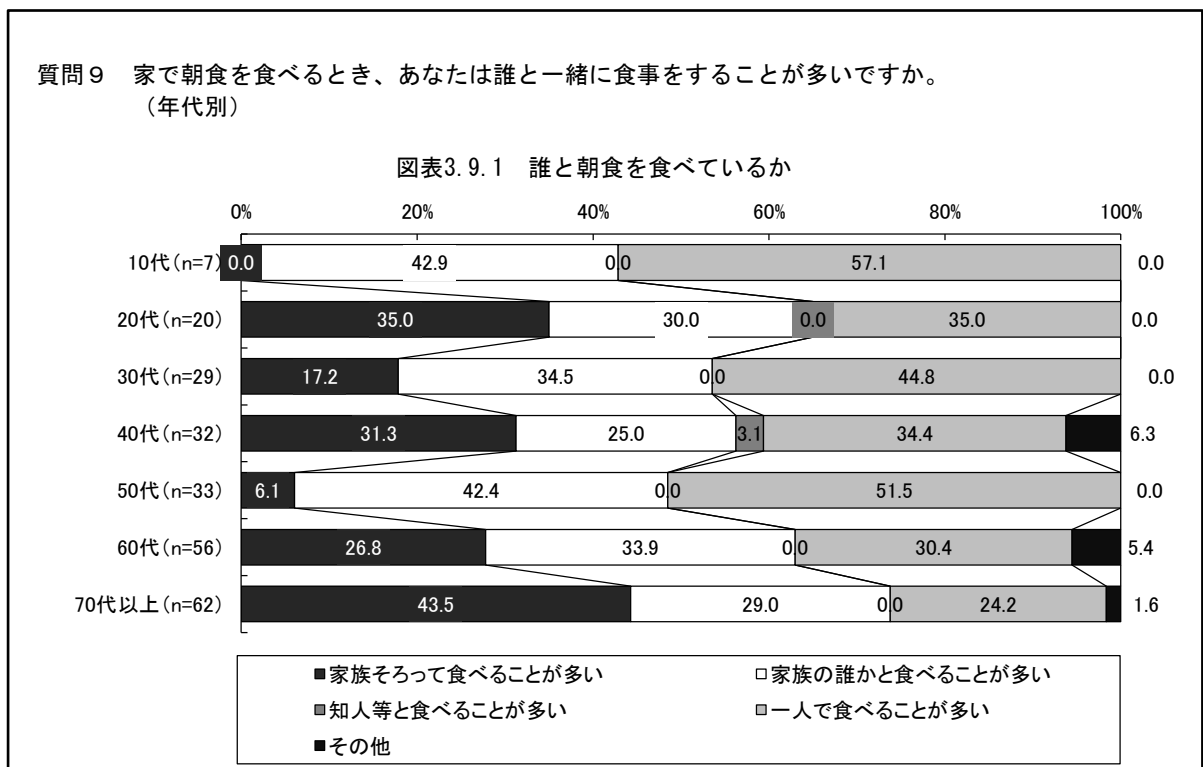
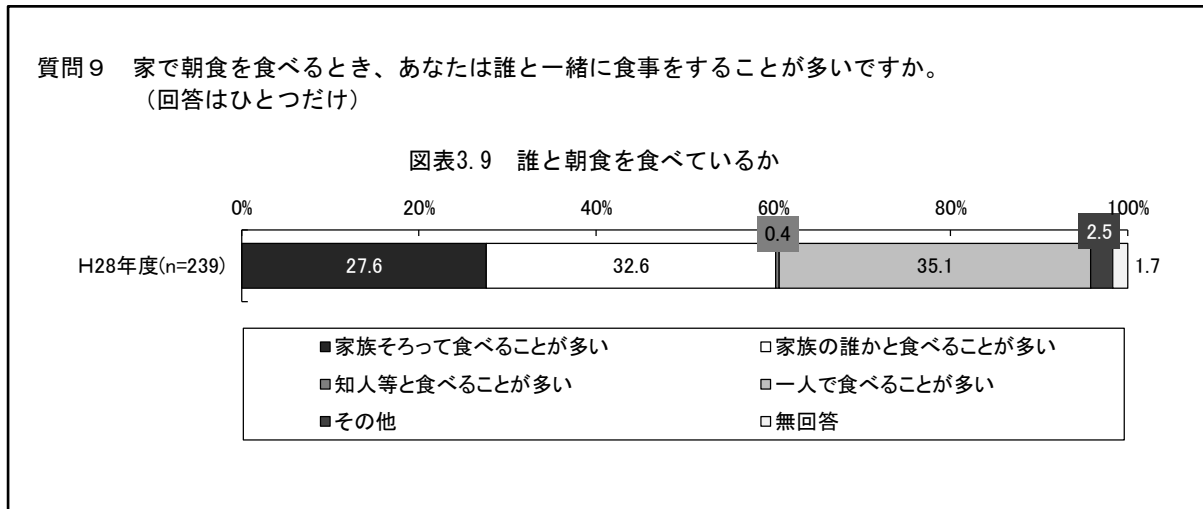
質問8. よくかんで食事をしているかについて

- 平成 28 年度は、「よくかんで食べている」は 18.8%、「よくかまずに食べている」は 3.8% となっていて、「どちらかといえば、よくかんで食べている」が 47.3%、「どちらかといえば、よくかまずに食べている」が 29.3%となっています。



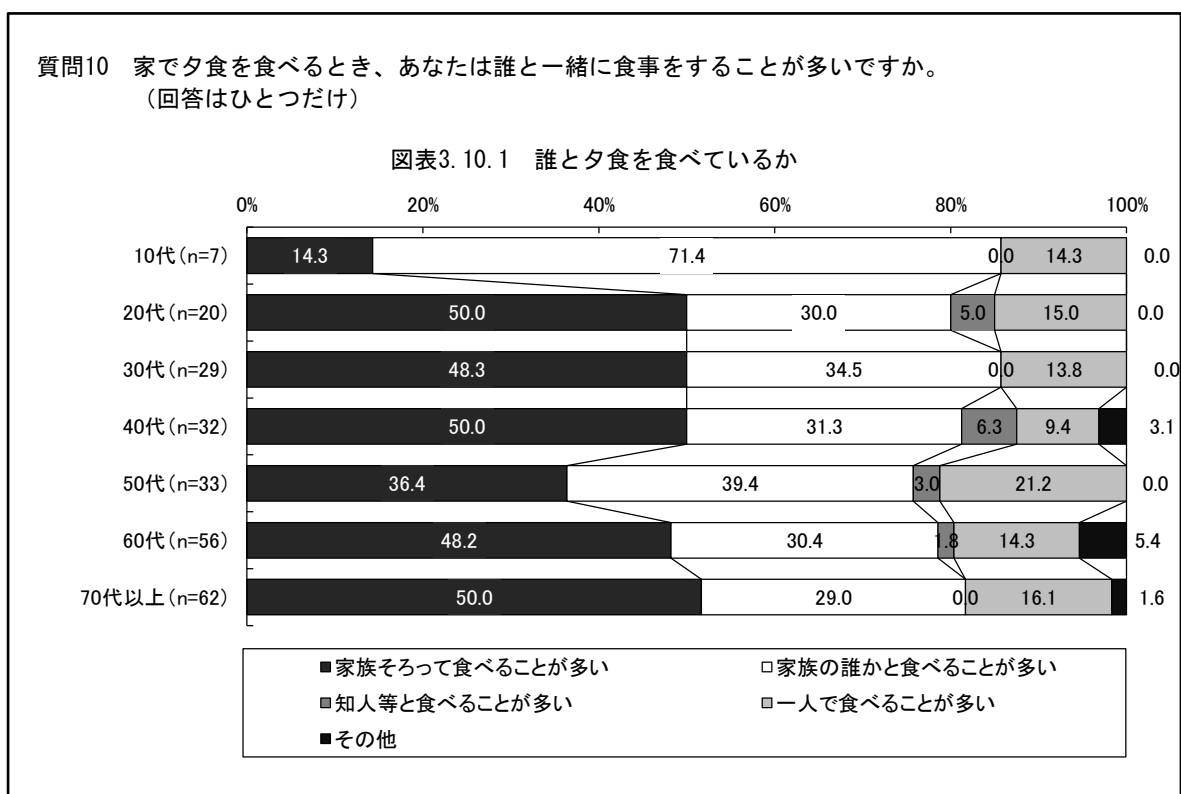
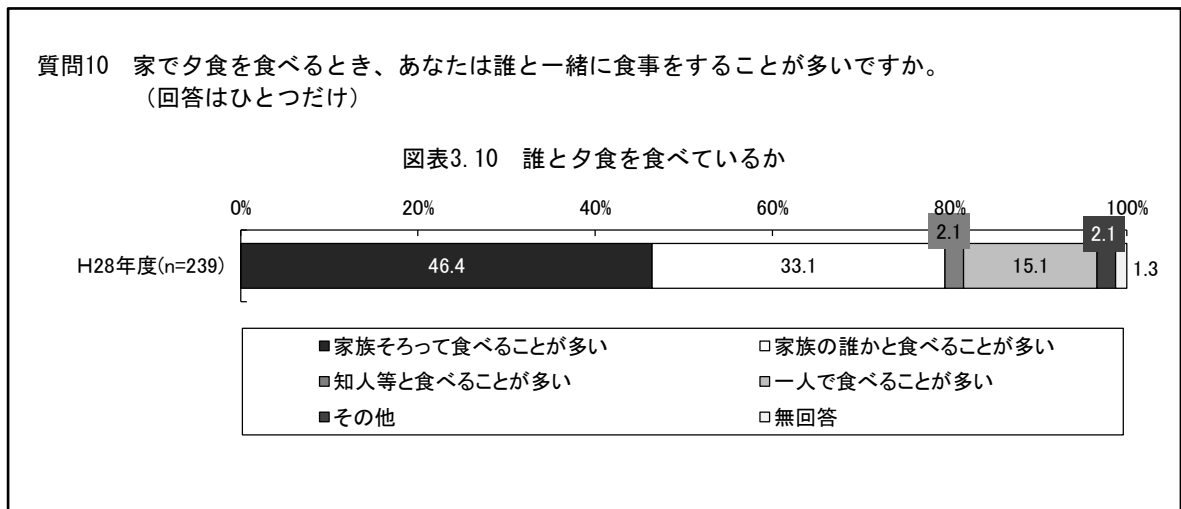
質問9. 朝食を一緒に食べる人について（平成28年度のみ設問）

- 「一人で食べることが多い」が35.1%と最も高く、次いで「家族の誰かと食べるが多い」32.6%、「家族そろって食べるが多い」27.6%となっています。



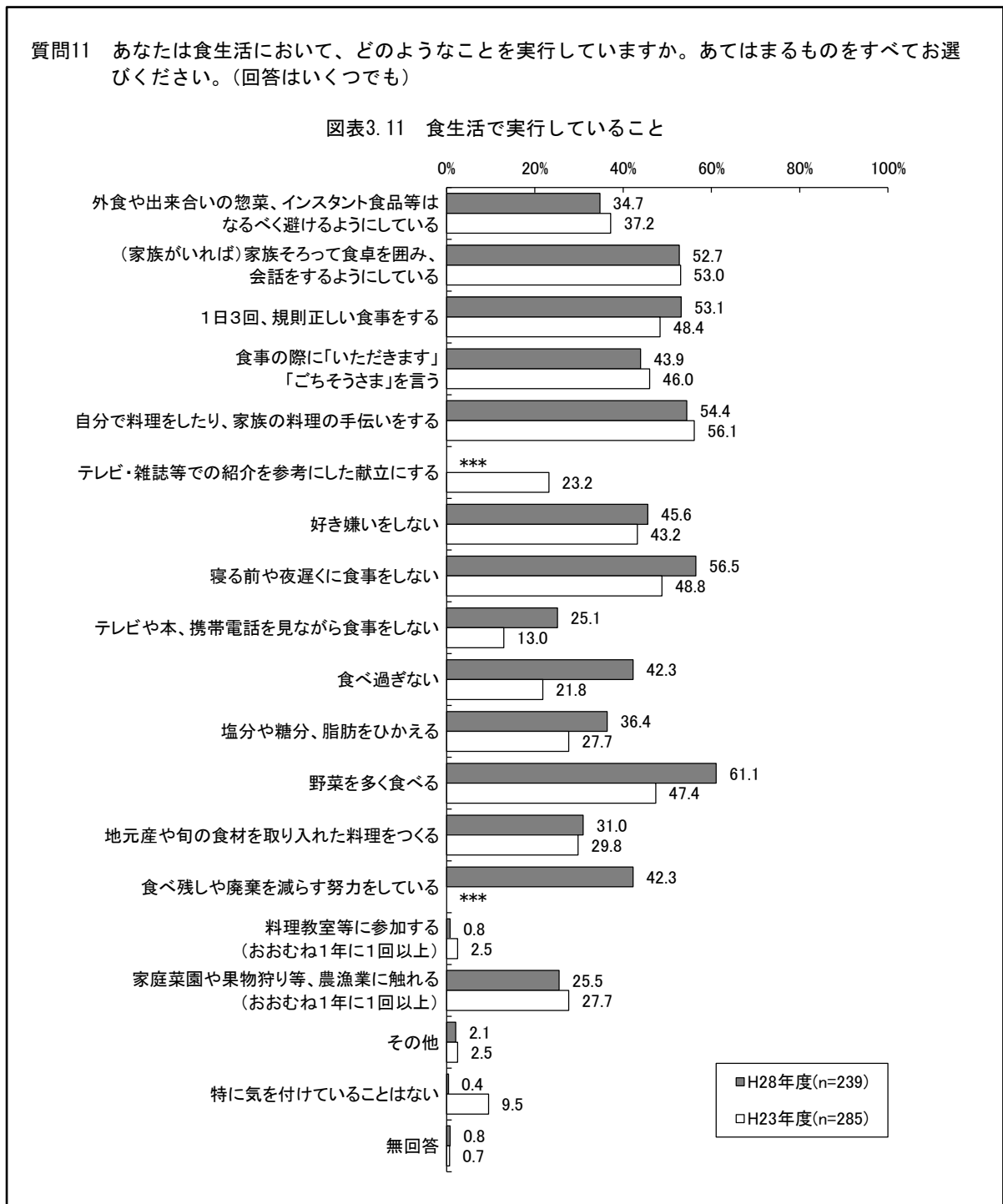
質問 10. 夕食を一緒に食べる人について（平成 28 年度のみ設問）

- 「家族そろって食べることが多い」が 46.4%と最も高く、次いで「家族の誰かと食べることが多い」33.1%、「一人で食べるが多い」15.1%となっています。



質問 11. 食生活において実行していることについて

- 平成 28 年度は、「野菜を多く食べる」が61.1%と最も高く、次いで「寝る前や夜遅くに食事をしない」が56.5%、「自分で料理をしたり、もしくは家族の料理の手伝いをする」が54.4%、「1日3回、規則正しい食事をする」が53.1%、「(家族がいれば) 家族そろって食卓を囲み、会話をするようにしている」が52.7%と5割以上となっています。また、40%台の項目が4項目あり、多くの項目が実行されています。
- 「料理教室に参加する(おおむね1年に1回以上)」が0.8%と低くなっています。

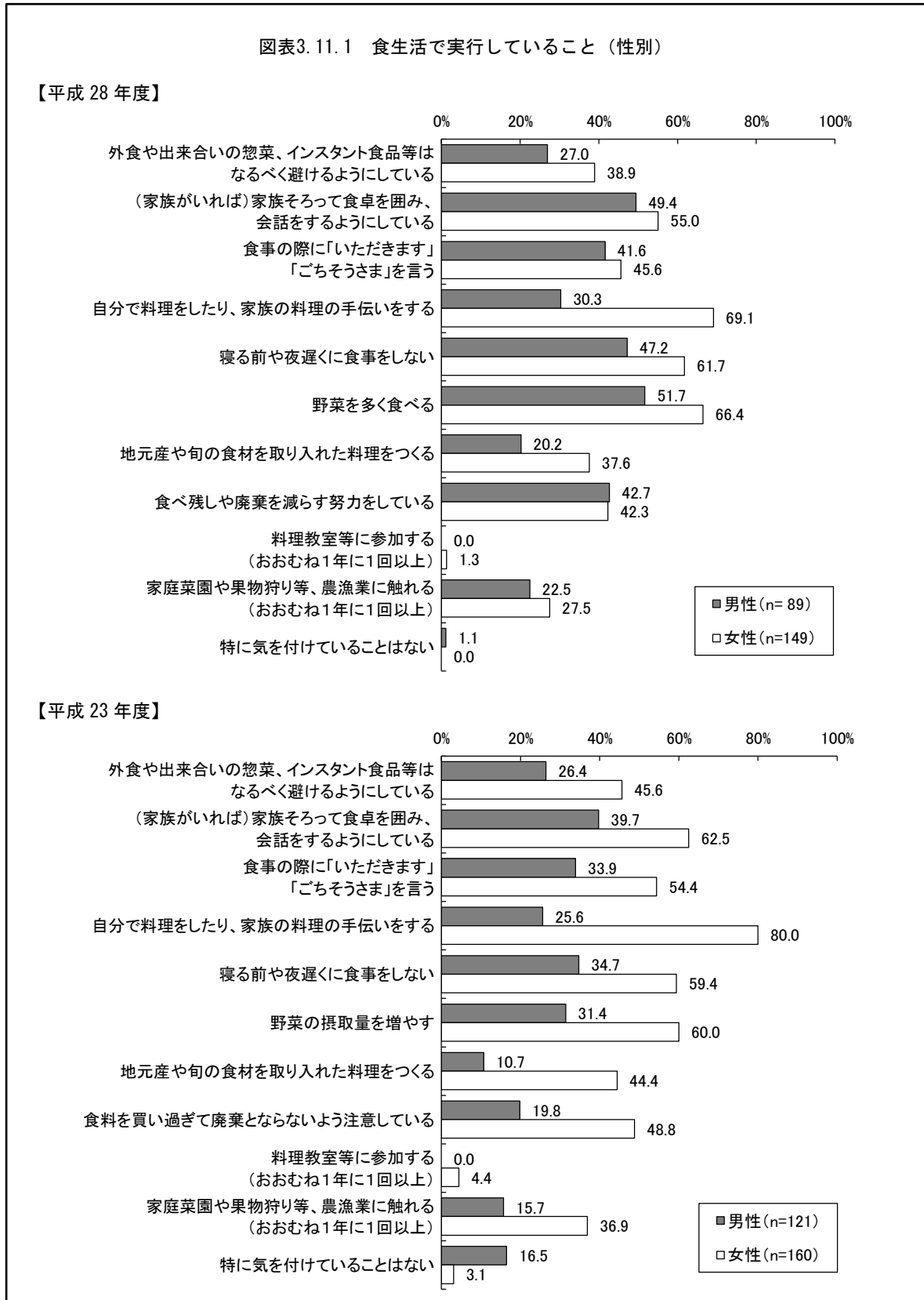


※平成28年度の回答選択肢に「テレビ・雑誌等での紹介を参考にした献立にする」はありません。「食べ残しや廃棄を減らす努力をしている」は、平成23年度では「食材を買い過ぎて廃棄とならないよう注意している」(36.1%)と「食べ残しを減らす努力をしている」(41.1%)に選択肢が分かれています。

(性別)

●平成 28 年度は、「食べ残しや廃棄を減らす努力をしている」(男性 42.7%、女性 42.3%)と「特に気をつけていることはない」(男性 1.1%、女性 0.0%)は男性が高くなっていますが、それ以外の9項目では女性が高くなっています。

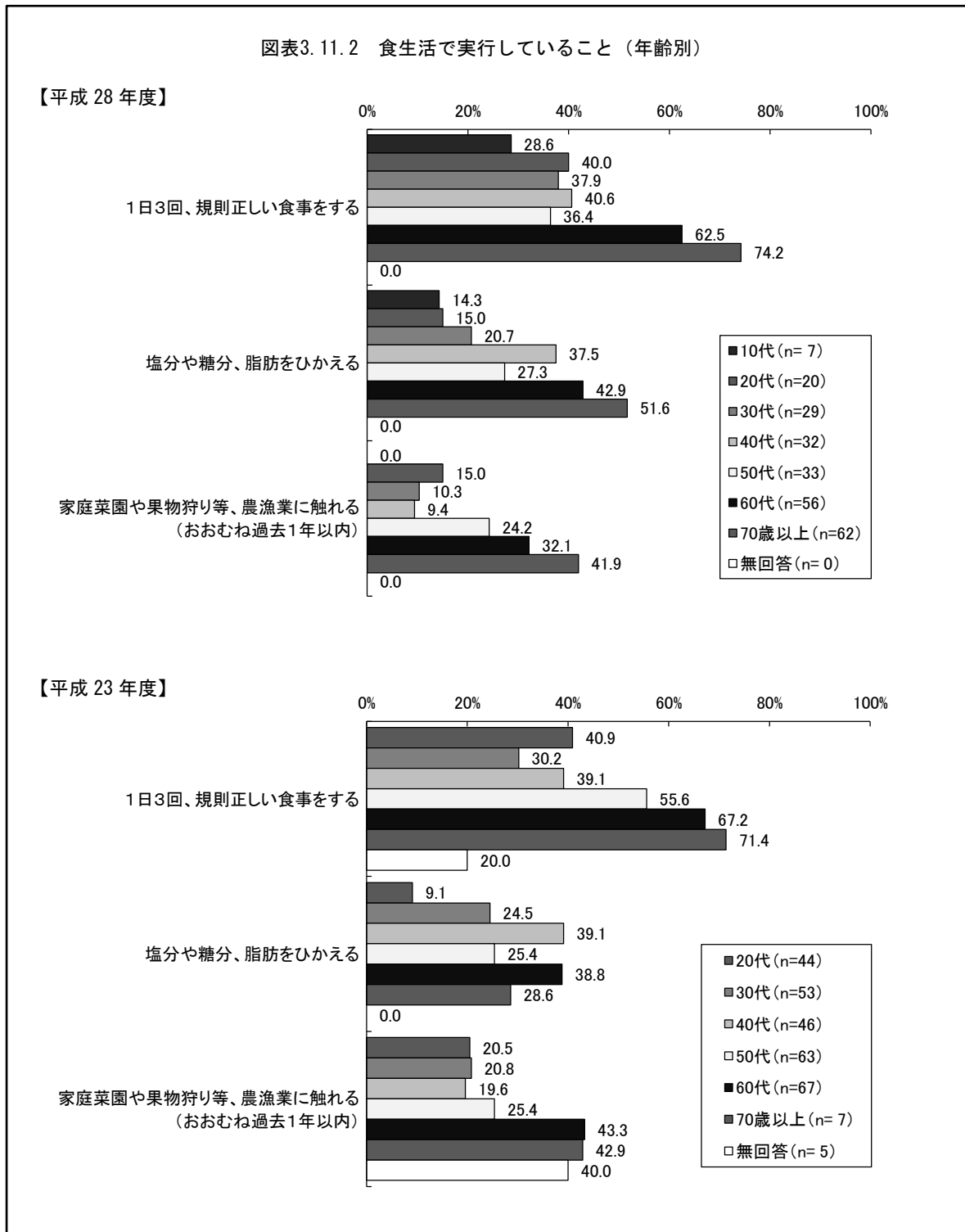
●男性はほとんどの項目で実行する割合が、平成 23 年度を平成 28 年度が上回っています。



※「テレビ・雑誌等での紹介を参考にした献立にする」は平成 23 年度のみを選択肢なので、ここでは削除しました。

(年齢別)

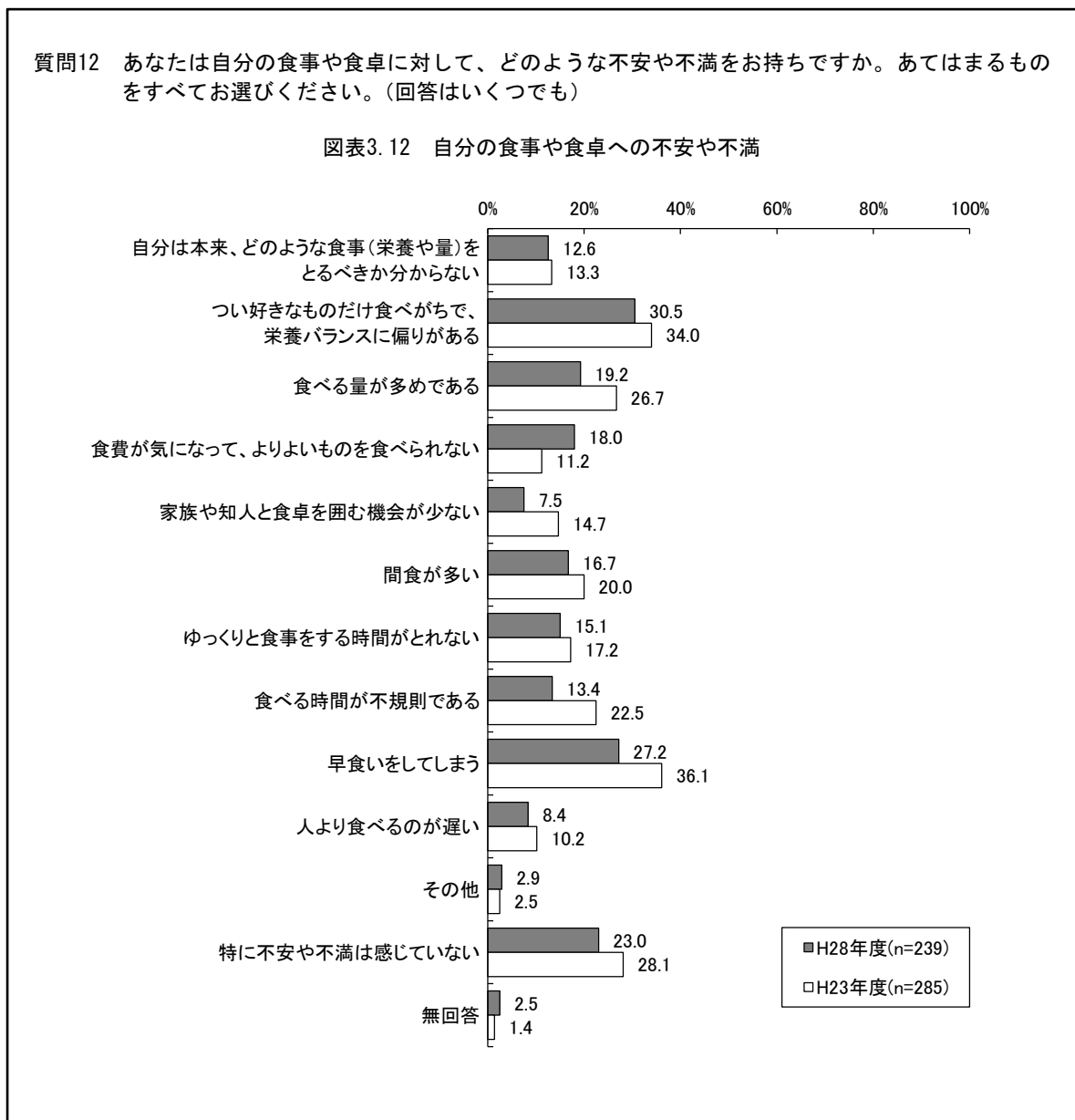
- 平成28年度は、「1日3回、規則正しい食事をする」は、60代以上で60%を超えています。50代では36.4%、40代では40.6%と減少しています。
- 「塩分や糖分、脂肪をひかえる」では30代以上では20%を超え、60代（42.9%）と70歳以上（51.6%）で高くなっていますが、10代では14.3%と減少しています。
- 「家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる（おおむね過去1年以内）」では、60代以上で増加し、60代で32.1%、70歳以上で41.9%となっています。



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

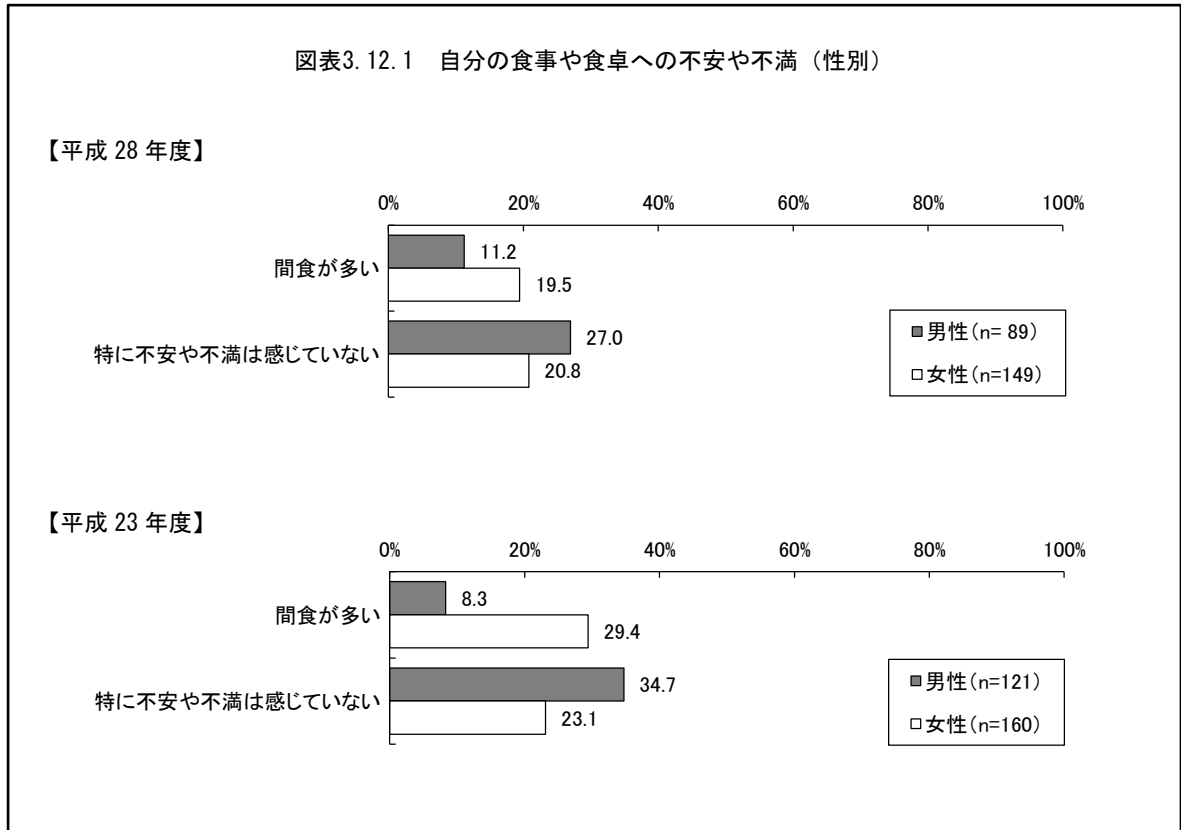
質問 12. 自分の食事や食卓に対する不安や不満について

- 平成 28 年度は、「つい好きなものだけ食べがちで、栄養バランスに偏りがある」が 30.5%と最も高く、次いで「早食いをしてしまう」が 27.2%となっています。



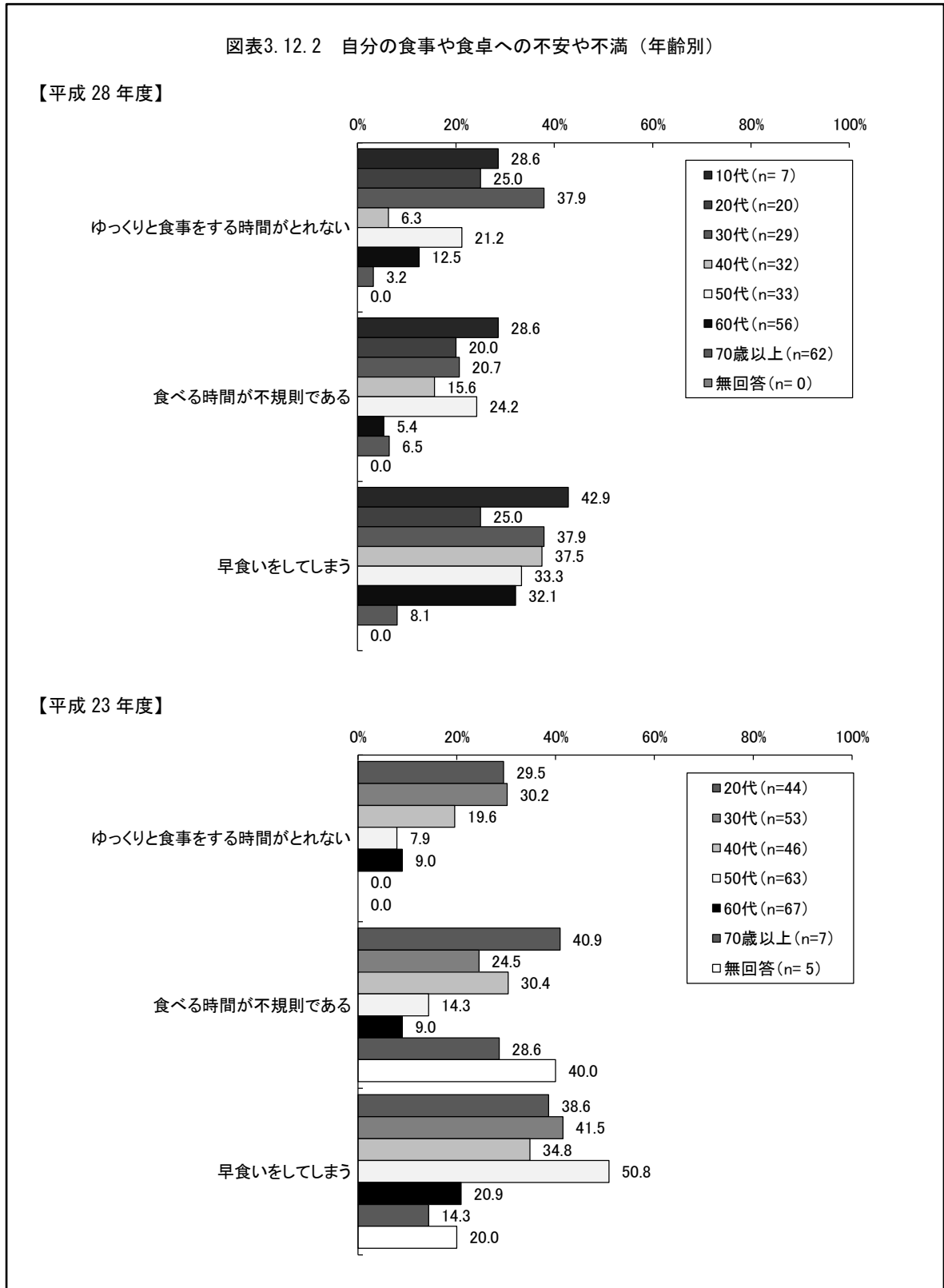
(性別)

- 平成 28 年度は、「間食が多い」(男性 11.2%、女性 19.5%) は女性で高くなっていて、「特に不安や不満は感じていない」(男性 27.0%、女性 20.8%) では、男性で高くなっています。



(年齢別)

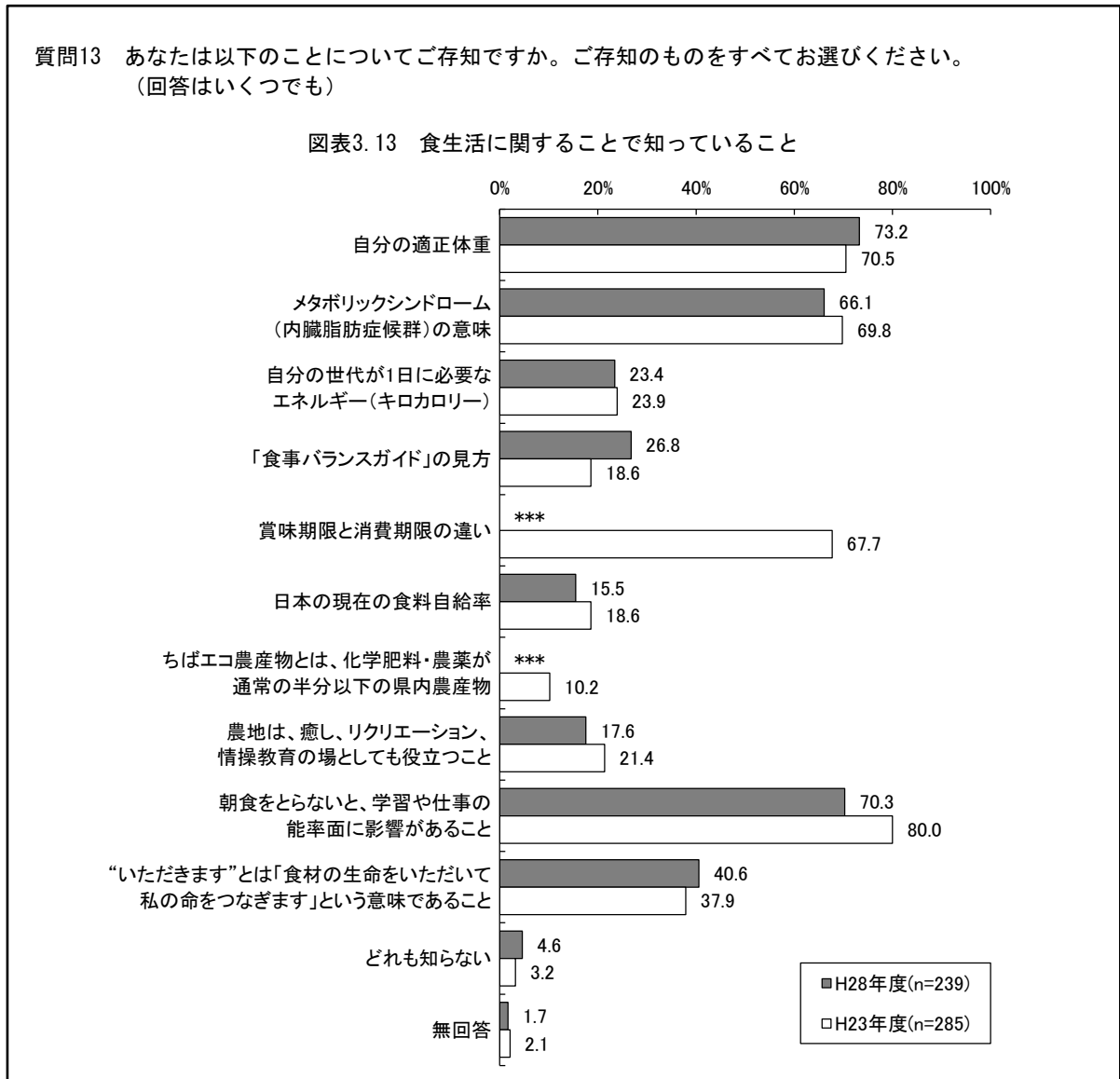
- 平成28年度は、「ゆっくりと食事をする時間がとれない」では10代(28.6%)・30代(37.9%)で高く、40代以上では減少しています。また、「食べる時間が不規則である」では10代(28.6%)から50代(24.2%)で高く、60代以上では減少しています。
- 「早食いをしてしまう」では、10~60代で高く、特に10代では42.9%となっています。



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

質問 13. 食生活に関することで知っていることについて

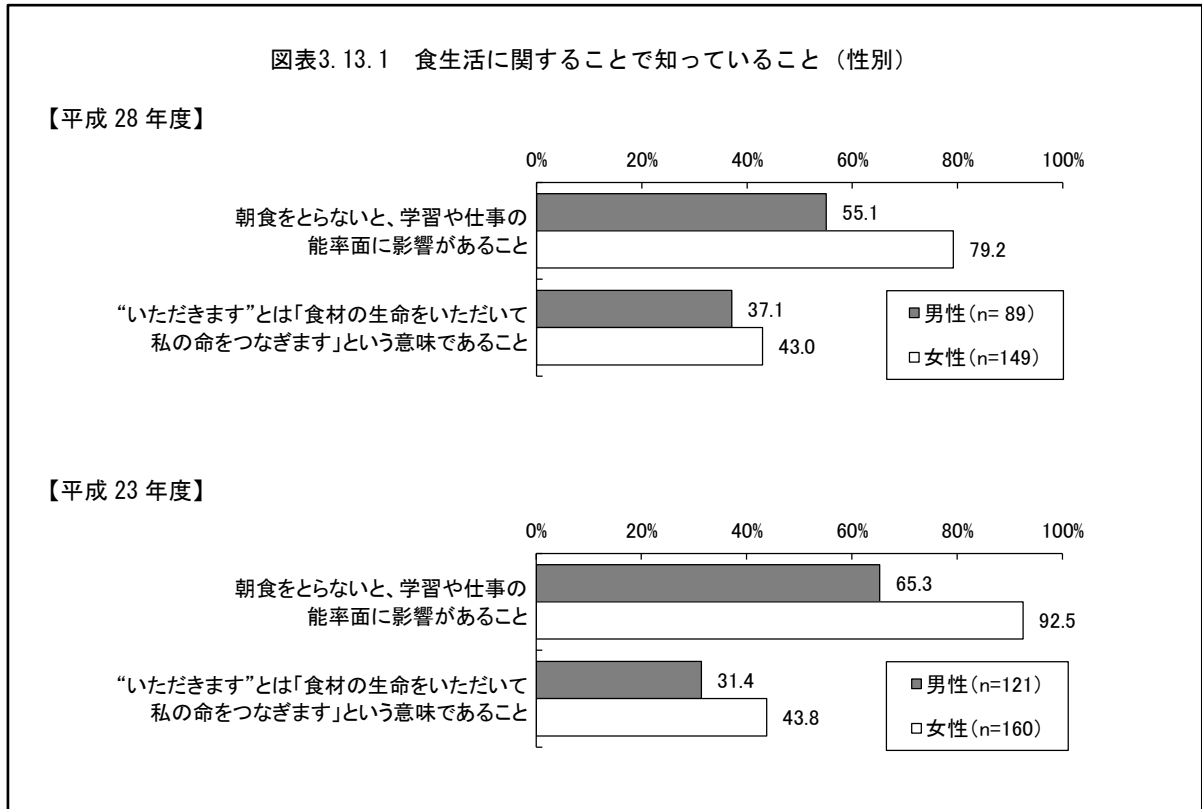
- 平成 28 年度は、「自分の適正体重」が 73.2%と最も高く、次いで「朝食をとらないと学習や仕事の能率面に影響があること」が 70.3%、「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の意味」が 66.1%、「いただきます」とは「食材の生命をいただいて私の命をつなぎます」という意味であること」が 40.6%となっています。
- それ以外の項目について「知っている」と回答した割合は 30%以下となっています。



※平成28年度の回答選択肢に「賞味期限と消費期限の違い」「ちばエコ農産物とは、化学肥料・農薬が通常の半分以下の県内農産物」はありません。

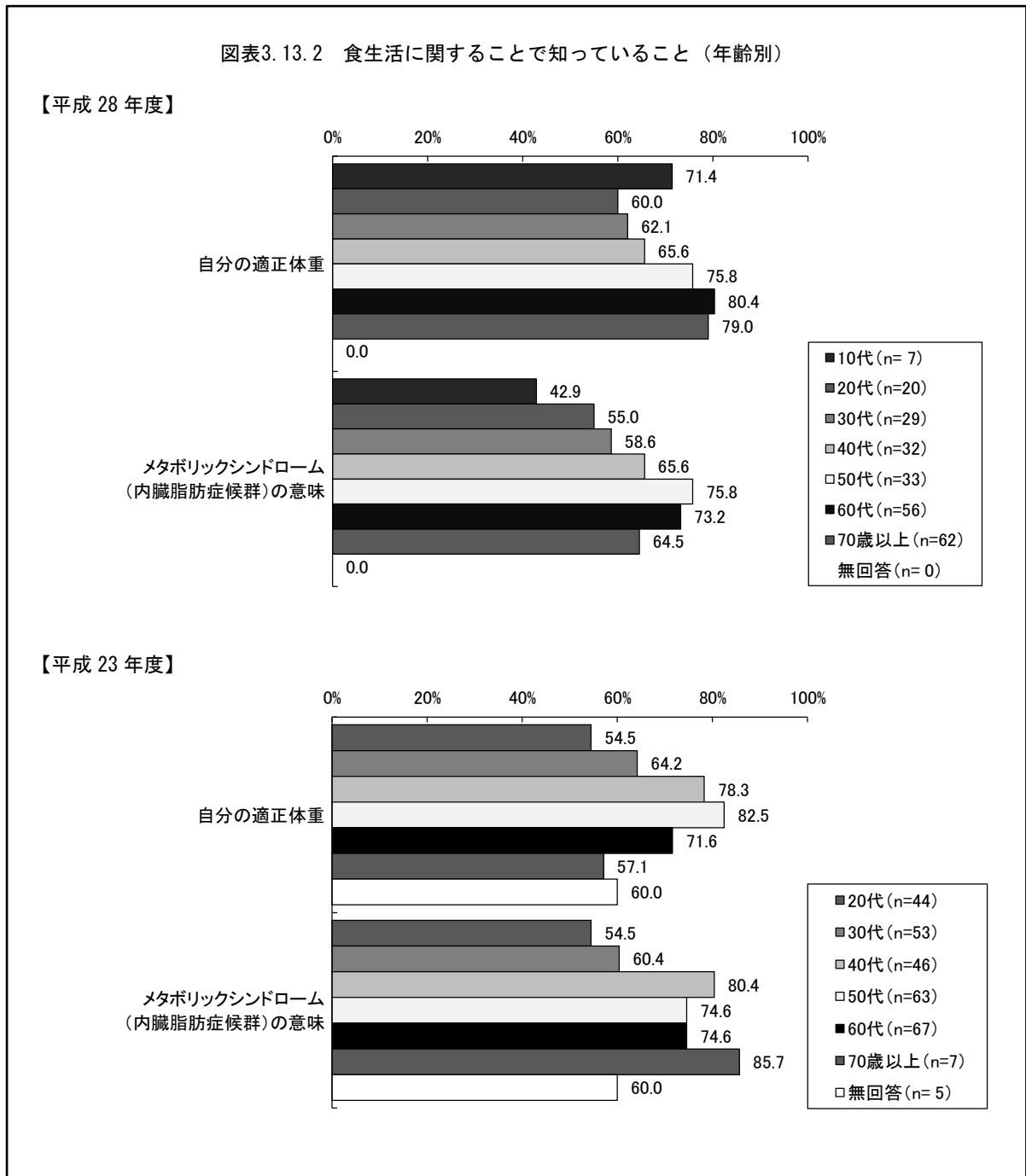
(性別)

- 平成 28 年度は、「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」(男性 55.1%、女性 79.2%) と、「いただきます」とは『食材の生命をいただいて私の命をつなぎます』という意味であること」(男性 37.1%、女性 43.0%) は女性で高く、特に前者では女性の約8割が知っています。



(年齢別)

- 平成 28 年度は、「自分の適正体重」についてはすべての年代で 60%以上と高く、特に 10 代と 50 代以上では 70%を超えています。また、「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の意味」については、40 代以上で高く、50 代で 75.8%となっています。



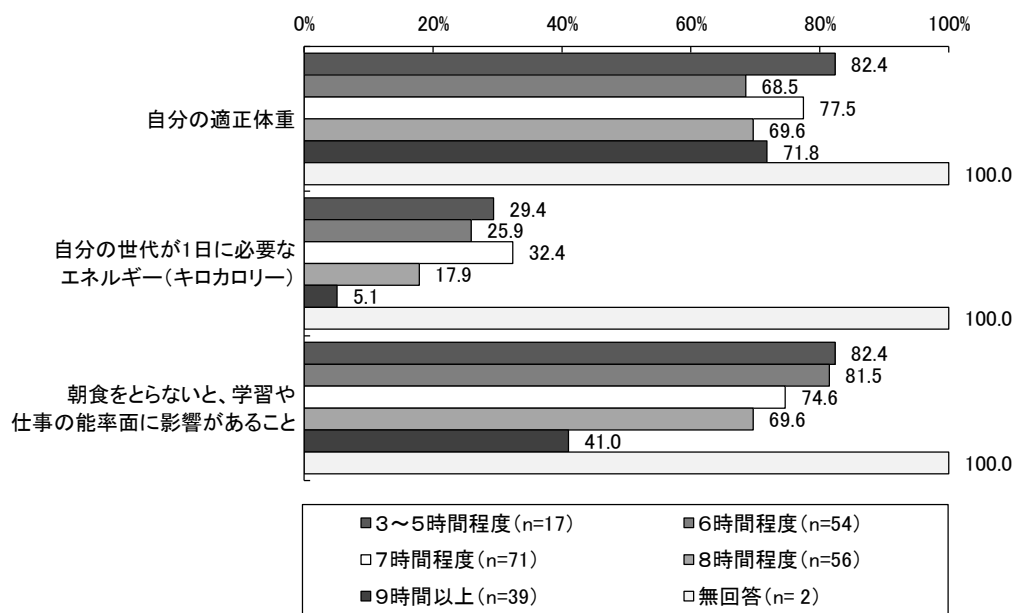
※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

(睡眠時間別)

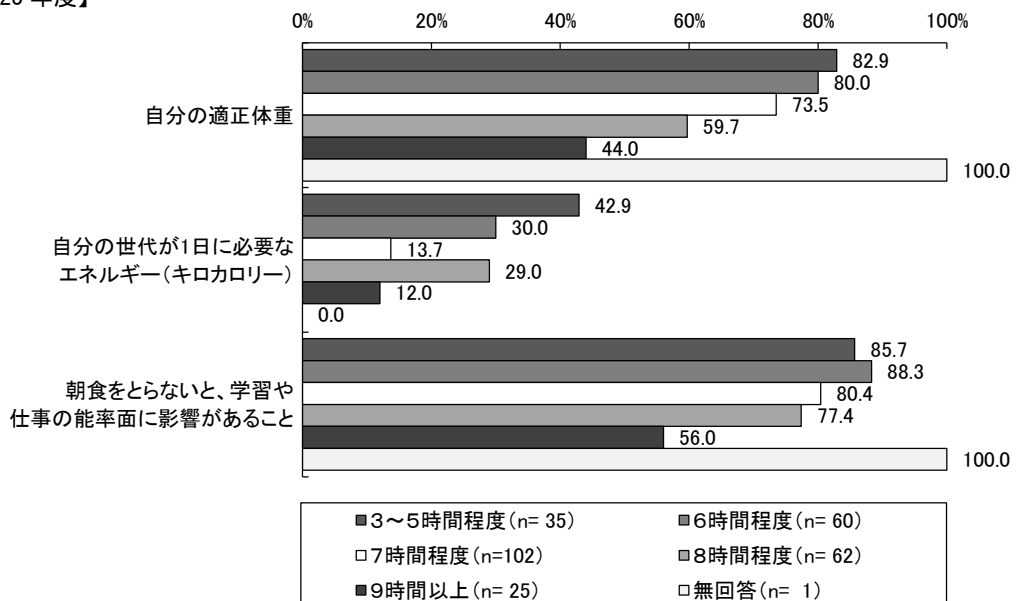
- 平成 28 年度は、「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」では、睡眠時間が短いほど高く、「3～5時間」が 82.4%となっています。「自分の適正体重」では「3～5時間」が 82.4%と最も高く、次いで「7時間程度」77.5%、「自分の世代が1日に必要なエネルギー（キロカロリー）」では「7時間程度」が 32.4%と最も高くなっています。
- 「自分の世代が1日に必要なエネルギー（キロカロリー）」と「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」では、「9時間以上」になると大きく減少し、「自分の世代が1日に必要なエネルギー（キロカロリー）」は5.1%、「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」では 41.0%、となっています。

図表3. 13. 3 食生活に関することで知っていること（睡眠時間別）

【平成 28 年度】

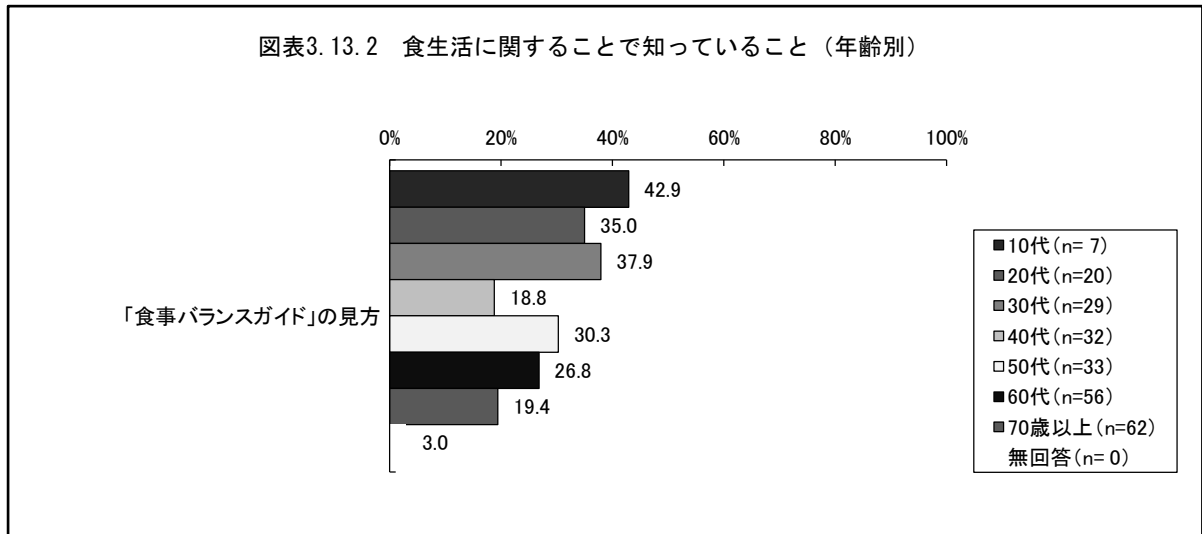


【平成 23 年度】



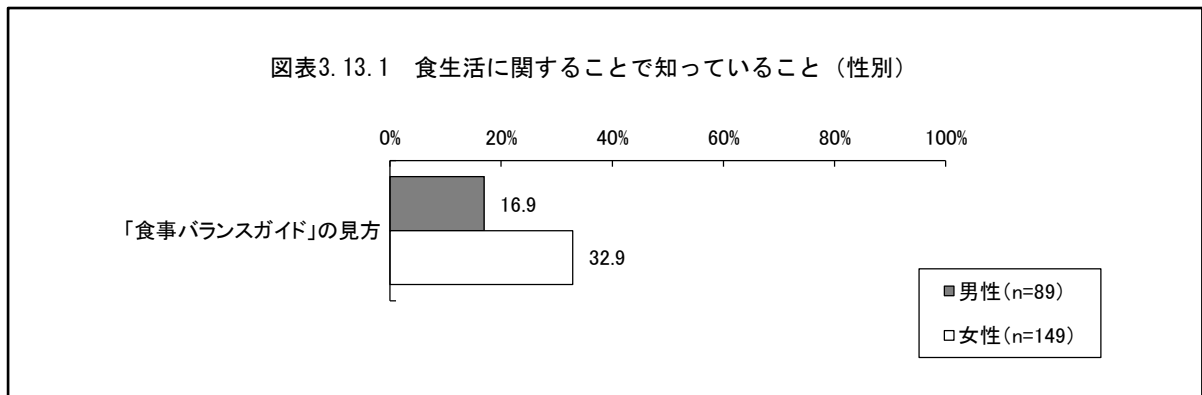
(年齢別)

- 平成 28 年度は、「食事バランスガイド」の見方については、若い世代が高く 10 代で 40%を超えています。



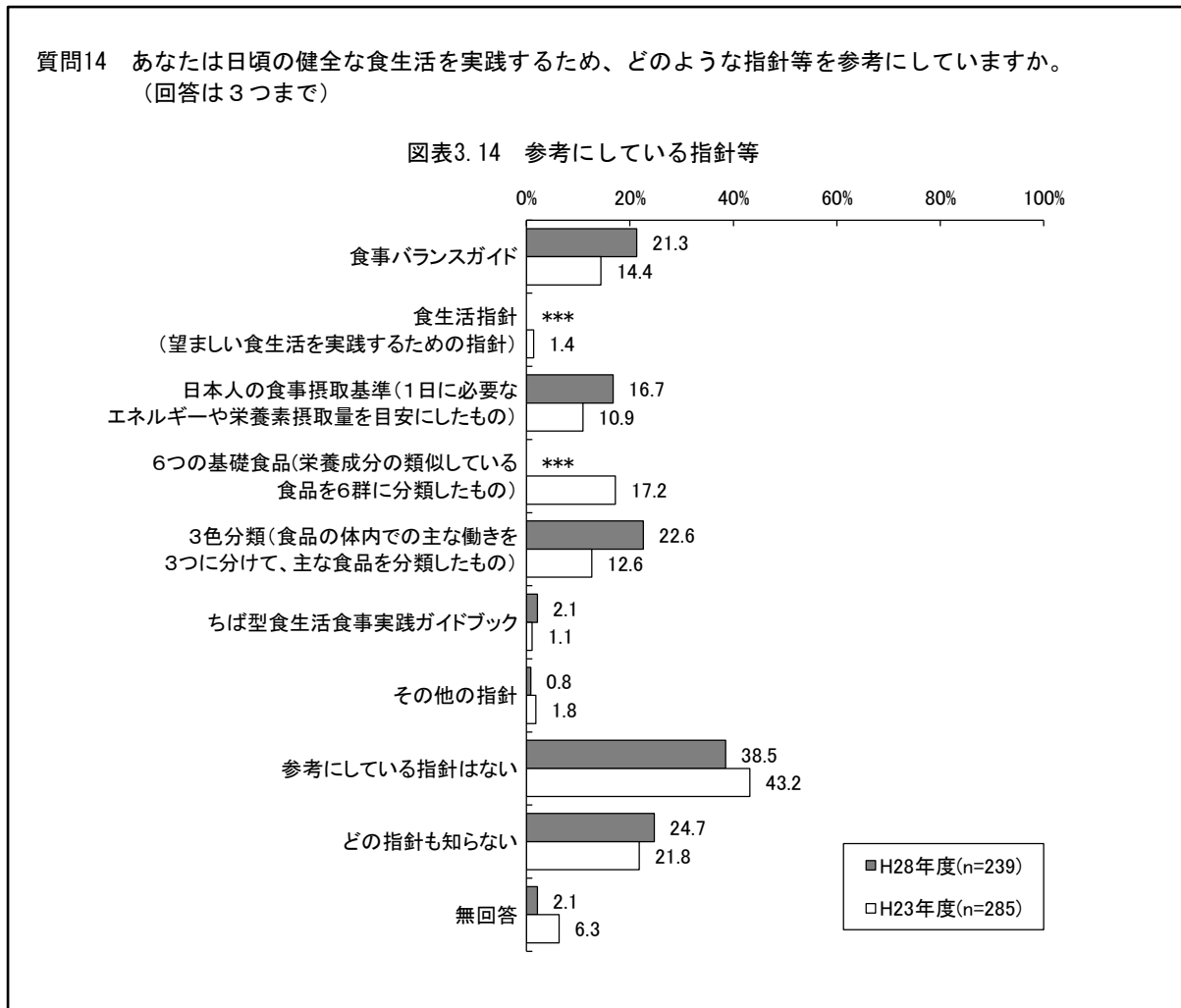
(性別)

- 平成 28 年度は、「食事バランスガイド」の見方について（男性 16.9%、女性 32.9%）は女性が高く、男性より 16 ポイント女性が高くなっています。



質問 14. どのような指針等を参考にしているかについて

- 平成 28 年度は、「参考にしている指針はない」が 38.5%と最も高く、次いで「どの指針も知らない」が 24.7%となっています。
- 最も参考にしている指針は、「3色分類（食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの）」（22.6%）となっています。

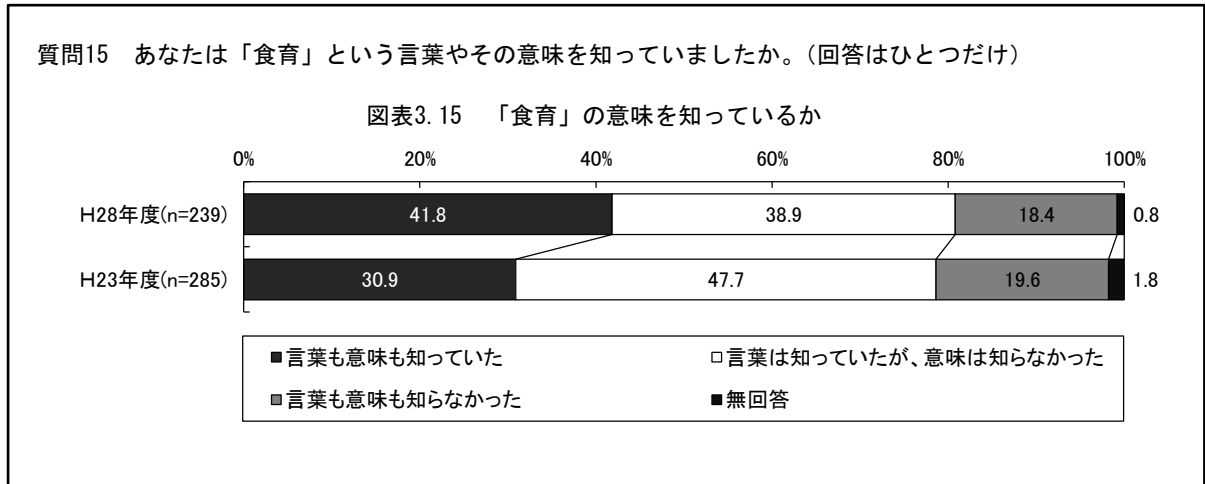


※平成28年度の回答選択肢に「食生活指針（望ましい食生活を実践するための指針）」「6つの基礎食品(栄養成分の類似している食品を6群に分類したもの)」はありません。

2. 食育について

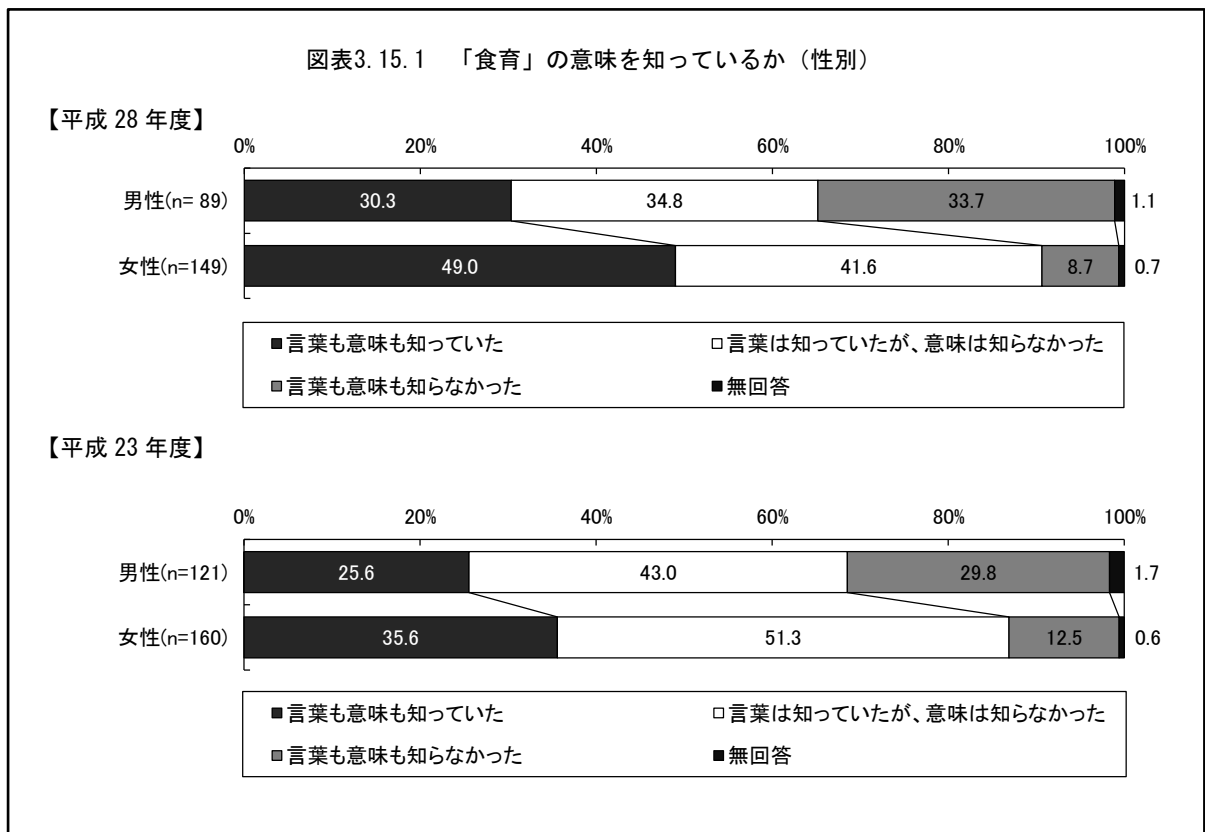
質問 15. 「食育」の意味を知っているかについて

- 平成 28 年度は、「言葉も意味も知っていた」が 41.8%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が 38.9%となっています。



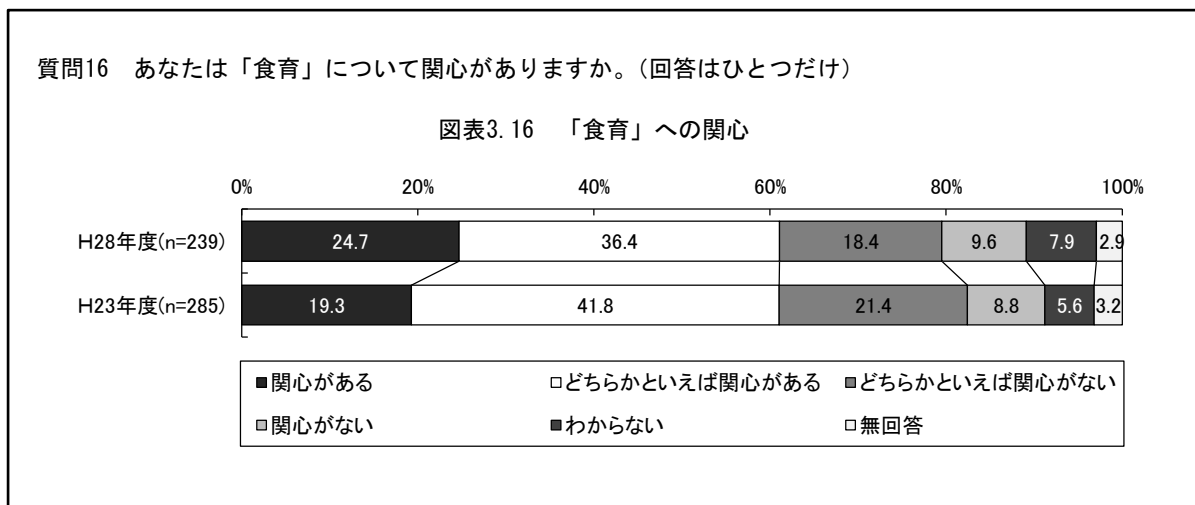
(性別)

- 平成 28 年度は、「言葉も意味も知っていた」(男性 30.3%、女性 49.0%)と「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(男性 34.8%、女性 41.6%)では女性で高くなっているものの、「言葉も意味も知らなかった」(男性 33.7%、女性 8.7%)では男性が 25 ポイント高くなっています。



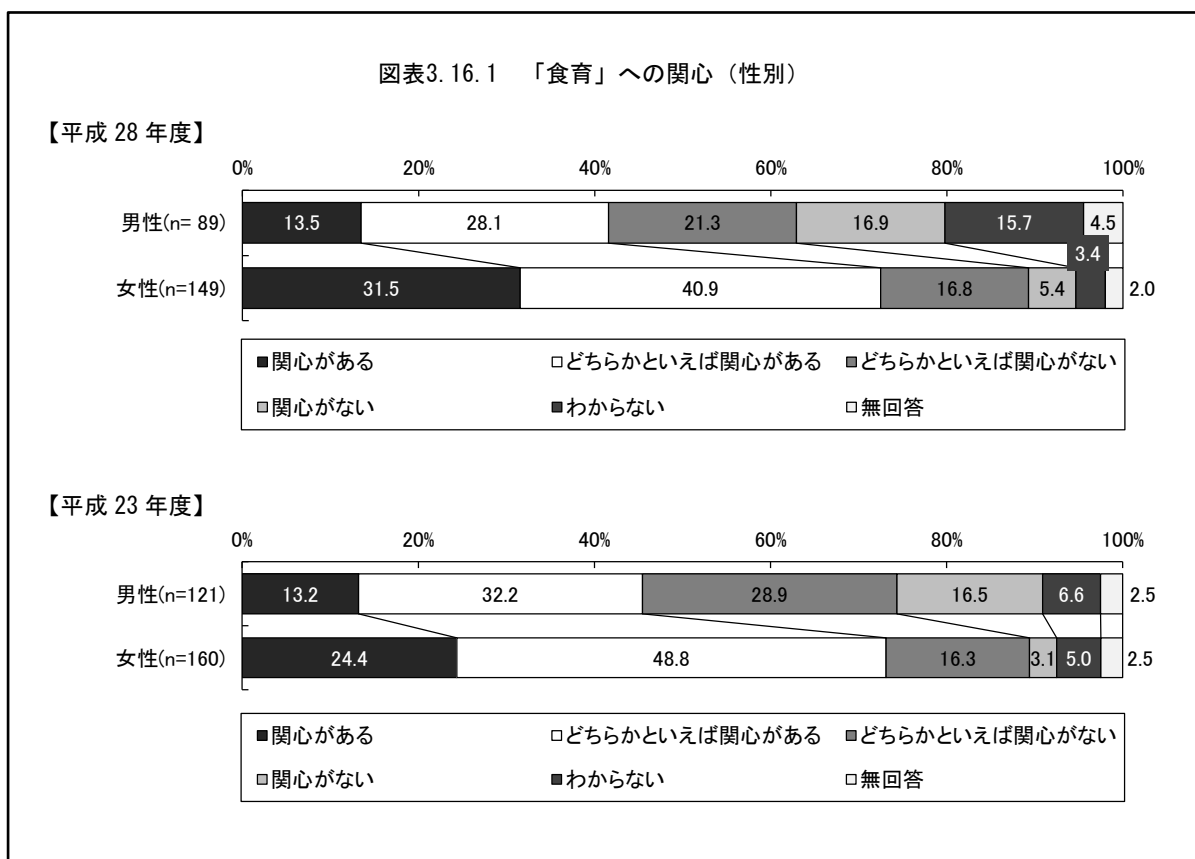
質問 16. 「食育」への関心について

- 平成 28 年度は、「どちらかといえば関心がある」が 36.4%と最も高く、「関心がある」を合わせると 61.1%となっています。



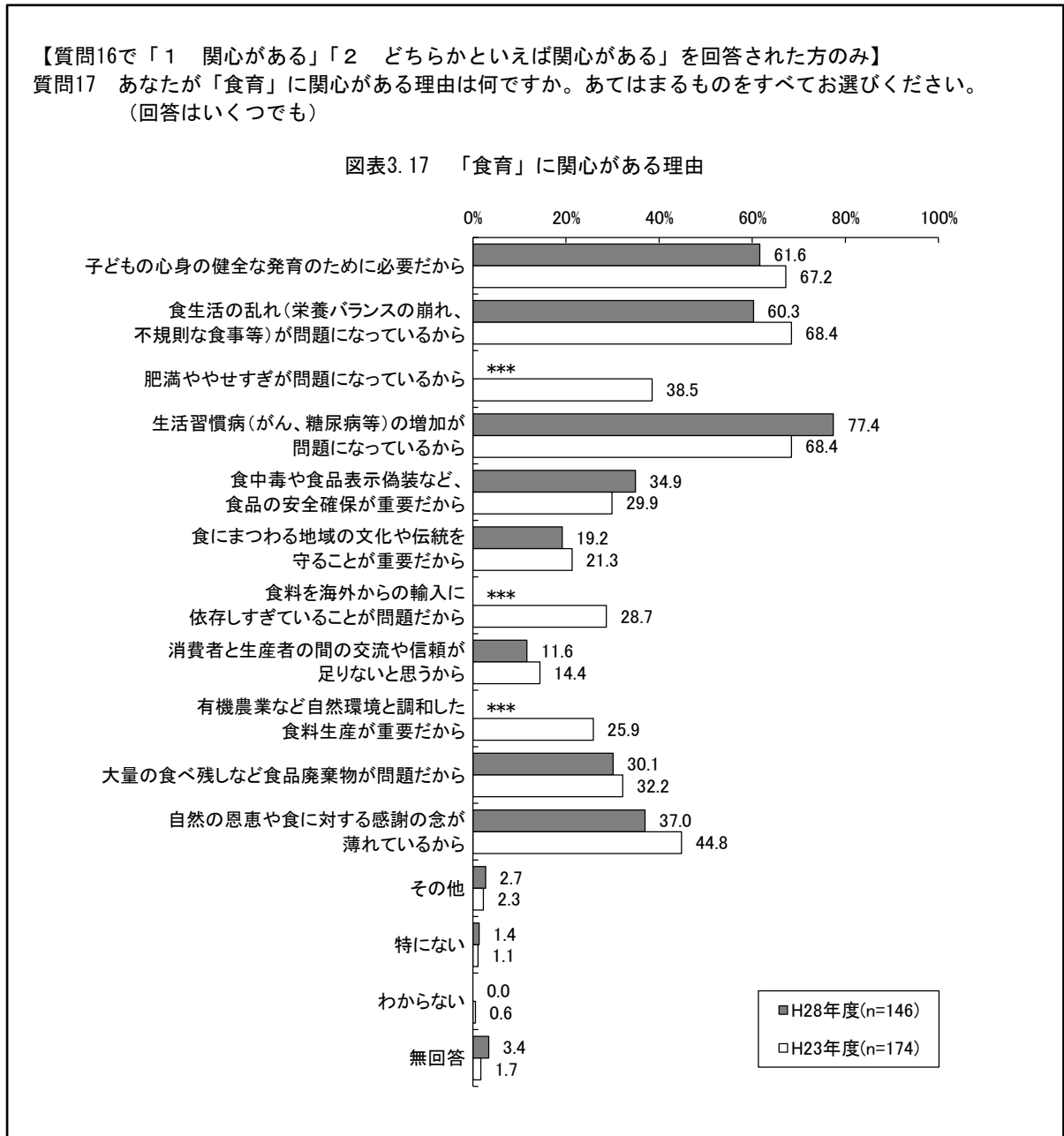
(性別)

- 平成 28 年度は、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせると、女性は 72.4%と男性より 30.8 ポイント高く、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせると、男性は 38.2%と女性より 16 ポイント高くなっています。



質問 17. 「食育」に関心がある理由について

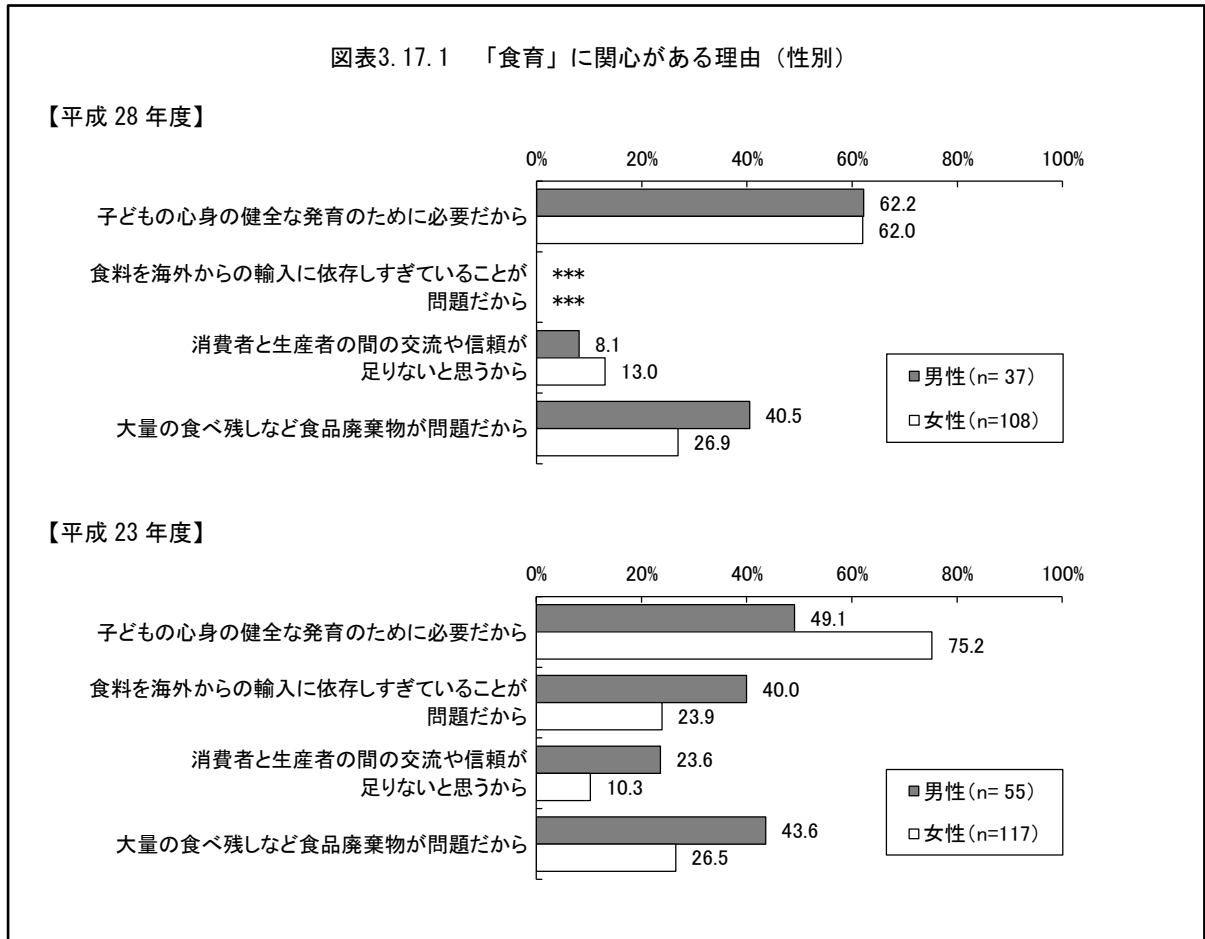
●平成 28 年度は、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」が 77.4% と最も高く、次いで「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」が 61.6%、「食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから」が 60.3%となっています。



※平成28年度の回答選択肢に「肥満ややせすぎが問題になっているから」「食料を海外からの輸入に依存しすぎていることが問題だから」「有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから」はありません。

(性別)

- 平成 28 年度は、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」(男性 62.2%、女性 62.0%) となっており、男女で差はほとんどありません。
- 「消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから」(男性 8.1%、女性 13.0%) では女性が高く、「大量の食べ残しなど食料廃棄物が問題だから」(男性 40.5%、女性 26.9%) では、男性が高くなっています。



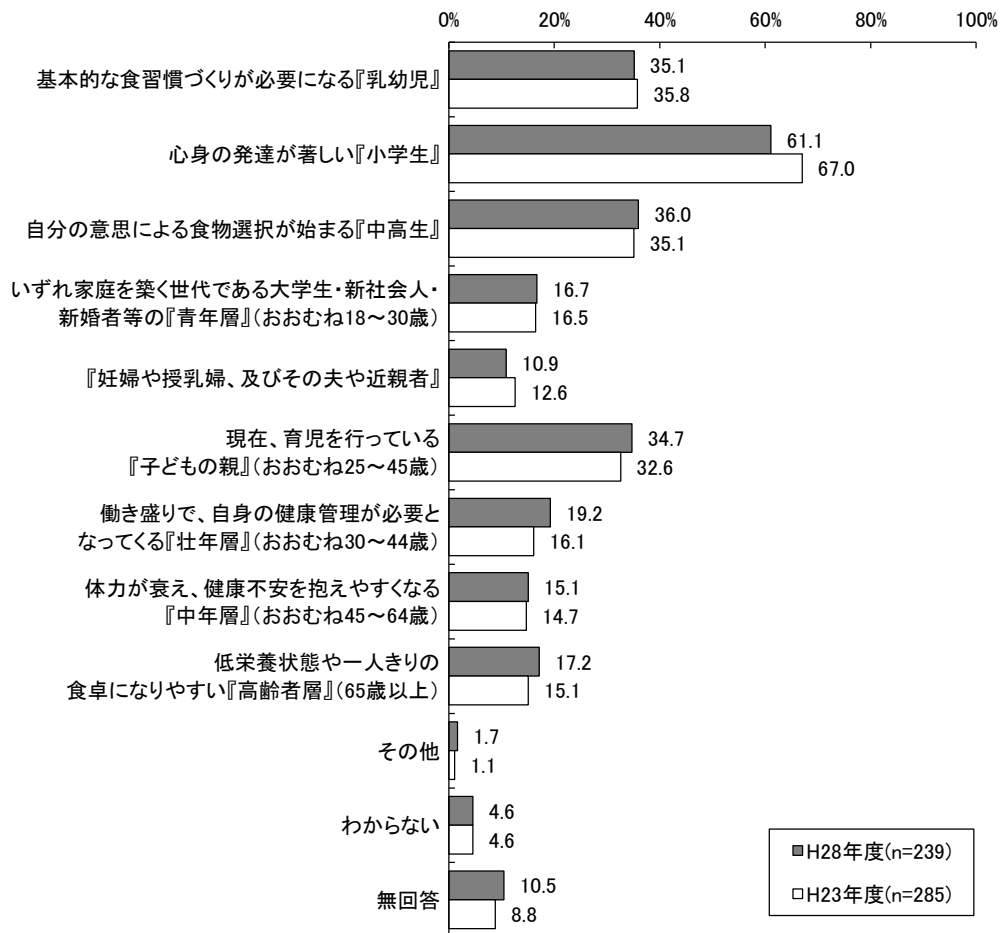
※平成28年度の回答選択肢に「食料を海外からの輸入に依存しすぎていることが問題だから」はありません。

質問 18. 食育が大切だと思う世代について

●平成 28 年度は、「心身の発育が著しい『小学生』」が 61.1%と最も高く、次いで「自分の意思による食物選択が始まる『中高生』」が 36.0%、「基本的な食習慣づくりが必要になる『乳幼児』」が 35.1%、となっています。また、「現在、育児を行っている『子どもの親』(おおむね 25～45 歳)」も 34.7%となっています。

質問17 食育は本来あらゆる人に必要だとされていますが、特にどういった人に対して進めていくべきだと、あなたは思いますか。特に大切だと思う世代を3つお選びください。(回答は3つまで)

図表3.18 食育が大切だと思う世代

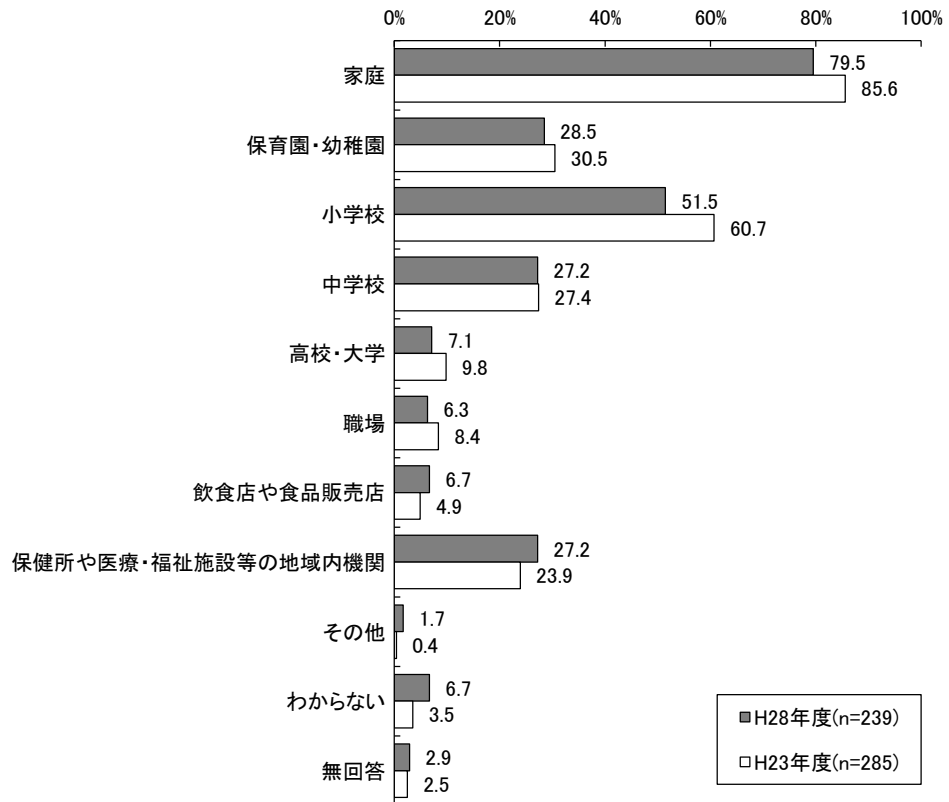


質問 19. 食育を行うにあたって重要な場所について

●平成 28 年度は、「家庭」が 79.5%と最も高く、次いで「小学校」が 51.5%となっています。

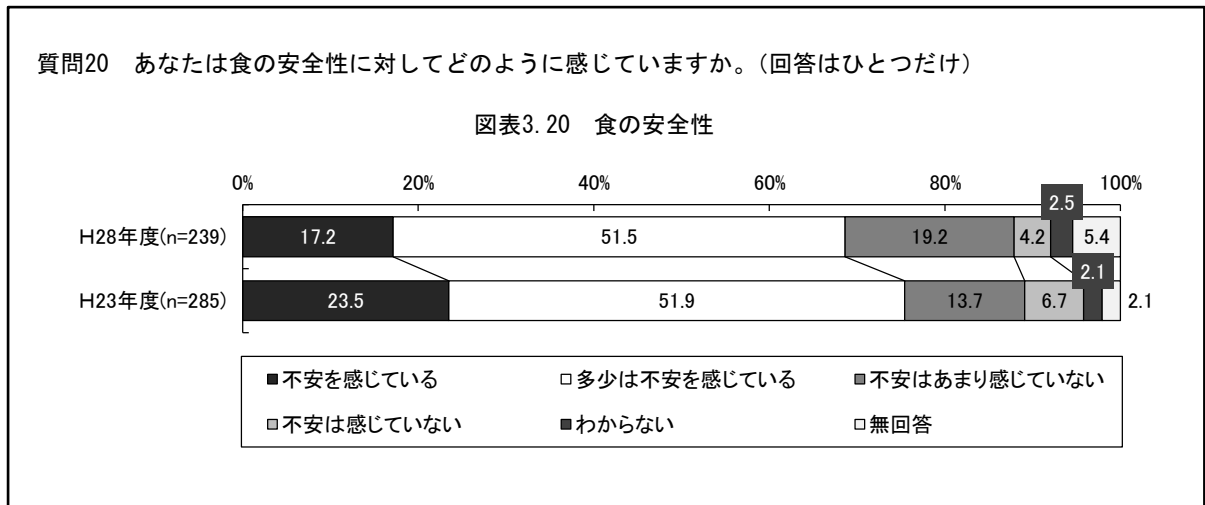
質問18 あなたは食育はどこで行われるべきだと思いますか。特に重要と思われる場所を3つお選びください。(回答は3つまで)

図表3.19 食育を行うにあたって重要な場所



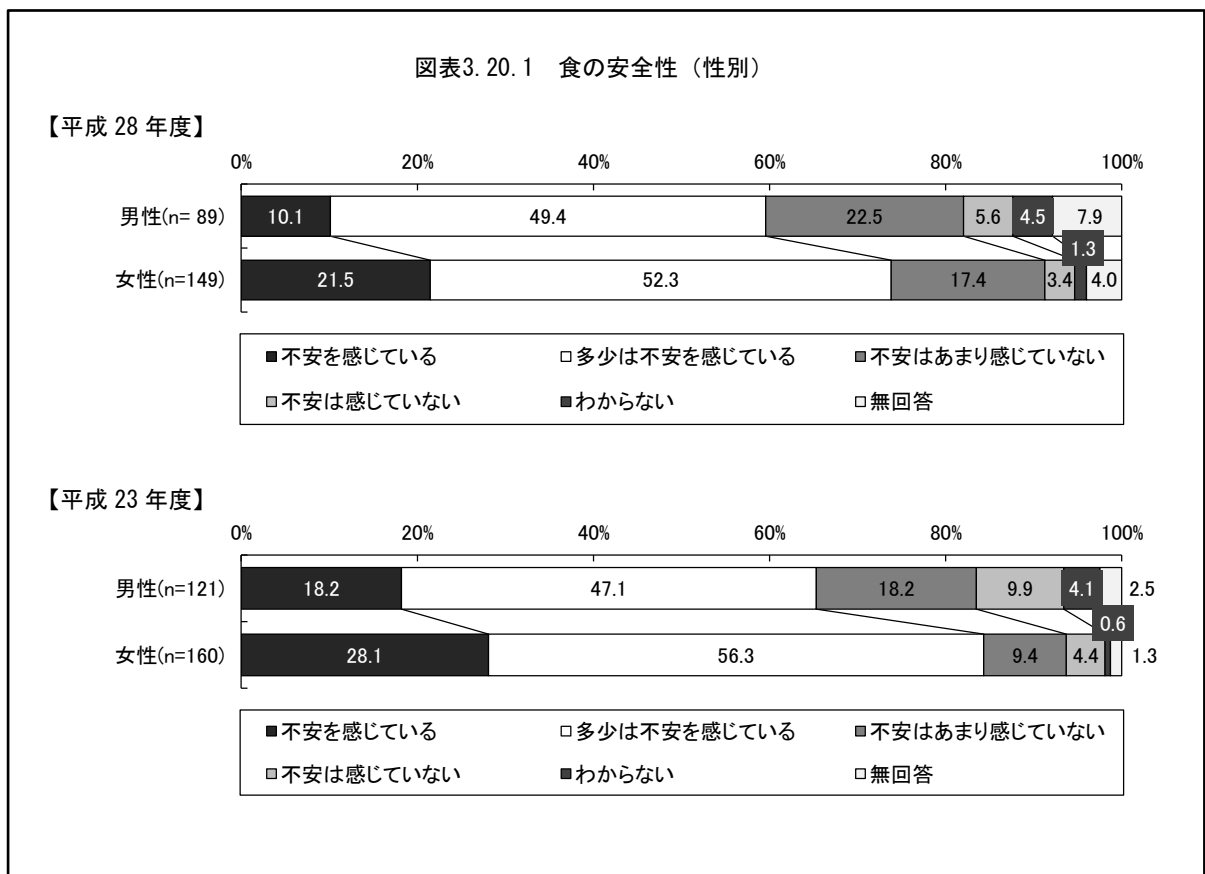
質問 20. 食の安全性について

●平成 28 年度は、「多少は不安を感じている」が 51.5%と最も高く、「不安を感じている」と合わせると 68.7%となっています。



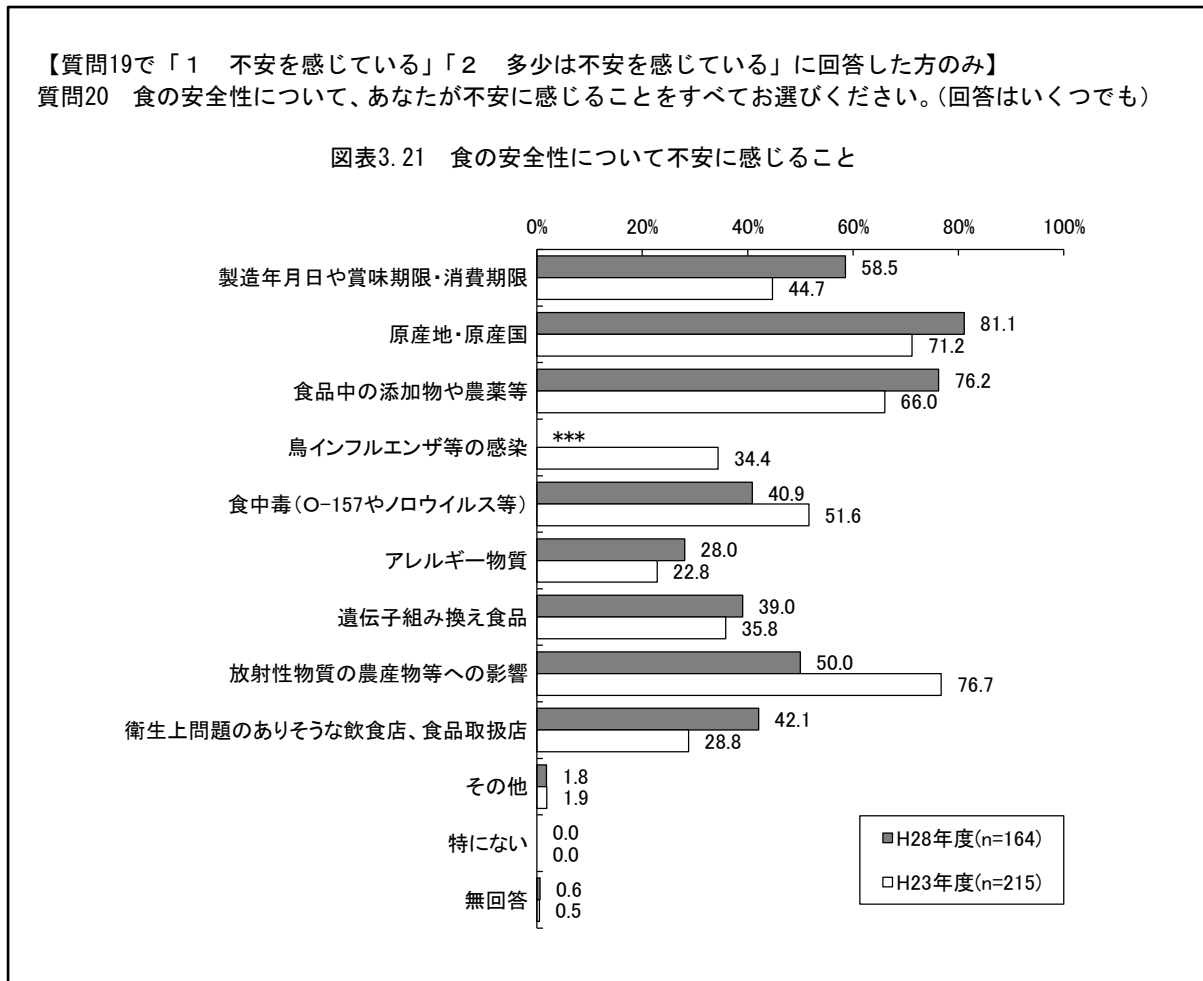
(性別)

●平成 28 年度は、「不安を感じている」と「多少は不安を感じている」を合わせると、女性は 73.8%と男性より 14.3 ポイント高く、「不安はあまり感じていない」と「不安は感じていない」を合わせると、男性が 28.1%と女性より 7.3 ポイント高くなっています。



質問 21. 食の安全性について不安に感じることにについて

- 平成 28 年度は、「原産地・原産国」が 81.1%と最も高く、次いで、「食品中の添加物や農薬等」が 76.2%となっています。
- また、「特にない」が 0%となっています。

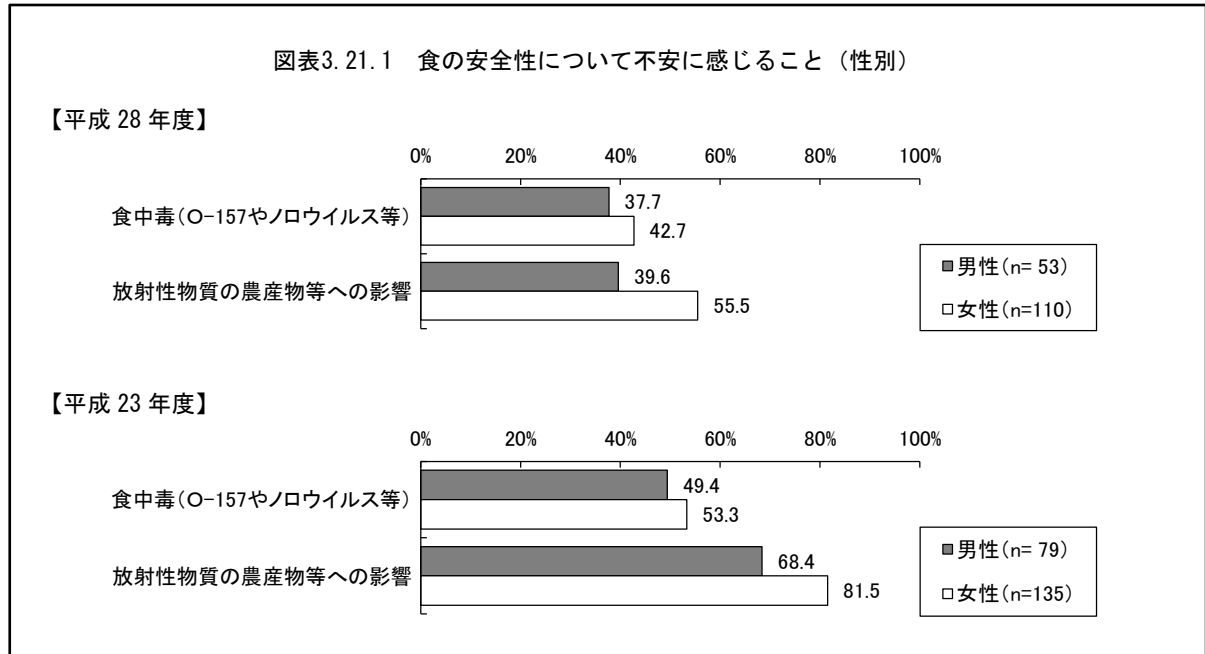


※回答選択肢「食品中の添加物や農薬等」は平成23年度では「食品中の添加物や農薬等の内容や量」、「食中毒(O-157やノロウイルス等)」は「O-157やノロウイルス等による食中毒」となっています。

※平成28年度の回答選択肢に「鳥インフルエンザ等の感染」はありません。

(性別)

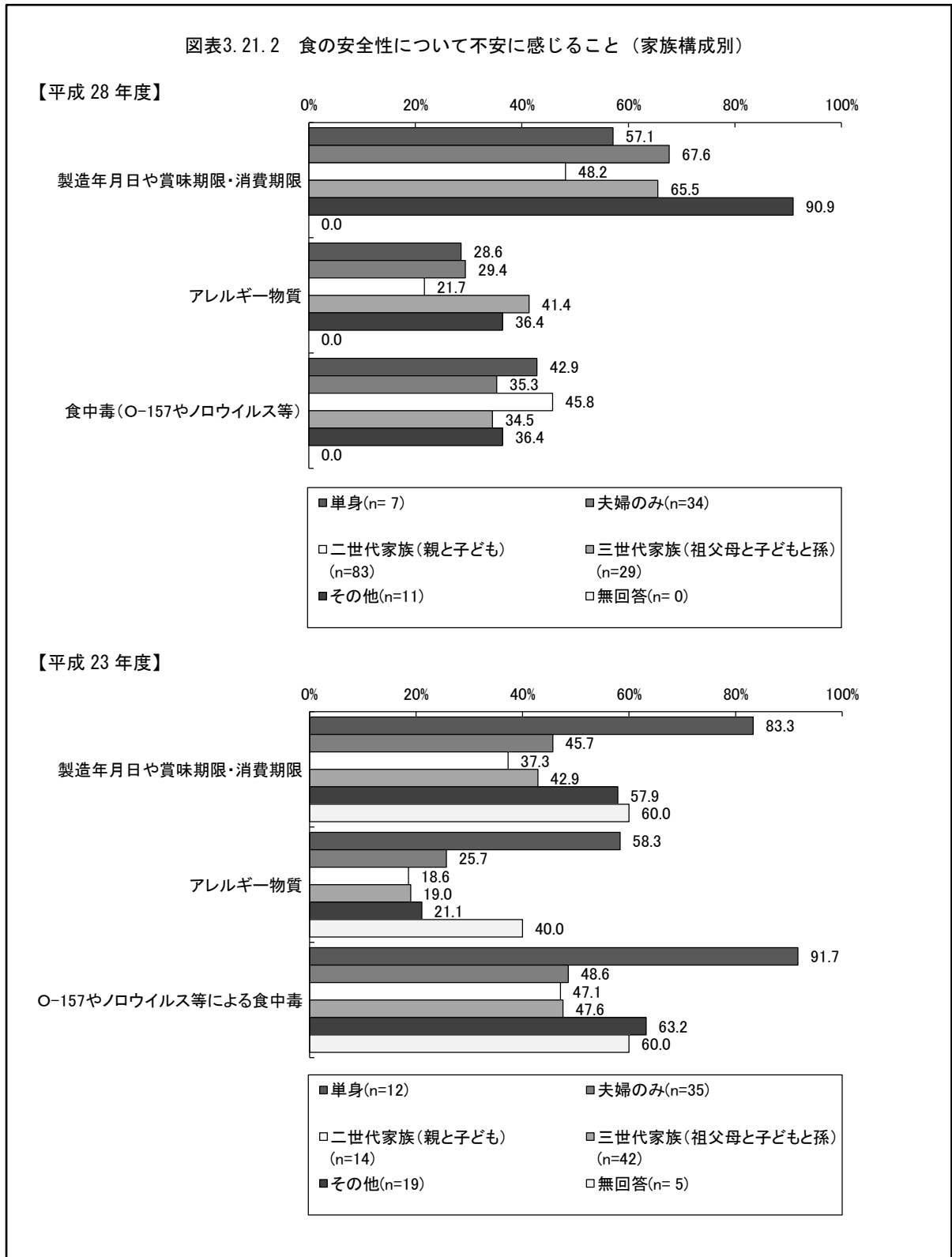
- 平成 28 年度は、「食中毒（O-157 やノロウイルス等）」（男性 37.7%、女性 42.7%）、「放射性物質の農作物等への影響」（男性 39.6%、女性 55.5%）ともに女性が高くなっています。



※回答選択肢「食中毒（O-157やノロウイルス等）」は平成23年度では「O-157やノロウイルス等による食中毒」となっています。

(家族構成別)

- 平成 28 年度は、「製造年月日や賞味期限・消費期限」(单身 57.1%・夫婦のみ 67.6%・二世
代家族 48.2%・三世代家族 65.5%・その他 90.9%)では、どの家族構成でも 40%を超え高
くなっています。
- 平成 23 年度では、「单身」が3項目ともに他の家族構成に比べ高くなっていましたが、平成
28 年度では、「单身」も他の家族構成と同様のレベルまで低くなっています。



※回答選択肢「食中毒(O-157やノロウイルス等)」は平成23年度では「O-157やノロウイルス等による食中毒」となっています。

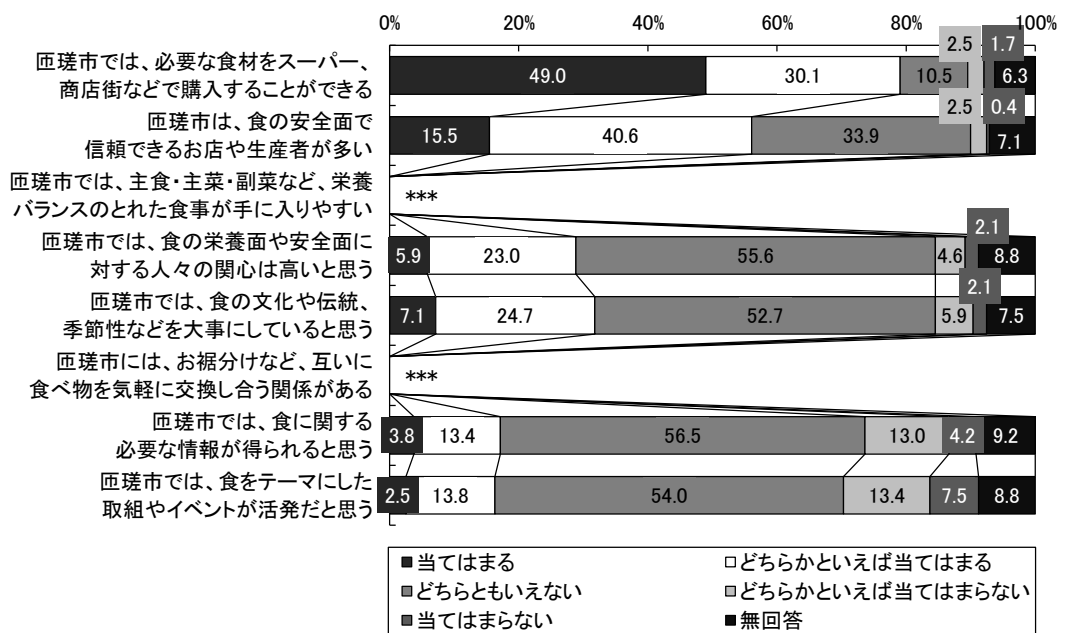
質問 22. 匠瑛市に当てはまることについて

- 平成 28 年度は、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせると、「匠瑛市では、必要な食材をスーパー、商店街などで購入することができる」が 79.1%と最も高く、次いで「匠瑛市は、食の安全面で信頼できるお店や生産者が多い」が 56.1%となっています。
- 「匠瑛市では、食に関する必要な情報が得られる」と「匠瑛市では、食をテーマにした取組やイベントが活発だ」は 20%を下回っています。

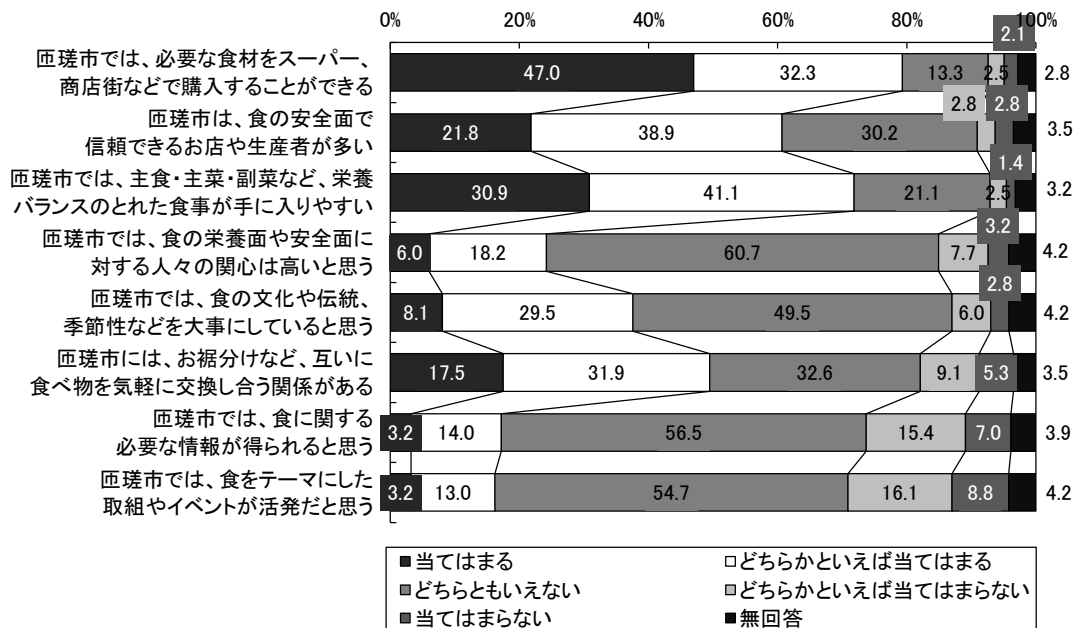
質問22 匠瑛市に関する以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。(回答はひとつずつ)

図表3.22 匠瑛市に当てはまること

【平成 28 年度】(n=239)



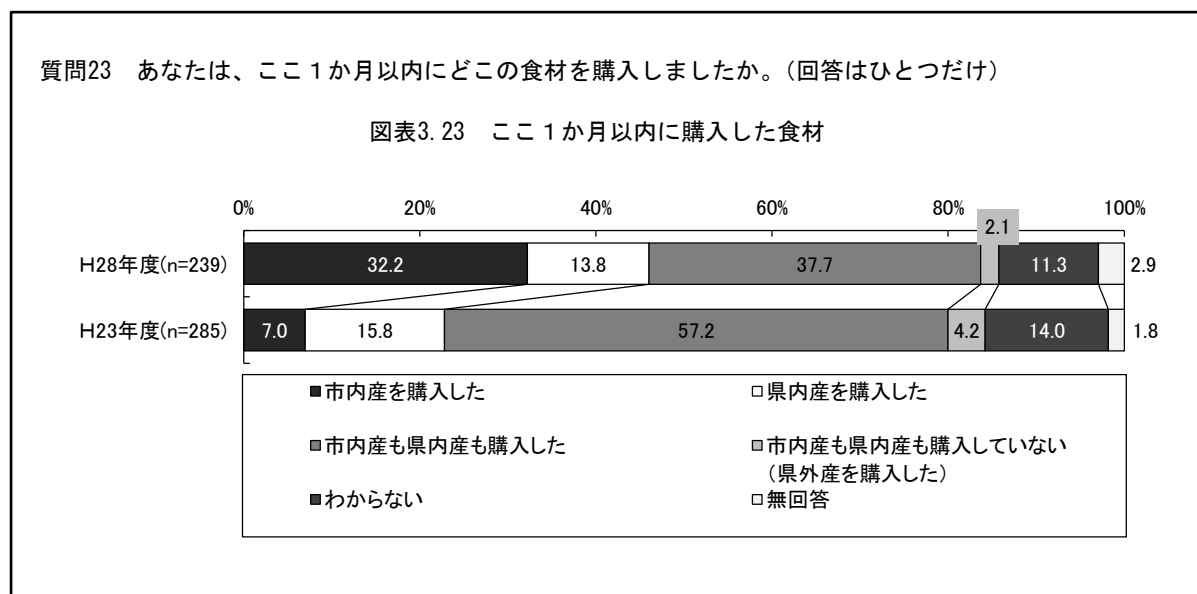
【平成 23 年度】(n=285)



※平成28年度の項目に「匠瑛市では、主食・主菜・副菜など、栄養バランスのとれた食事が手に入りやすい」「匠瑛市には、お裾分けなど、互いに食べ物を気軽に交換し合う関係がある」はありません。

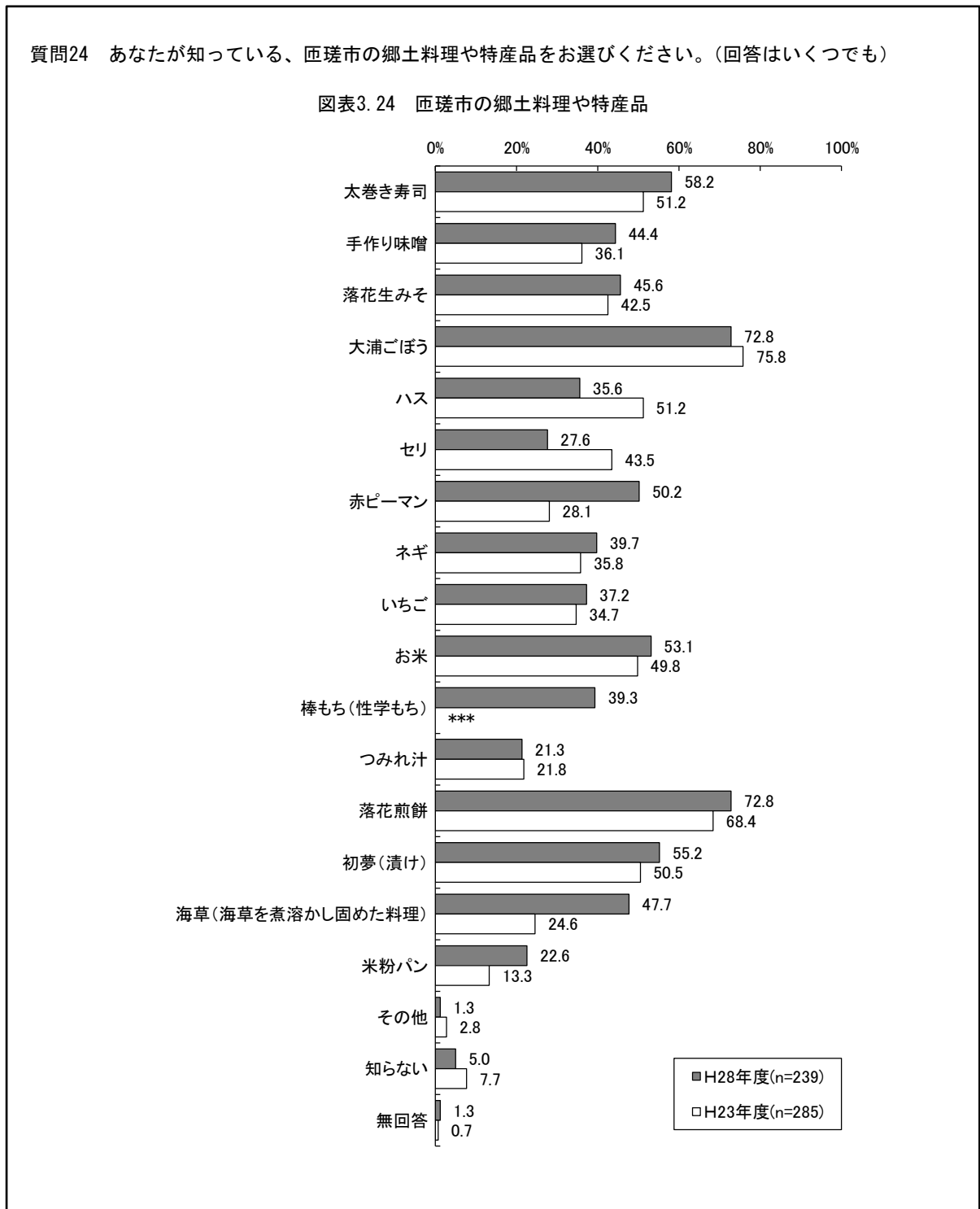
質問 23. ここ 1 か月以内に購入した食材について

- 平成 28 年度は、「市内産も県内産も購入した」が 37.7%と最も高く、次いで「市内産を購入した」が 32.2%となっています。



質問 24. 匠瑛市の郷土料理や特産品について

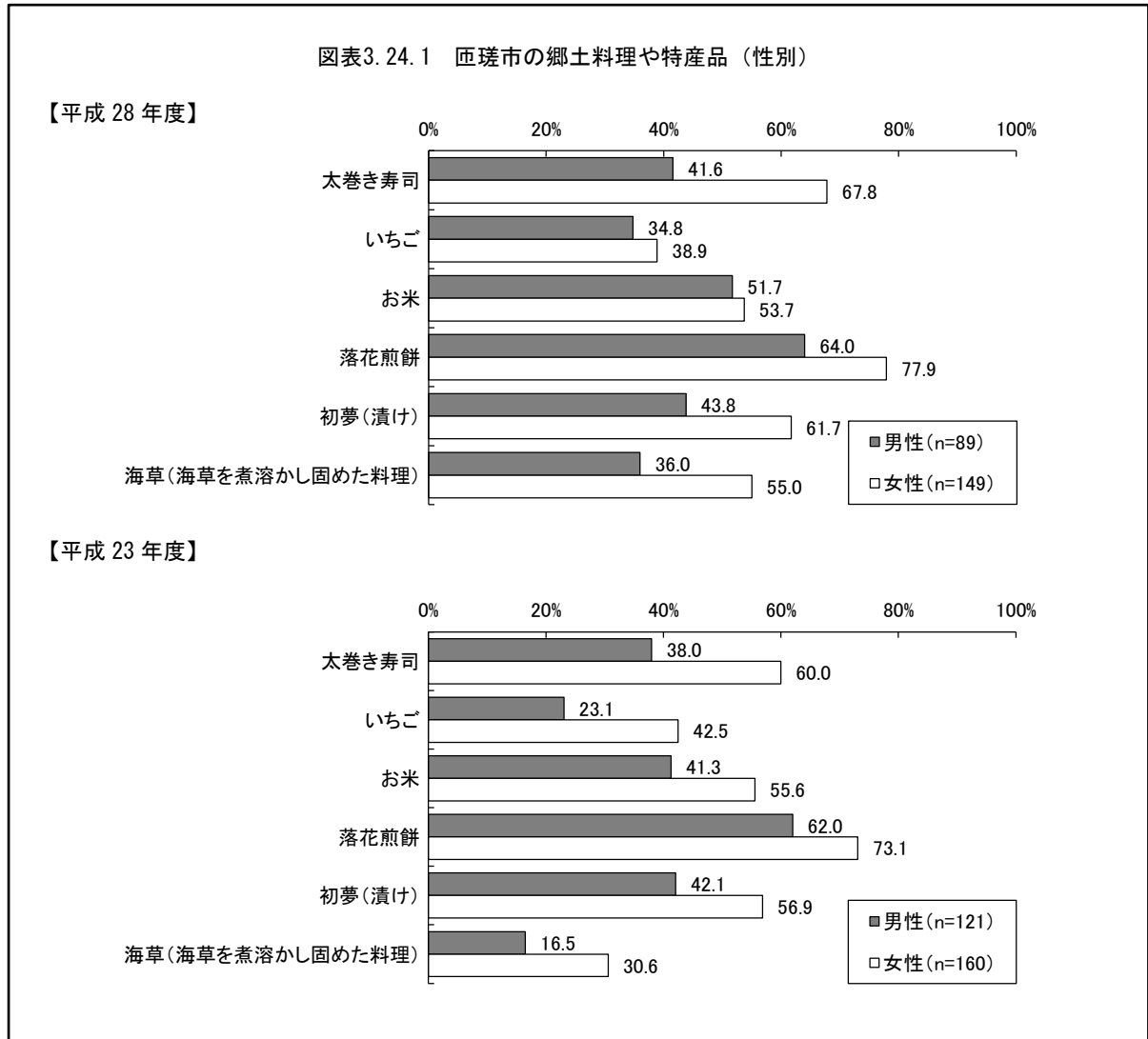
●平成 28 年度は、「大浦ごぼう」と「落花煎餅」が各 72.8%と最も高く、次いで「太巻き寿司」が 58.2%、「初夢（漬け）」が 55.2%、「お米」が 53.1%、「赤ピーマン」が 50.2%となっています。



※平成23年度の回答選択肢に「棒もち（性学もち）」はありません。

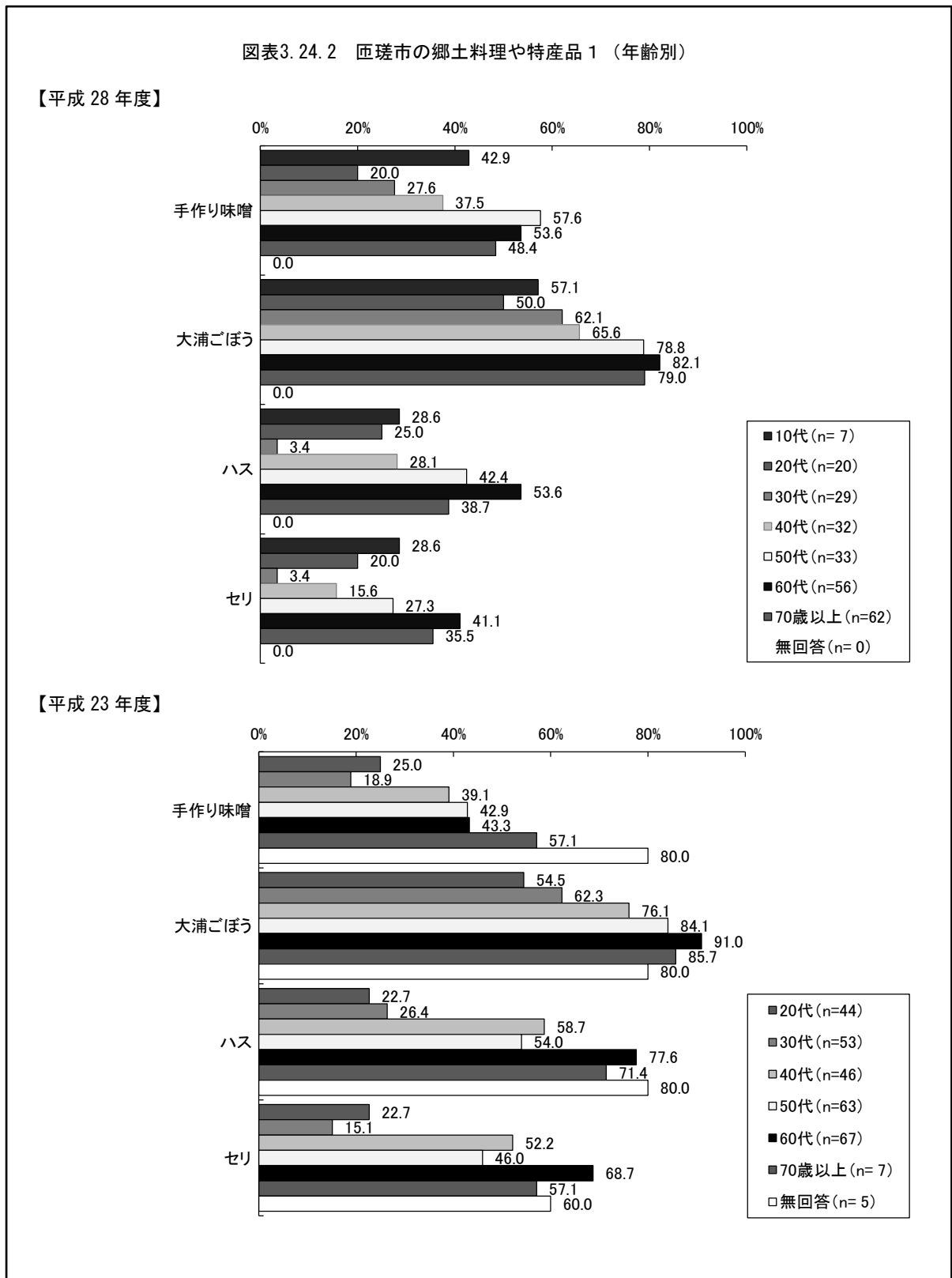
(性別)

- 平成 28 年度は、「太巻き寿司」(男性 41.6%、女性 67.8%)、「いちご」(男性 34.8%、女性 38.9%)、「お米」(男性 51.7%、女性 53.7%)、「落花煎餅」(男性 64.0%、女性 77.9%)、「初夢(漬け)」(男性 43.8%、女性 61.7%)、「海草」(男性 36.0%、女性 55.0%)は、女性が高くなっています。



(年齢別)

- 平成 28 年度は、「手作り味噌」「大浦ごぼう」「ハス」「セリ」では、50 代以上で高く、40 代よりも 11 ポイント以上高くなっています。

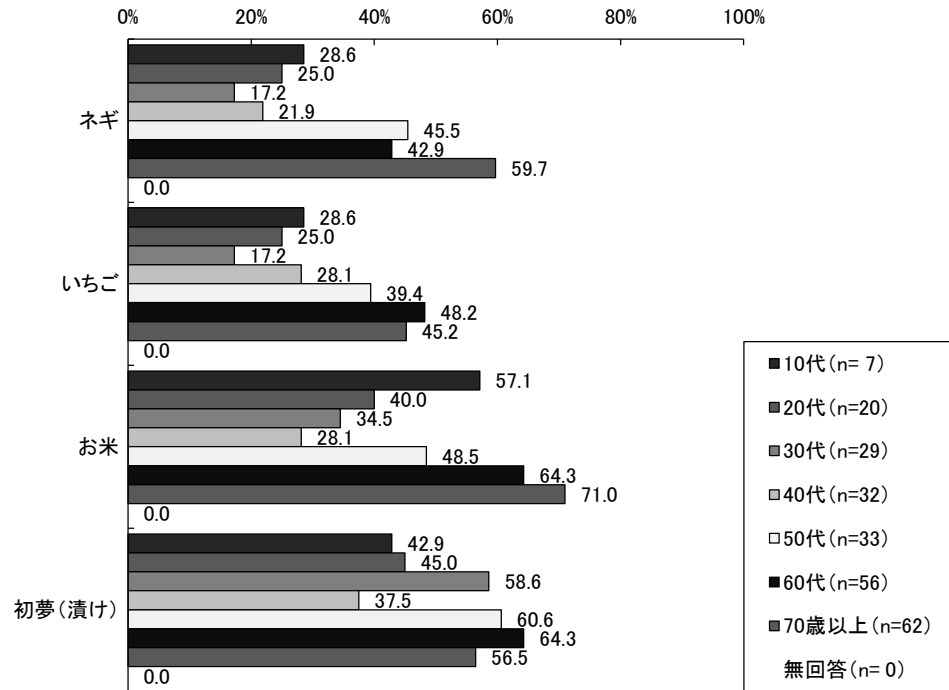


※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

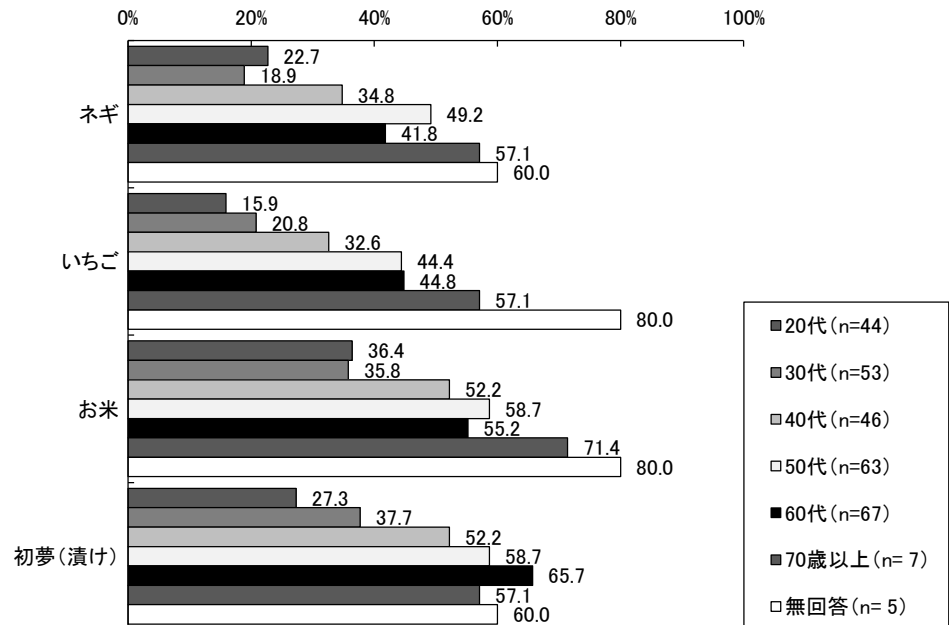
- 平成 28 年度は、「ネギ」「いちご」では 50 代以上で高くなっています。また、「お米」では 10 代と 60 代以上で 50%を超え、「初夢（漬け）」では 30 代と 50 代以上で 50%以上となっています。

図表3. 24. 2 匠瑛市の郷土料理や特産品 2（年齢別）

【平成 28 年度】

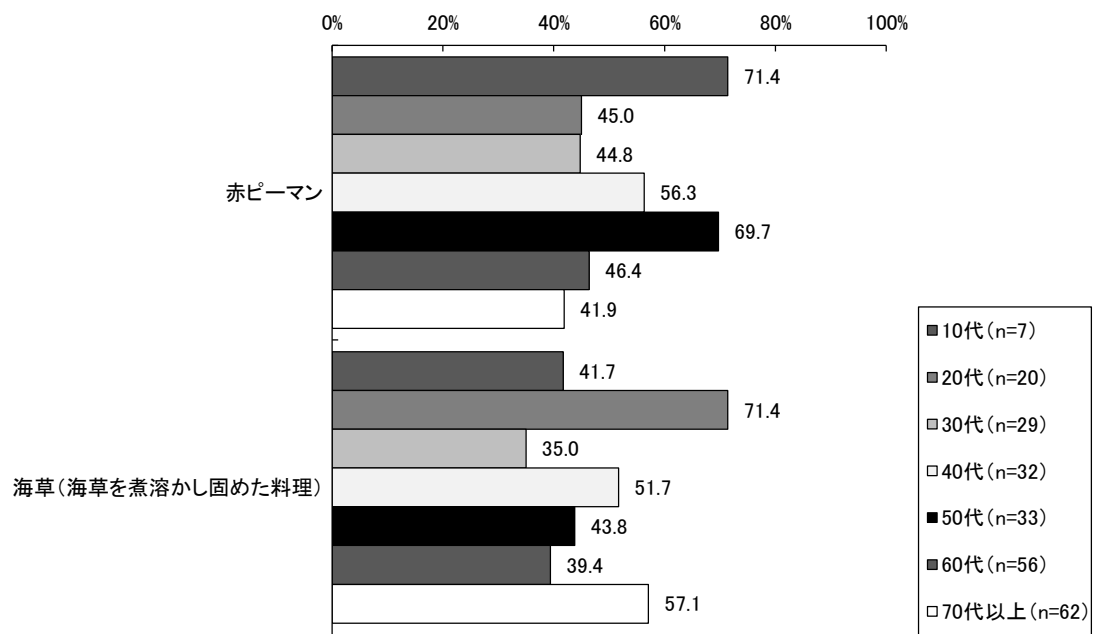


【平成 23 年度】



※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

図表3. 24. 3 匠瑳市の郷土料理や特産品3（年齢別）

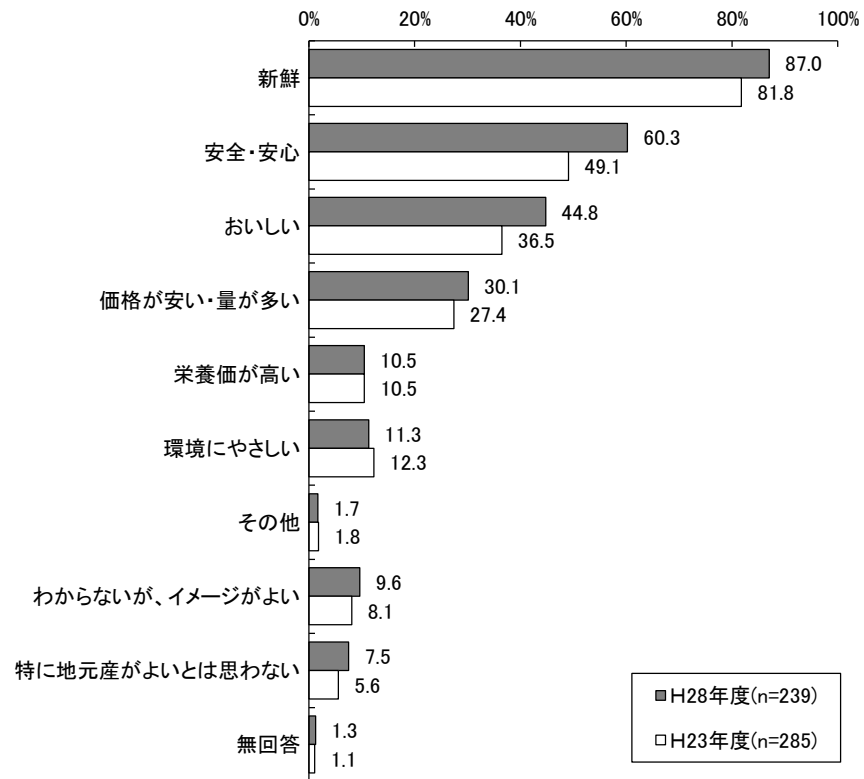


質問 25. 地元農産物のよい点について

- 平成 28 年度は、「新鮮」が 87.0%と最も高く、次いで「安全・安心」が 60.3%となっています。

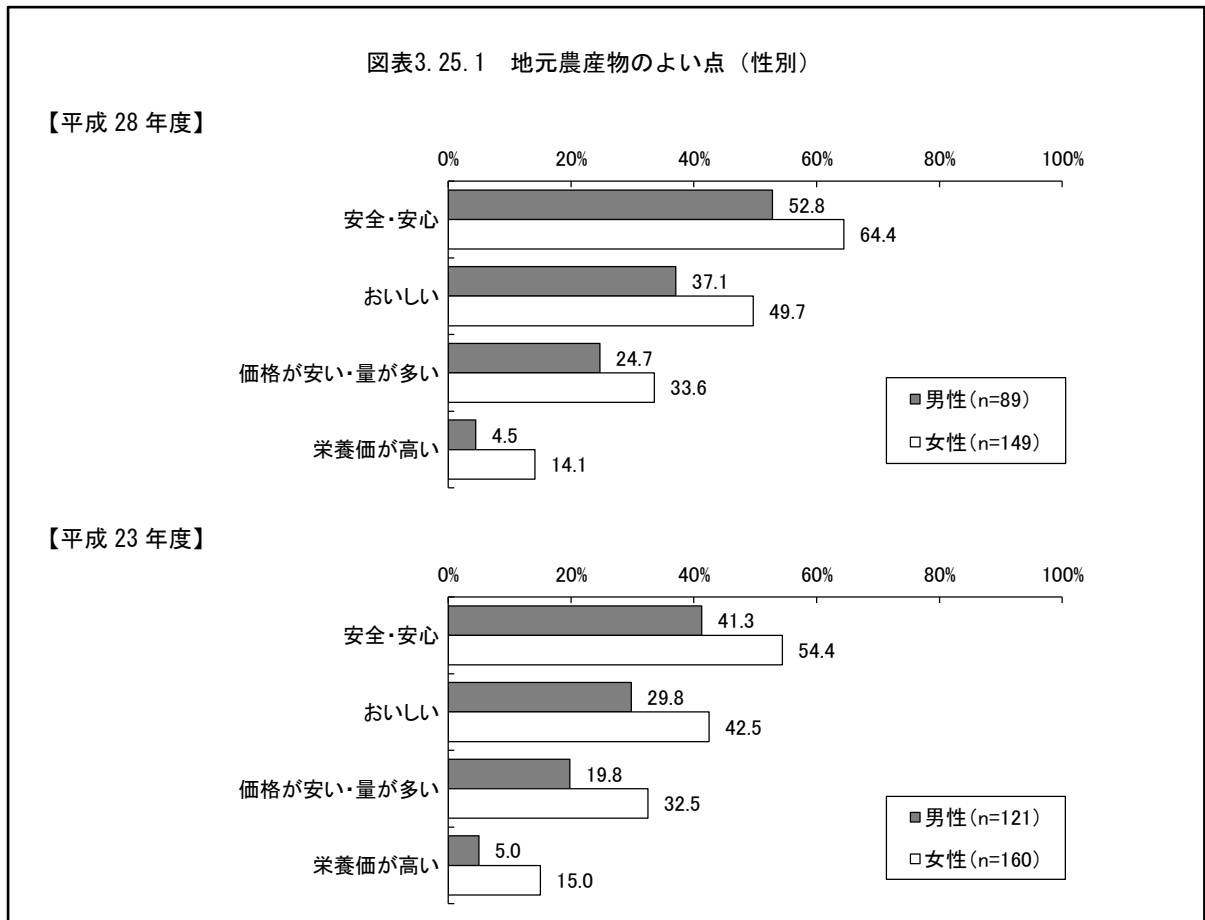
質問25 あなたは地元農産物（匠瑛市産や県内産）のよい点は、どのようなところにあると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

図表3.25 地元農産物のよい点



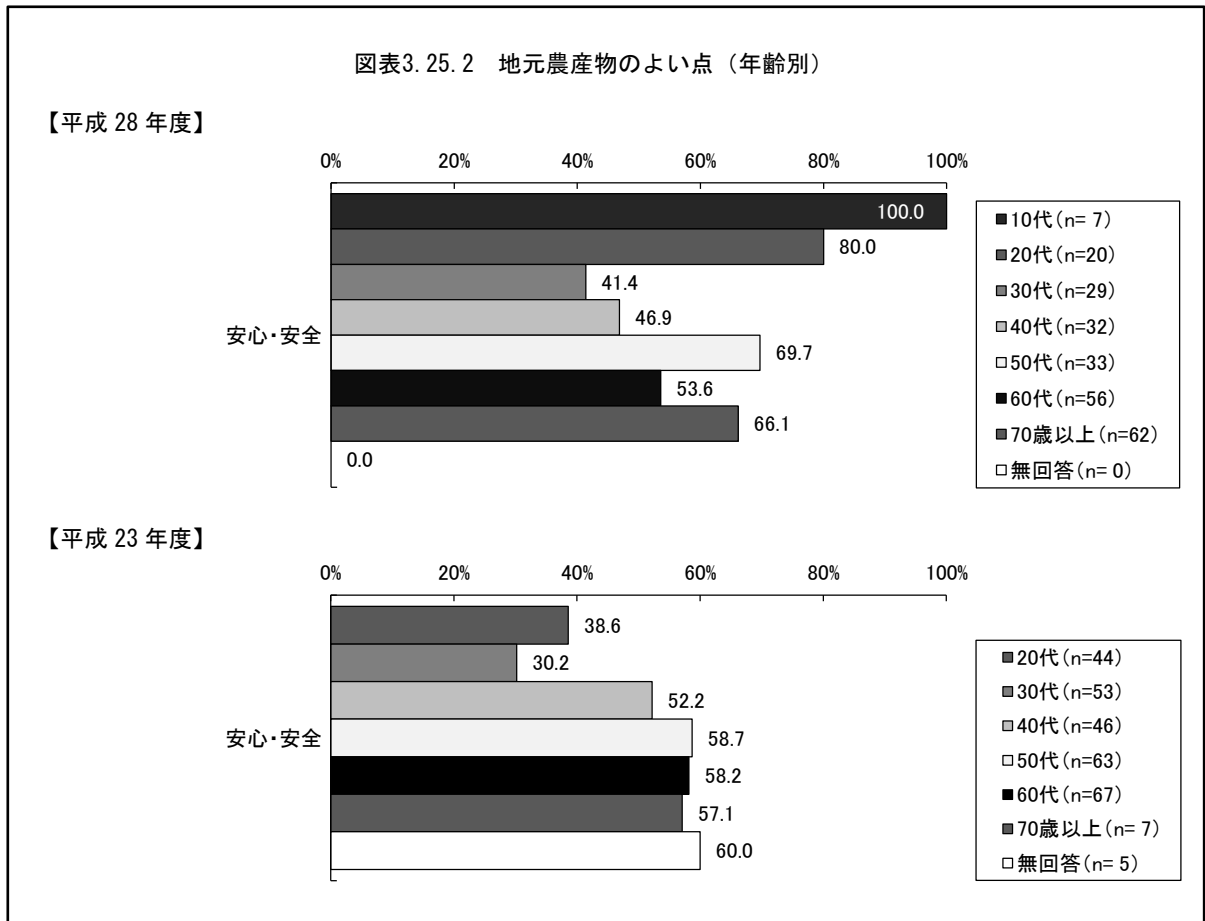
(性別)

- 平成 28 年度は、「安全・安心」(男性 52.8%、女性 64.4%)、「おいしい」(男性 37.1%、女性 49.7%)、「価格が安い・量が多い」(男性 24.7%、女性 33.6%)、「栄養価が高い」(男性 4.5%、女性 14.1%) の項目で女性が高くなっています。



(年齢別)

- 平成28年度は、「安全・安心」が10代と20代で80%以上と高くなっています。30代・40代では40%台にとどまっています。



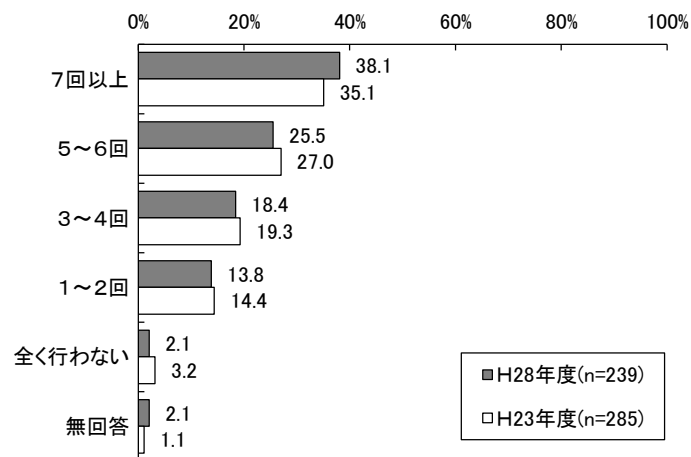
※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

質問 26. 行事食をどの程度行っているかについて

●平成 28 年度は、「7回以上」が 38.1%と最も多く、「全く行わない」は 2.1%となっています。

質問26 あなたは家庭において、行事食を伴う伝統的な行事を年間どの程度行っていますか。
(回答はいくつでも)

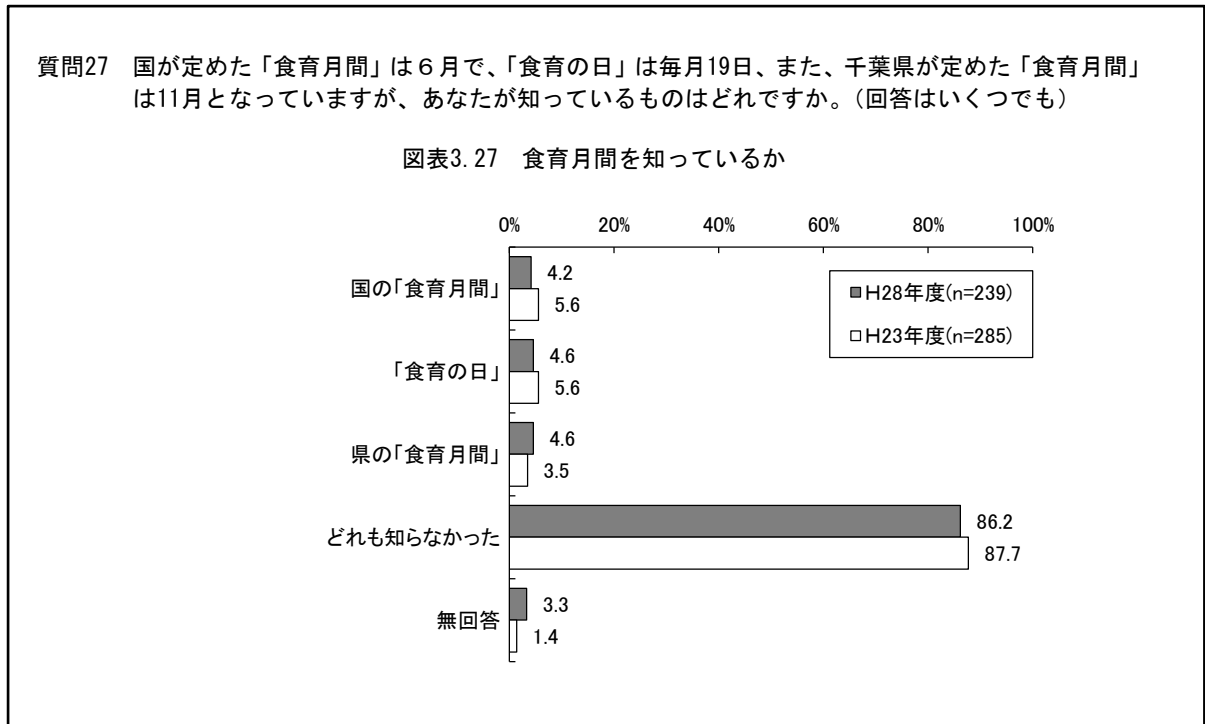
図表3. 26 行事食をどの程度行っているか



◆参考：正月（1月：おせち料理・お雑煮・七草粥等） 節分（2月：豆等）
 桃の節句（3月：五目すし等） 春分の日（3月：ぼた餅等）
 端午の節句（5月：ちまき・かしわ餅等） 七夕（7月：そうめん等）
 土用（7月：うなぎ等） お盆（8月：団子等） 十五夜（9月：月見団子等）
 秋分の日（9月：おはぎ等） 冬至（12月：かぼちゃ料理等）
 大晦日（12月：そば等）

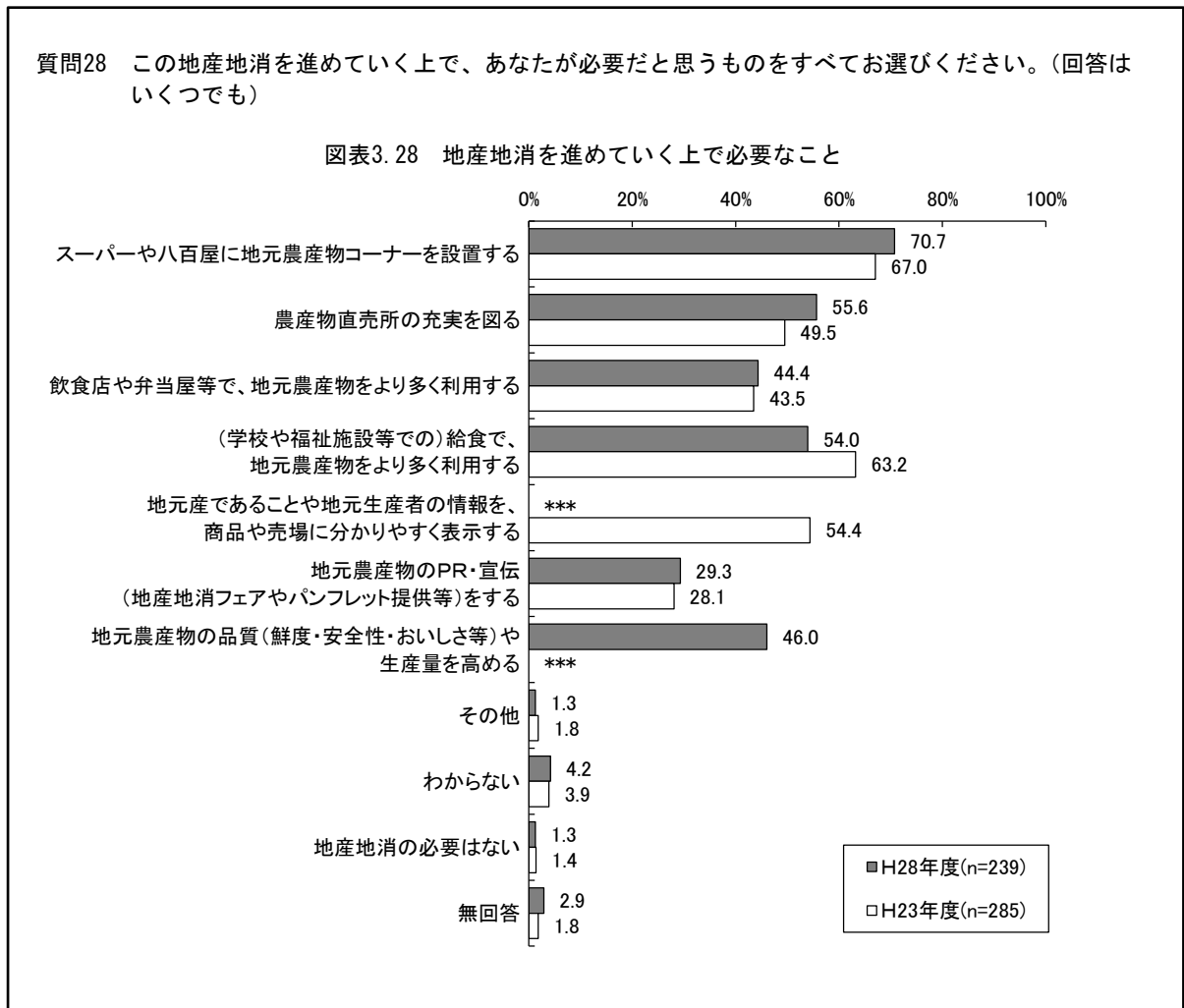
質問 27. 食育月間について

- 平成 28 年度は、「どれも知らなかった」が 86.2%と最も高くなっています。



質問 28. 地産地消を進めていく上で必要なことについて

●平成 28 年度は、「スーパーや八百屋に地元農産物コーナーを設置する」が 70.7%と最も高く、次いで「農産物直売所の充実を図る」が 55.6%、「(学校や福祉施設等での) 給食で、地元農産物をより多く利用する」が 54.0%となっています。

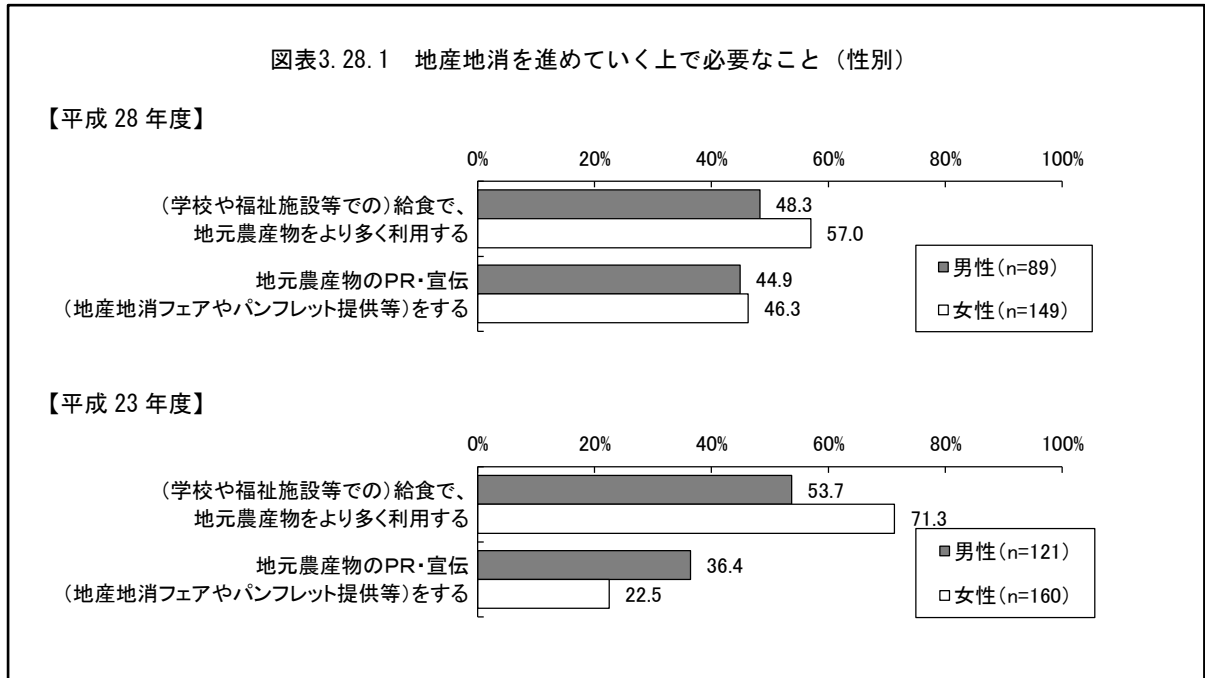


※平成28年度の回答選択肢に「地元産であることや地元生産者の情報を、商品や売場に分かりやすく表示する」はありません。

「地元農産物の品質(鮮度・安全性・おいしさ等)や生産量を高める」は、平成23年度では「地元農産物の品質(鮮度・安全性・おいしさ等)を高める」(46.7%)と「地元農産物の生産量を増やす」(18.6%)に選択肢が分かれているため数値を記載していません。

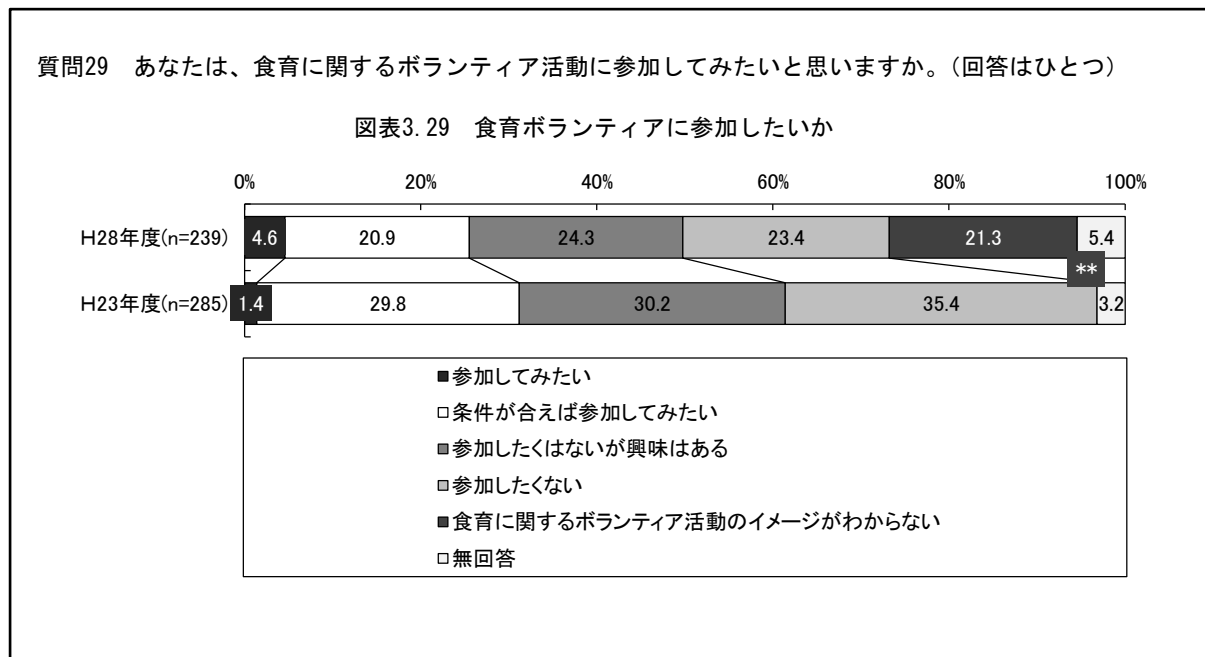
(性別)

- 平成 28 年度は、「(学校や福祉施設等での)給食で、地元農産物をより多く利用する」(男性 48.3%、女性 57.0%)では女性が男性より 8.7 ポイント高く、「地元農産物のPR・宣伝(地産地消フェアやパンフレット提供等)をする」(男性 44.9%、女性 46.3%)では、女性が男性より 1.4 ポイント高くなっています。



質問 29. 食育ボランティアへの参加について

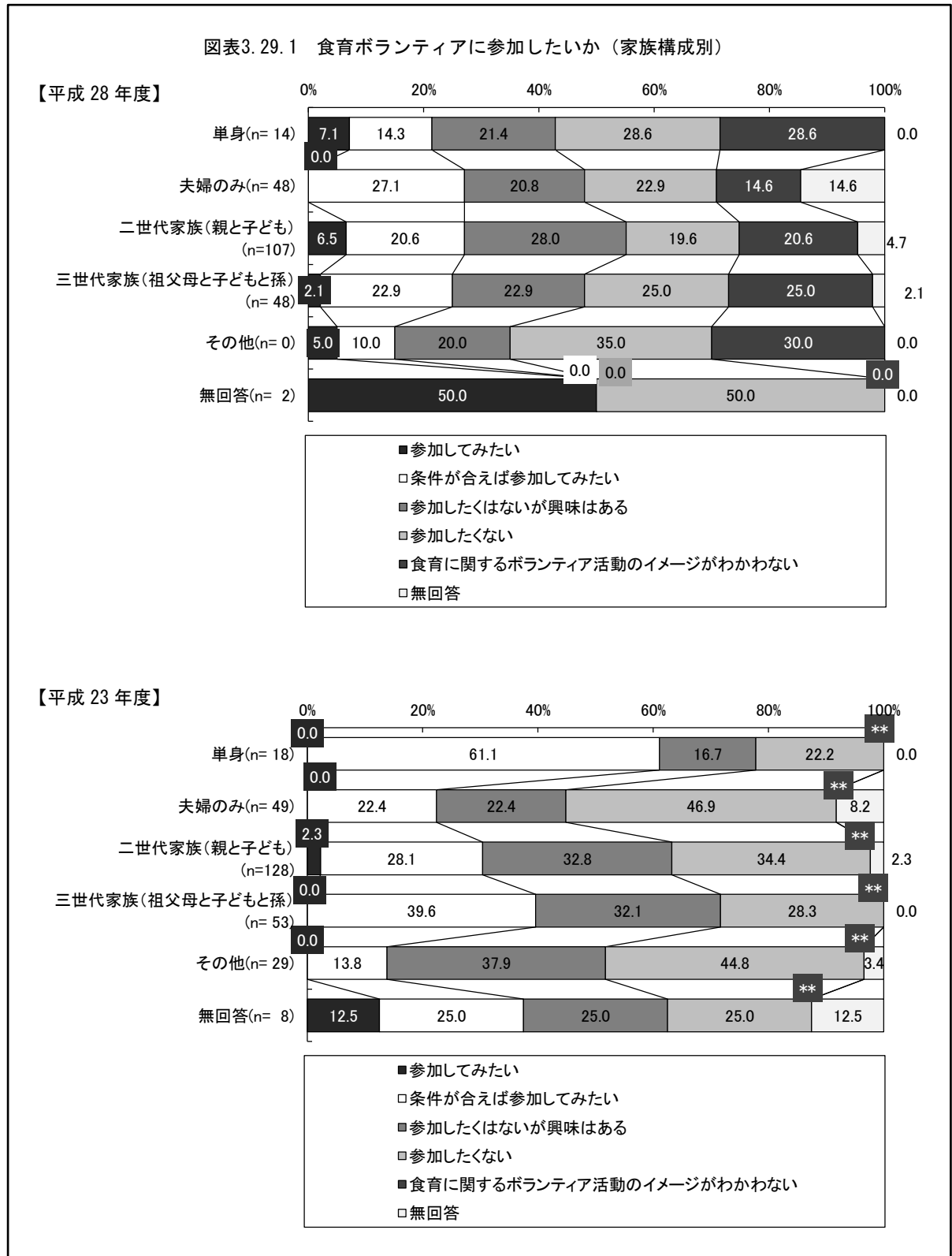
●平成 28 年度は、「参加したくはないが興味はある」が 24.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が 23.4%、「食育に関するボランティア活動のイメージがわからない」が 21.3%となっています。



※平成23年度の回答選択肢に「食育に関するボランティア活動のイメージがわからない」はありません。

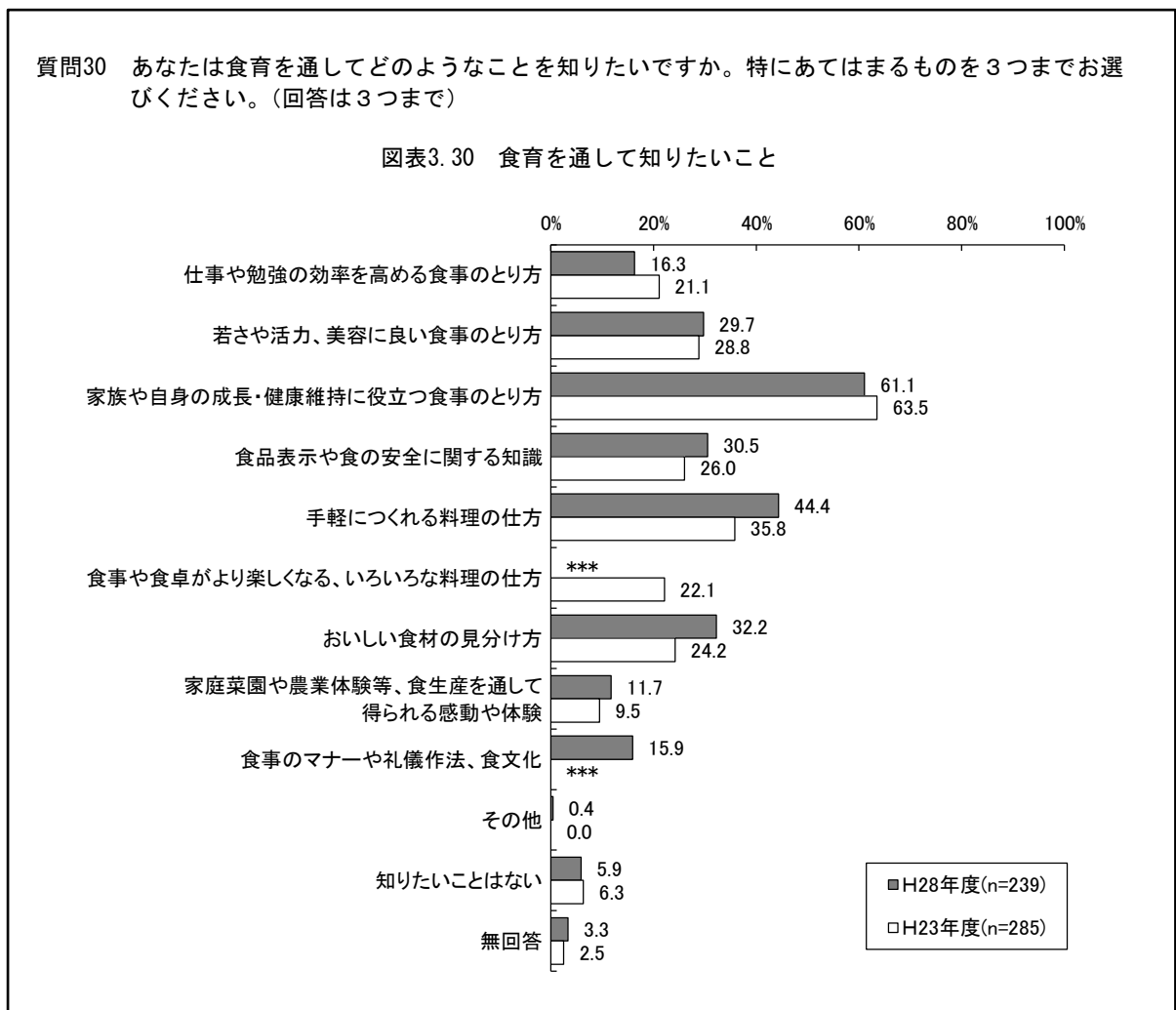
(家族構成別)

- 平成 28 年度は、「条件が合えば参加したい」が「夫婦のみ」で 27.1%と最も高く、次いで「三世代家族（祖父母と子どもと孫）」が 22.9%、「二世世代家族（親と子ども）」が 20.6%となっています。
- 「参加したくない」は「単身」で 28.6%、「三世代家族（祖父母と子どもと孫）」で 25.0%、「夫婦のみ」で 22.9%となっています。



質問 30. 食育を通して知りたいことについて

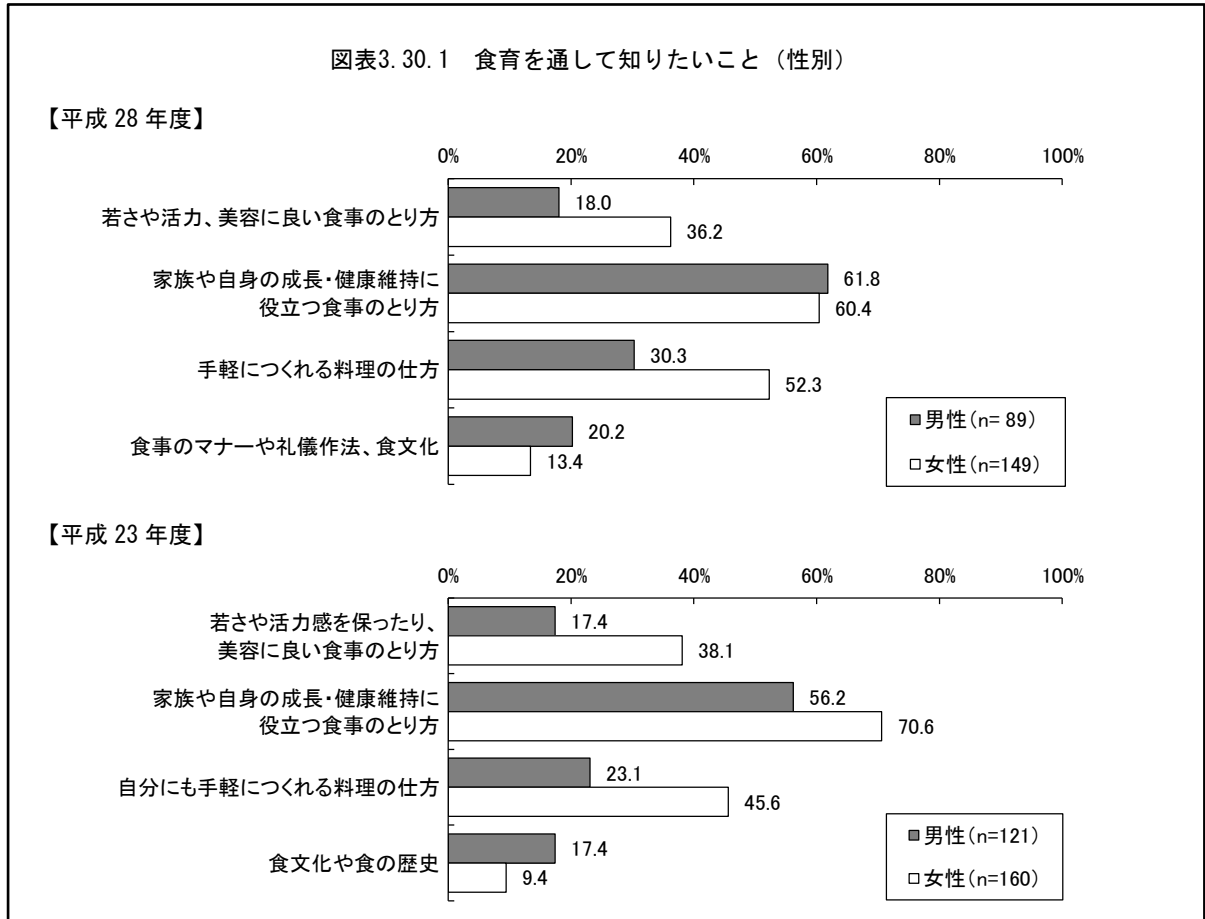
●平成 28 年度は、「家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方」が 61.1%と最も高く、次いで「手軽につくれる料理の仕方」が 44.4%となっています。



※平成28年年度の回答選択肢に「食事や食卓がより楽しくなる、いろいろな料理の仕方」はありません。
 ※「食事のマナーや礼儀作法、食文化」は、平成23年度では「食事のマナーや礼儀作法」(14.4%)と「食文化や食の歴史」(12.6%)に選択肢が分かれているため数値を記載していません。

(性別)

- 平成 28 年度は、「家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方」（男性 61.8%、女性 60.4%）と「食事のマナーや礼儀作法、食文化」（男性 20.2%、女性 13.4%）では男性が女性より高く、「若さや活力、美容に良い食事のとり方」（男性 18.0%、女性 36.2%）、「手軽につくれる料理の仕方」（男性 30.3%、女性 52.3%）では、女性が高くなっています。

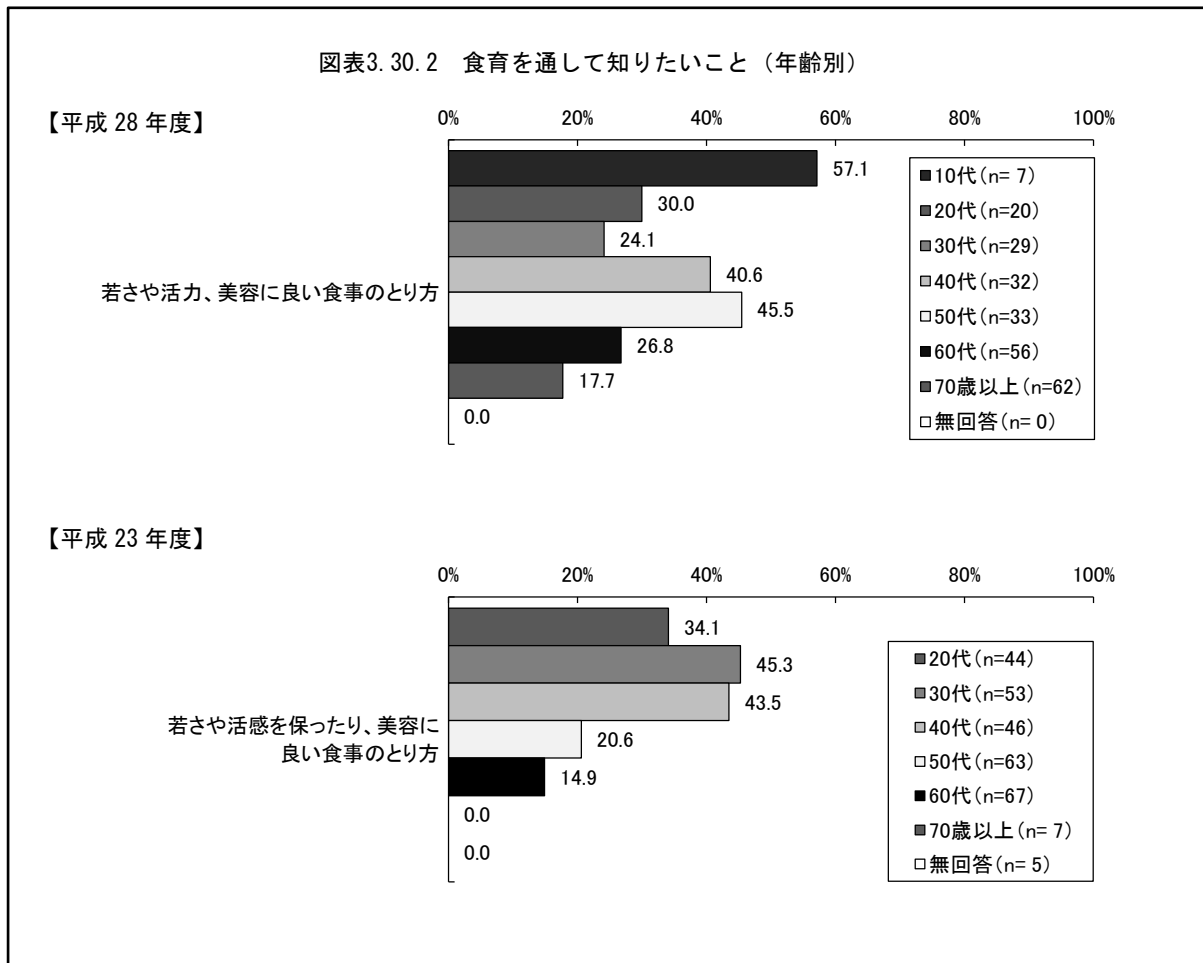


※回答選択肢「若さや活力、美容に良い食事のとり方」は平成23年度では「若さや活力感を保ったり、美容に良い食事のとり方」、「手軽につくれる料理の仕方」は「自分にも手軽につくれる料理の仕方」となっています。

※「食事のマナーや礼儀作法、食文化」は、平成23年度では「食事のマナーや礼儀作法」と「食文化や食の歴史」に選択肢が分かれています。

(年齢別)

- 平成 28 年度は、「若さや活力、美容に良い食事のとり方」では 10 代 (57.1%) が最も高く、次いで 50 代 (45.5%)、40 代 (40.6%) となっています。また、20 代と 60 代以上では 20%前後となっています。

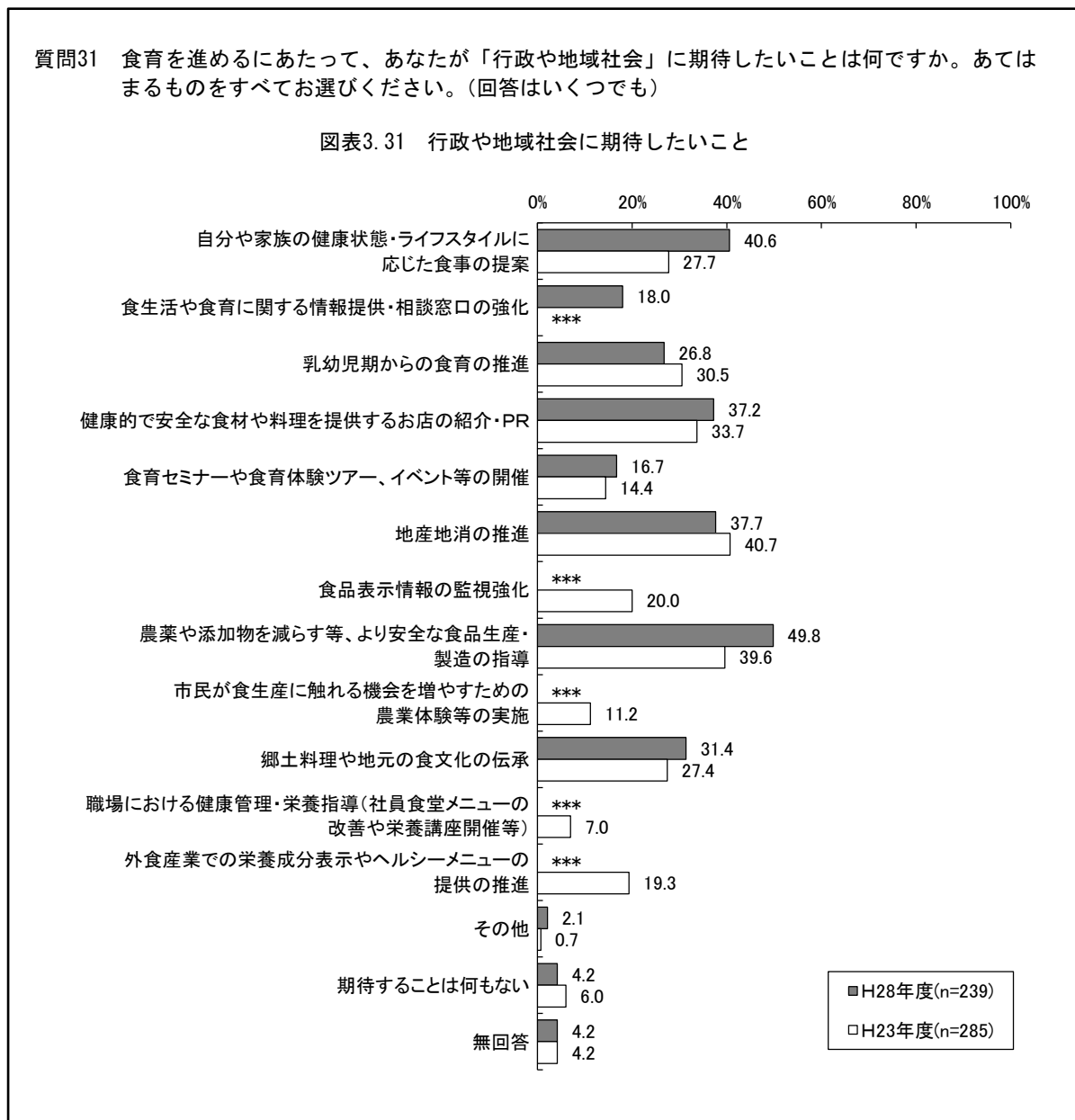


※平成23年度は調査対象者が20歳以上であるため、「10代」の回答結果はありません。

※回答選択肢「若さや活力、美容に良い食事のとり方」は平成23年度では「若さや活感を保ったり、美容に良い食事のとり方」となっています。

質問 31. 行政や地域社会に期待したいことについて

- 平成 28 年度は、「農薬や添加物を減らす等、より安全な食品生産・製造の指導」が 49.8%と最も高く、次いで「自分や家族の健康状態・ライフスタイルに応じた食事の提案」が 40.6%、「地産地消の推進」が 37.7%、「健康的で安全な食材や料理を提供するお店の紹介・PR」が 37.2%、「郷土料理や地元の食文化の伝承」が 31.4%となっています。

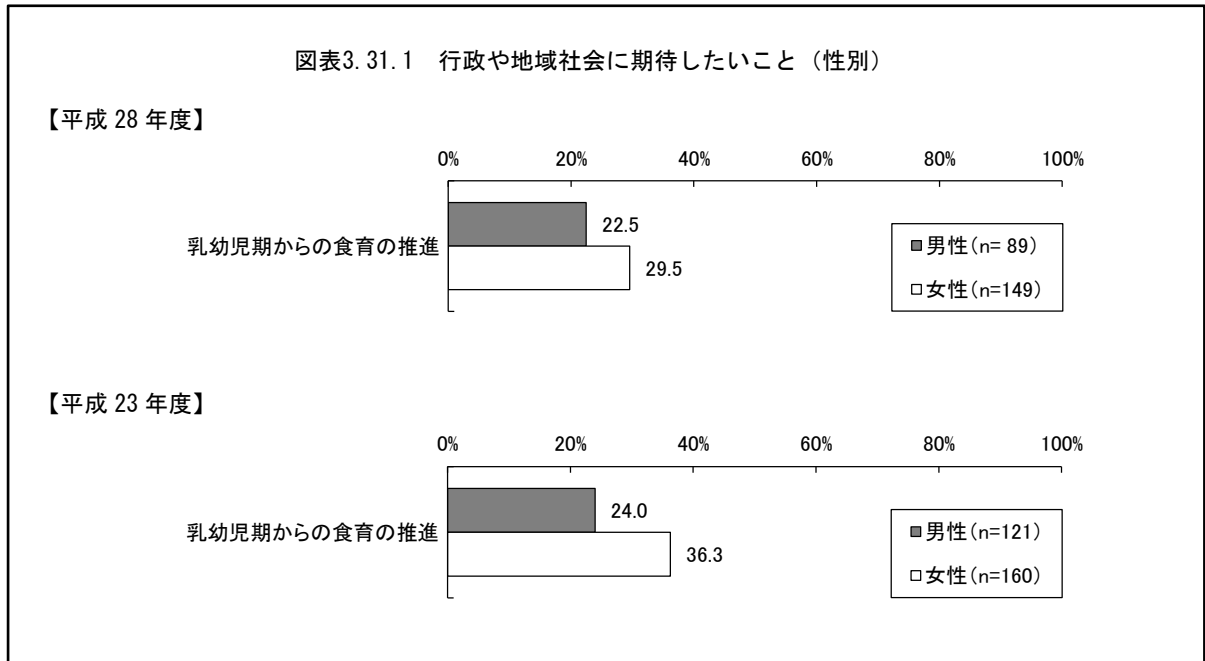


※平成28年度の回答選択肢に「食品表示情報の監視強化」「市民が食生産に触れる機会を増やすための農業体験等の実施」「職場における健康管理・栄養指導(社員食堂メニューの改善や栄養講座開催等)」「外食産業での栄養成分表示やヘルシーメニューの提供の推進」はありません。

※「食生活や食育に関する情報提供・相談窓口の強化」は、平成23年度では「食生活や食育に関する情報提供の強化」(33.3%)「食生活や食育に関する相談窓口の強化」(6.7%)に選択肢が分かれているため数値の記載はありません。

(性別)

- 平成 28 年度は、「乳幼児期からの食育の推進」(男性 22.5%、女性 29.5%)では、女性が男性より7ポイント高くなっています。



食育に関する意見や感想について（自由記述）

分類	主な内容	件数
食事について	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃、忙しく、ゆっくり料理を作る時間がないため、簡単に、短時間で健康的な料理が作れるような料理教室を開催して欲しい。(女性 30代) ○私は、季節ごと、旬のものを食べることが良いと考えています。旬のものの調理の仕方などの教室を開く、昔からのものの作り方 例えば・・・(梅干し、たくあん等)若い人が作らなくなっているようなものなどを教えてくれる機会があれば良いと思います。季節ごとの行事の由来、楽しみ方を知ることによって豊かな心で過ごせたらよいです。(女性 50代) ○魚や肉、煮物や野菜等、色どりを考え、毎日、作るよう心がけております。後、デザートもかかさず出しています。毎日の健康は、食事からですから、かたよりのないよう気を付けてます。(女性 60代) 	28
食育について	<ul style="list-style-type: none"> ○親子で食事の大切さを学べる機会をふやしたい。子どもが小さいうちに食事の大切さを農作物を生産する人達の苦勞を知り、ありがたく頂ける心を育てていきたい。そのような機会をより多く作って欲しい。(女性 30代) ○食育はとても大切なことだと考えています。しかしながら、仕事や育児などのライフスタイルを考えるとそれに対して十分考えてとりくむことは難しい現状があると考えます。食育を充実させるためにも、地域社会のとりくみや、親の仕事へのかかわり方等を見直していかなければならないのではないかと思います。(男性 30代) ○小学生ぐらいの子どもは、家庭環境によっては、食事を選ぶどころか、親が出さなければ食べることすらできない。親の意識の改善が必要、大事だと思う。大人に成長してから良い選択ができるより、子どものうちからも知識を身に付けさせたいとも思う。食料不足が将来的に考えられるのではないか？(自給率が低い)それについても向き合うべきでは？(女性 20代) 	17
食生活における不安について	<ul style="list-style-type: none"> ○ちまたで聞かれるネギ・パセリ・葉物の残農薬が気になっています。(女性 60代) ○地産地消は心がけたいが、値段や野菜そのものの品質等を他県産と比べてしまう時もある。(女性 30代) ○新鮮な地元農産物が手に入る環境がとても嬉しく思うが、放射性物質の影響が気になり、子供達へ食べさせることを考えると避けてします。子供達が安全に食生活を楽しむことができるよう気をつけていきたい。(女性 30代) 	4
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく地元産の食材を食べたいのでスーパーなどでもっと食材の種類が増えるといいなと思います。いつも直売場や道の駅をはしごして地元産のものを購入していますが子供ができたなら、そういったことも大変になると思うので。又は、コープのような地元産のものを扱う通販を市などでやってもらえたらなあと思います。(女性 20代) ○匝瑳市の魅力は農業が盛んで野菜や肉、そして海も近いので魚も美味しいことではないでしょうか？それも前面に出して市もPRしていかなくては過疎化が進むだけなのではないかと思います。市として栄えて行くために何を大切にしていくなのか考えてほしいです。この先、匝瑳市は何をPRして人口を増やしていきますか？(男性 30代) ○「地産地消」も匝瑳市単体にとらわれず、海匝、東総、北総、九十九里と広い範囲を「地元」ととらえているので、食材が手に入る環境を望んでおります。行政の範囲ではないが、地元のスーパーでは良い食材が手に入りにくいです。(例)、海に近いのに魚貝類の品ぞろえが貧弱であると感じます。(男性 40代) 	24

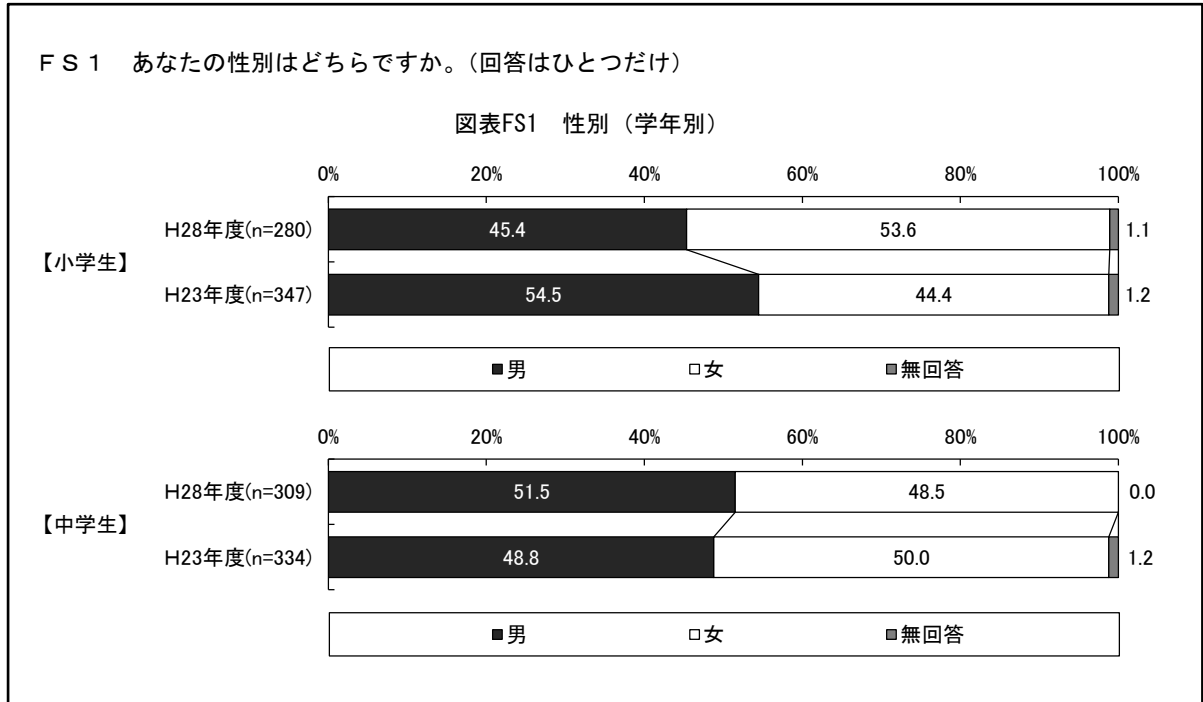
第4章

小中学生調査結果

第4章 小中学生調査結果

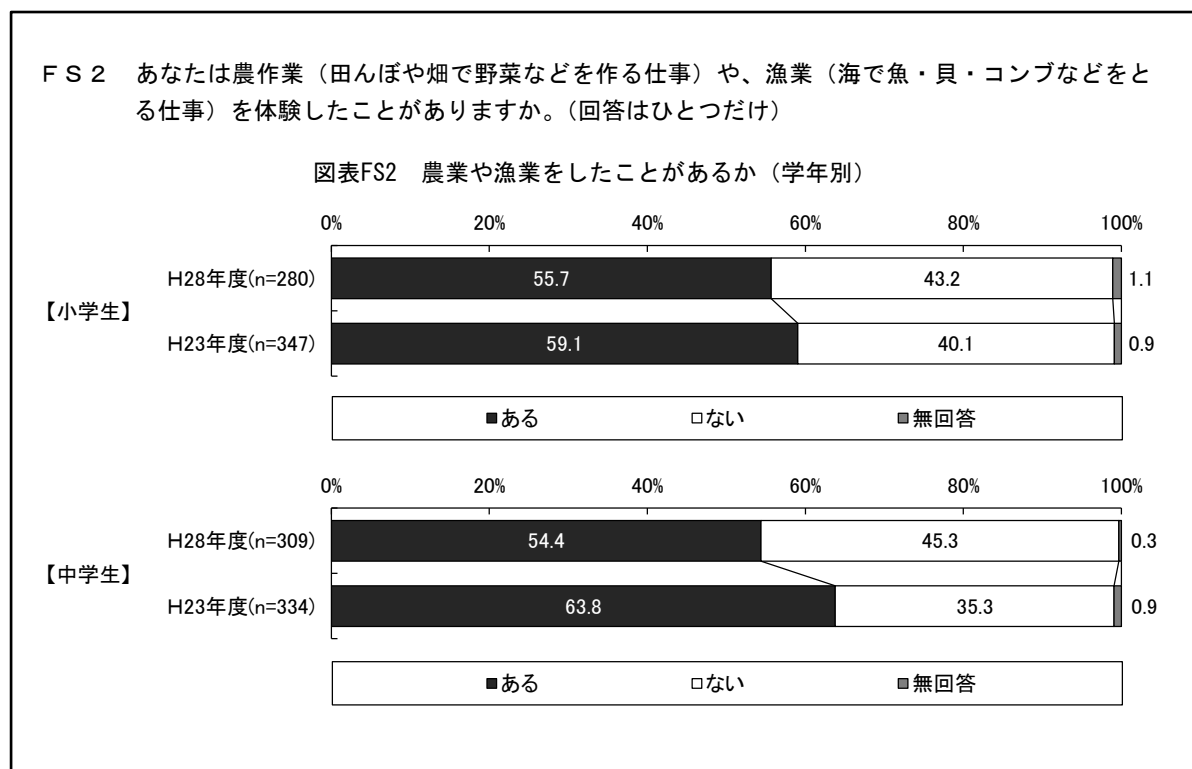
FS1. 性別について

- 平成 23 年度では、小学生男子が 54.5%、女子が 44.4%、中学生男子が 48.8%、女子が 50.0%となっています。一方、平成 28 年度では、小学生男子が 45.4%、女子が 53.6%、中学生男子が 51.5%、女子が 48.5%となっています。



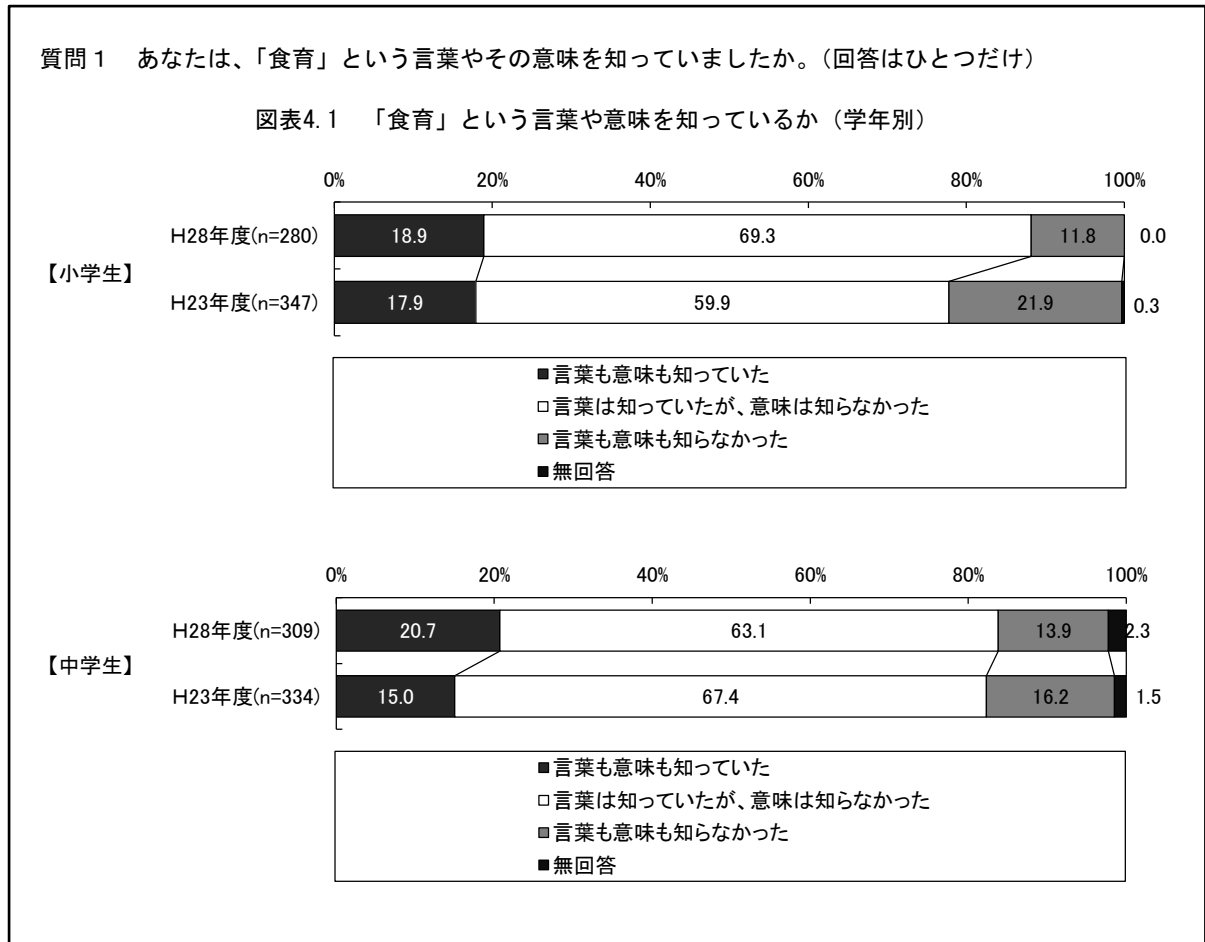
FS2. 農作業や漁業を体験したことがあるかについて

- 「ある」は平成 23 年度（小学生 59.1%、中学生 63.8%）では中学生で高くなっているものの、平成 28 年度（小学生 55.7%、中学生 54.4%）では小学生で高くなっています。
- 経年変化をみると、小学生・中学生ともに「ある」が3～9ポイント減少しています。



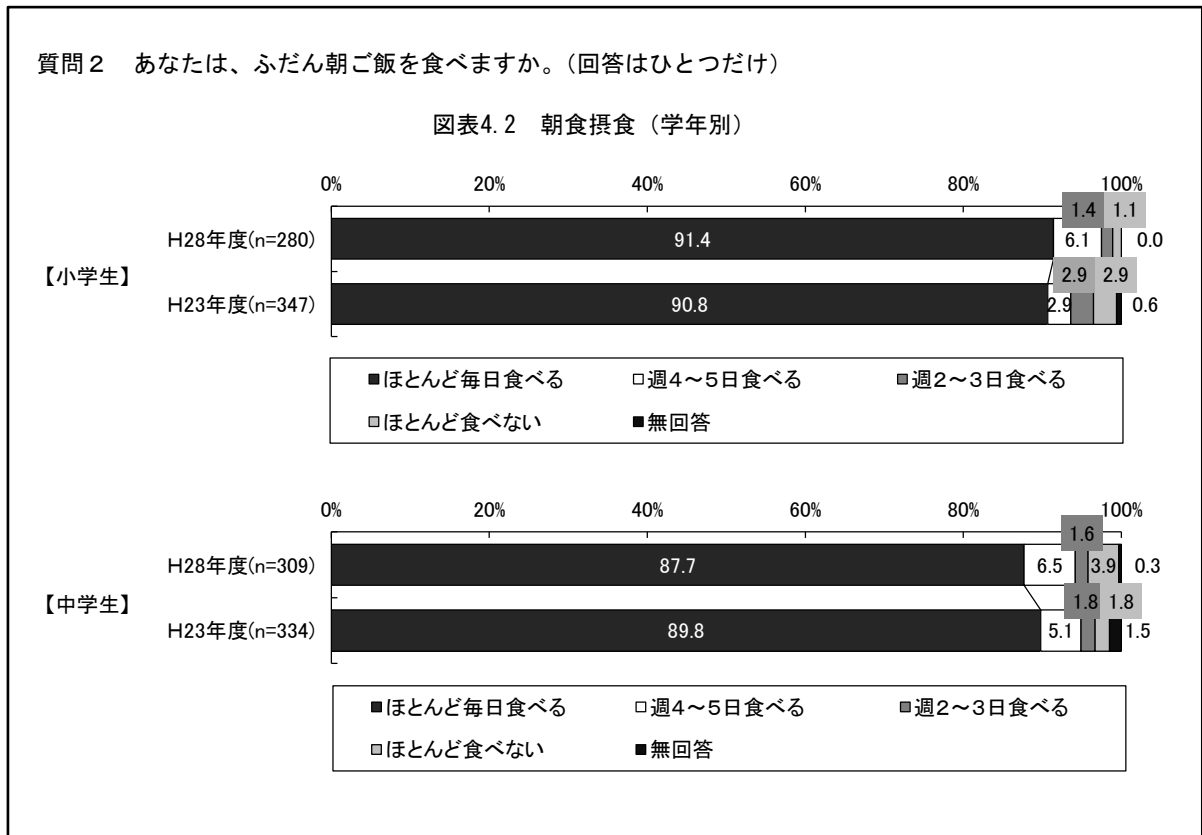
質問1. 「食育」を知っているかについて

- 「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」は、平成23年度(小学生59.9%、中学生67.4%)では中学生で高くなっているものの、平成28年度(小学生69.3%、中学生63.1%)では小学生で高くなっています。
- 「言葉も意味も知っていた」と「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」合わせると、小学生・中学生ともに平成23年度(小学生77.8%、中学生82.4%)を平成28年度(小学生88.2%、中学生83.8%)が上回っています。特に小学生では10ポイント以上増加しています。



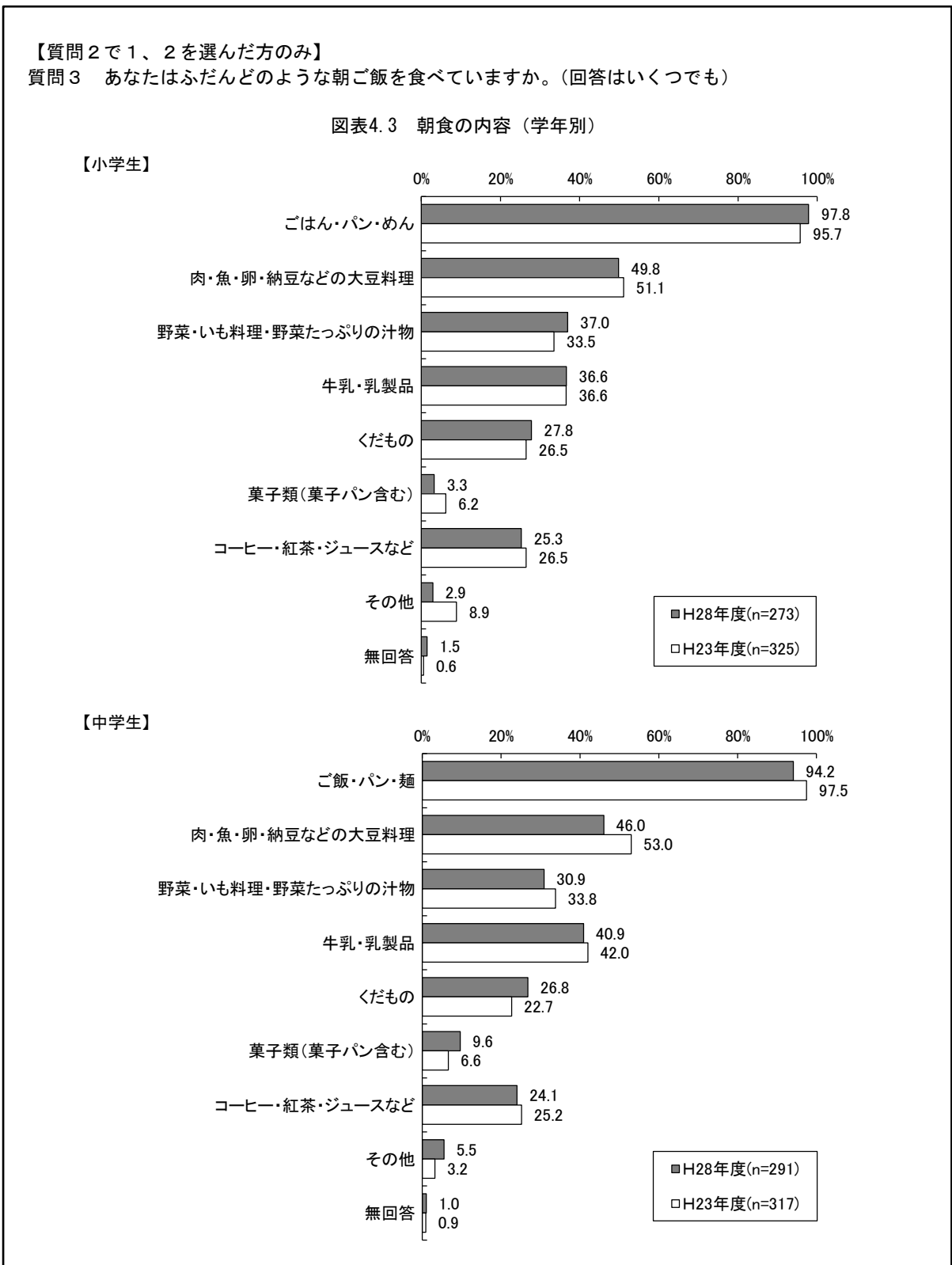
質問2. 朝食について

- 「ほとんど毎日食べる」は、平成23年度では、小学生で90.8%、中学生で89.8%となっており、平成28年度では、小学生で91.4%、中学生で87.7%となっています。



質問3. 朝食の内容について

- 主食の「ごはん・パン・めん」（平成23年度：小学生95.7%、中学生97.5%）（平成28年度：小学生97.8%、中学生94.2%）が最も高くなっています。次いで主菜の「肉・魚・卵・納豆などの大豆料理」（平成23年度：小学生51.1%、中学生53.0%）（平成28年度：小学生49.8%、中学生46.0%）となっています。
- 「牛乳・乳製品」が、平成23年度では小学生36.6%・中学生42.0%、平成28年度では小学生36.6%・中学生40.9%となっています。

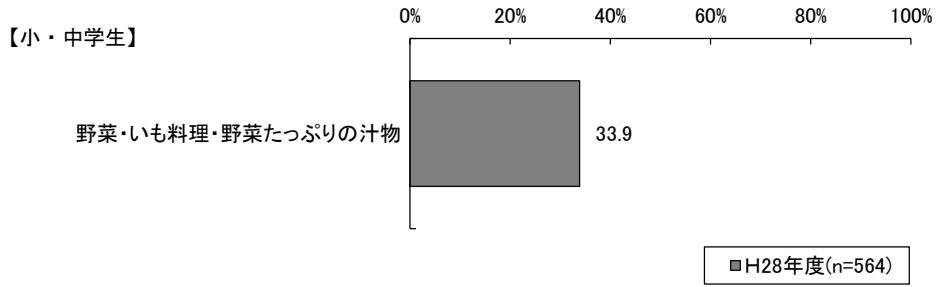


【質問2で1、2を選んだ方のみ】

質問3 あなたはふだんどのような朝ご飯を食べていますか。

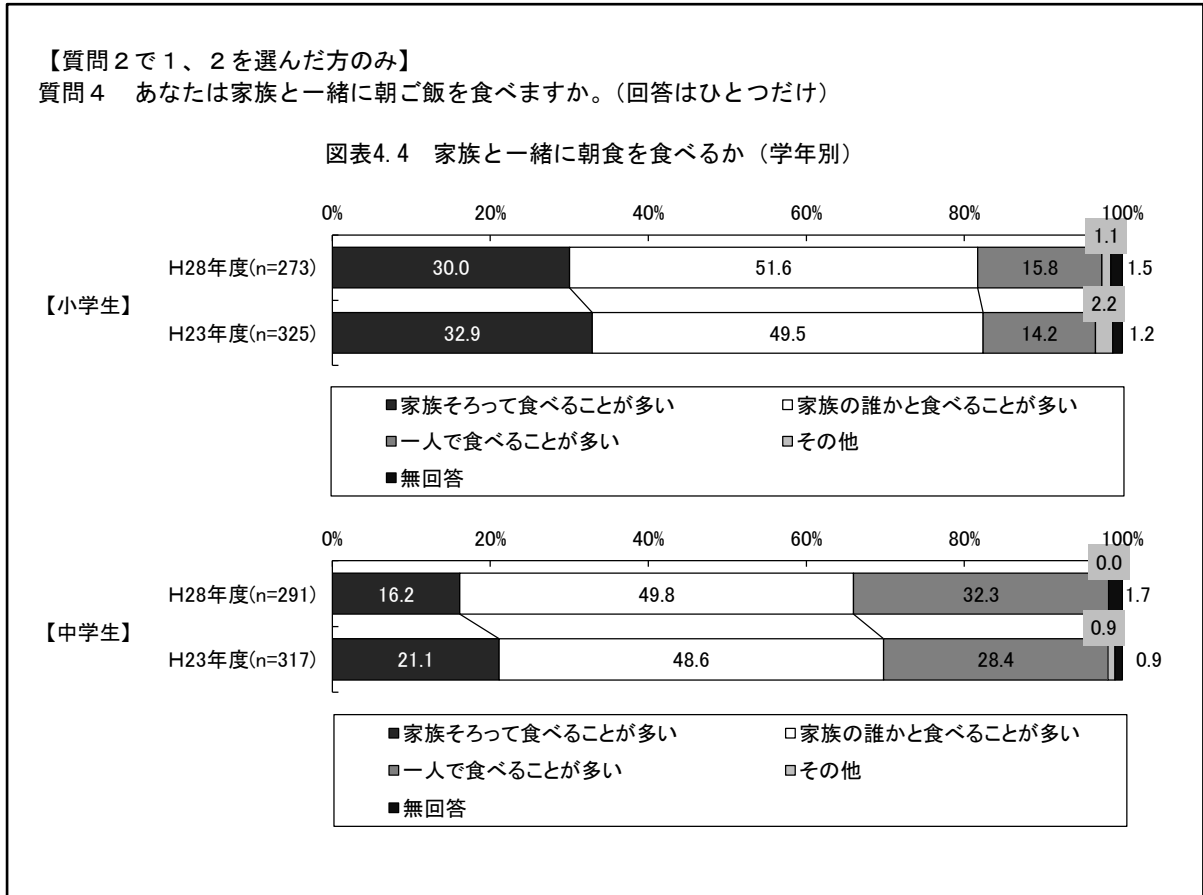
(野菜・いも料理・野菜たっぷりの汁物)を回答した小・中学生

図表4.3 朝食の内容(学年別)



質問4. 家族と一緒に朝食を食べるかについて

- 「一人で食べることが多い」は平成 23 年度 28.4%、平成 28 年度 32.3%と中学生で高く、小学生の2倍となっています。
- 「家族の誰かと食べることが多い」はほとんど変わりませんが、「家族そろって食べるが多い」は平成 28 年度では中学生で 16.2%と減少し、小学生に比べ 13.8 ポイント低くなっています。



質問5. 朝食を食べない理由について

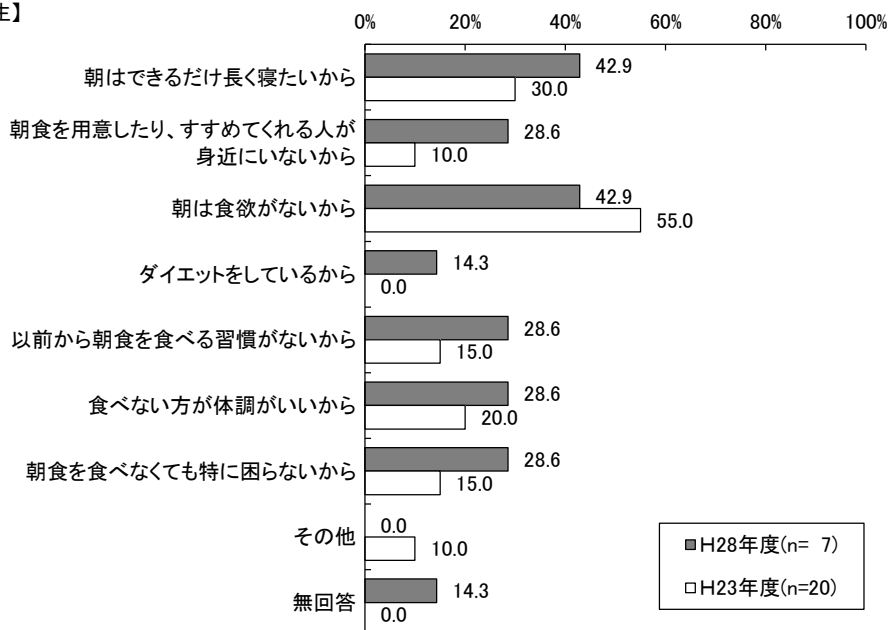
- 平成28年度の中学生では「朝は食欲がないから」(82.4%)を8割以上が理由として挙げており、平成23年度の約2倍となっています。

【質問2で3、4を選んだ方のみ】

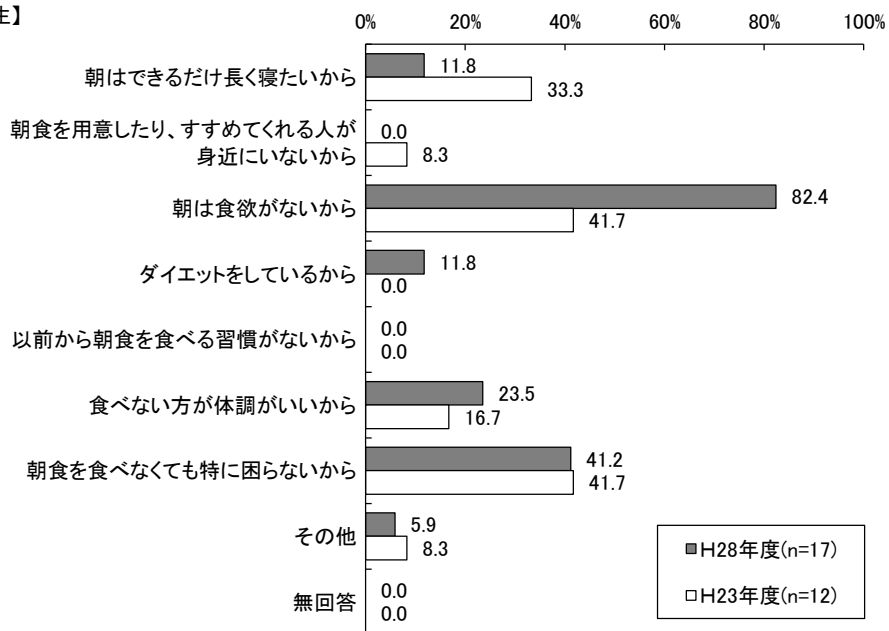
質問5 あなたが朝ご飯を食べない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

図表4.5 朝食を食べない理由(学年別)

【小学生】

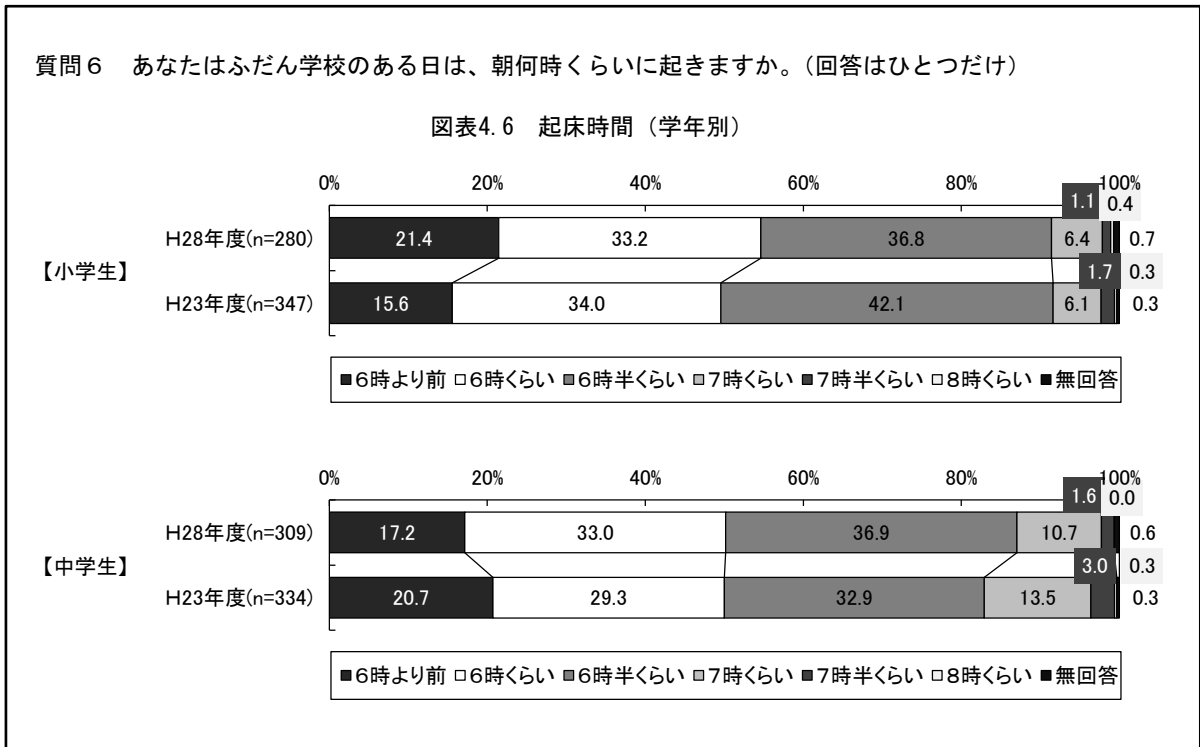


【中学生】



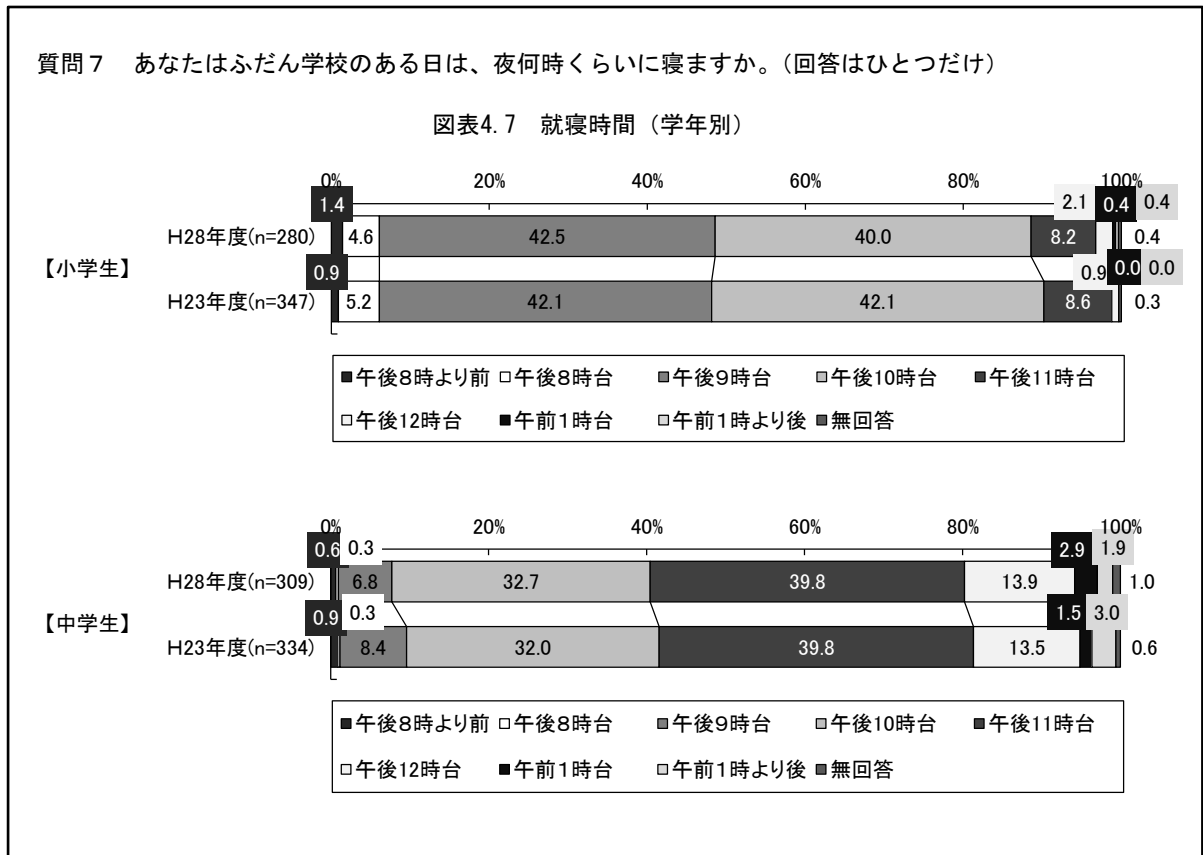
質問6. 起床時間について

- 小学生、中学生ともに「6時半くらい」(平成23年度:小学生42.1%、中学生32.9%)(平成28年度:小学生36.8%、中学生36.9%)の起床が最も高く、次いで「6時くらい」(平成23年度:小学生34.0%、中学生29.3%)(平成28年度:小学生33.2%、中学生33.0%)となっています。
- 小学生の「6時より前」は平成23年度の15.6%から平成28年度では21.4%と5.8ポイント高くなっています。



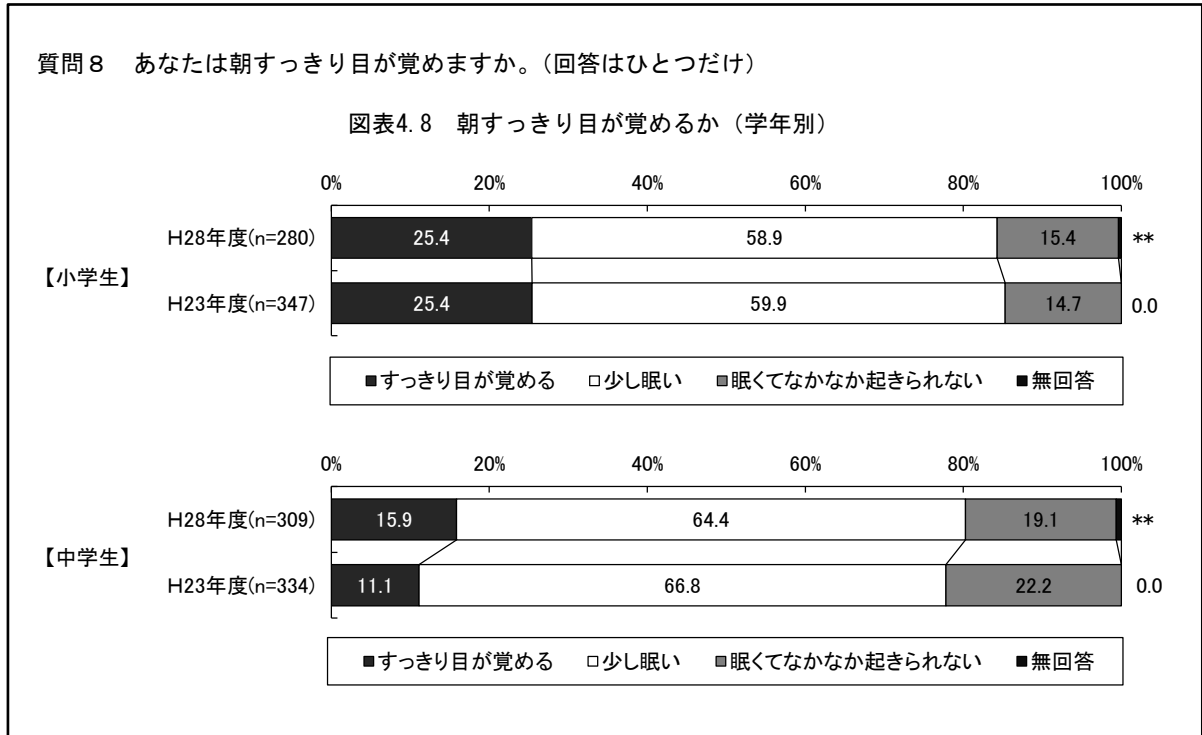
質問7. 就寝時間について

- 平成 28 年度の小学生では、「午後9時台」(42.5%)、中学生では「午後11時台」(39.8%)の就寝が最も高くなっています。



質問8. 朝の目覚めについて

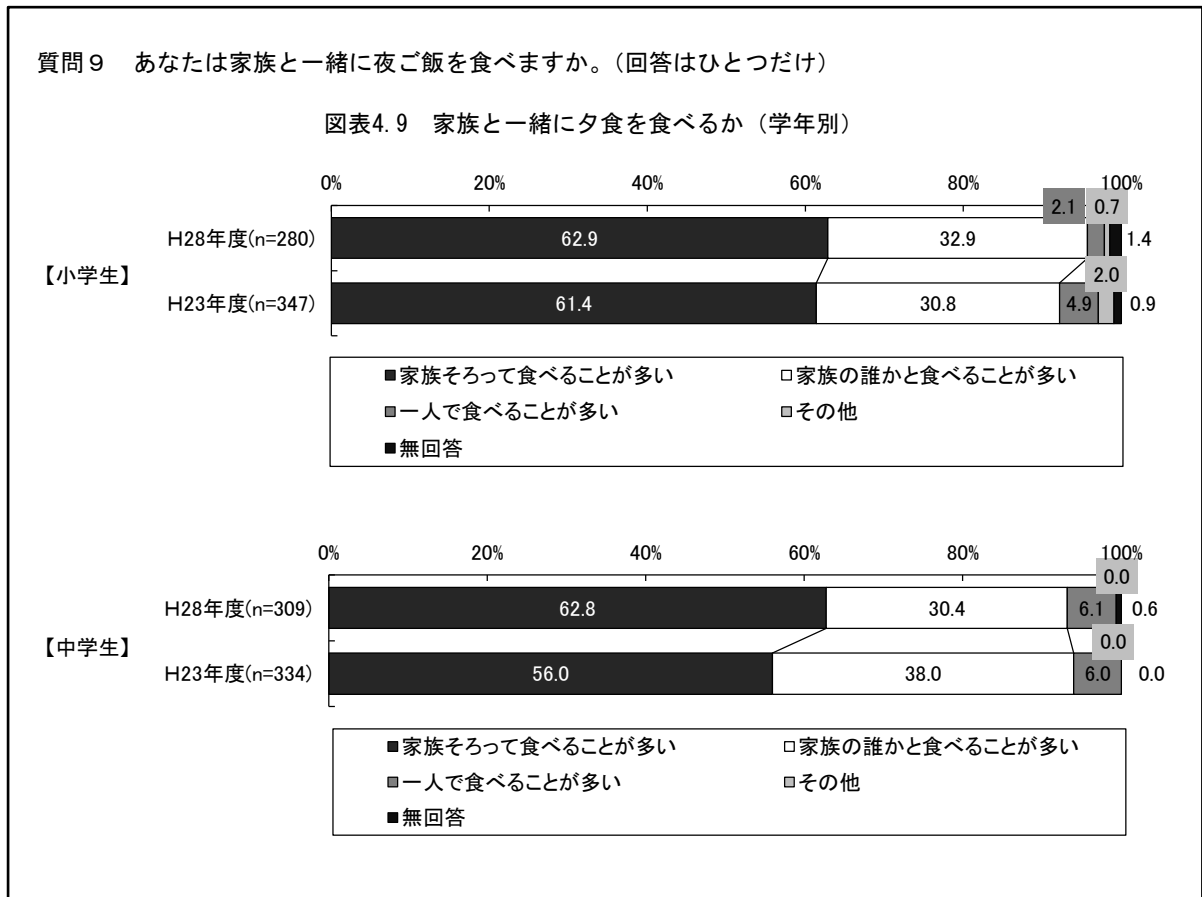
●「少し眠い」(平成23年度:小学生59.9%、中学生66.8%)(平成28年度:小学生58.9%、中学生64.4%)が最も高く、次いで、小学生は「すっきり目が覚める」が平成23年度、28年度ともに25.4%、中学生は「眠くてなかなか起きられない」(平成23年度:22.2%、平成28年度:19.1%)となっています。



※H23年度には無回答の記載はありません。

質問9. 家族と一緒に夕食を食べるかについて

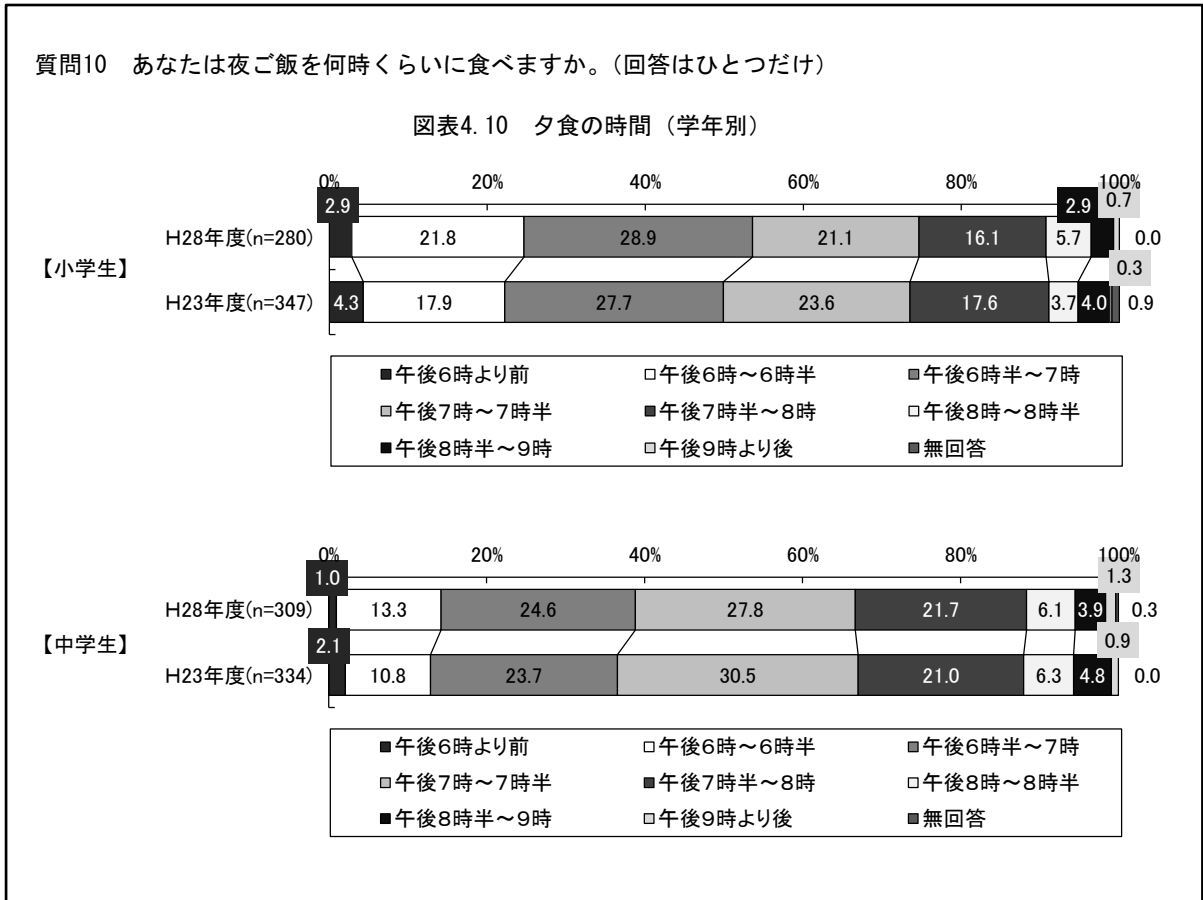
- 「家族そろって食べることが多い」（平成 23 年度：小学生 61.4%、中学生 56.0%）（平成 28 年度：小学生 62.9%、中学生 62.8%）が最も高くなっています。
- 「一人で食べることが多い」は平成 28 年度では、小学生で 2.1%（6人）、中学生で 6.1%（19人）となっています。



- 「一人で食べるが多い」理由は、中学生では「塾や習い事がある」が7人、「家族が仕事で遅い」が4人となっています。

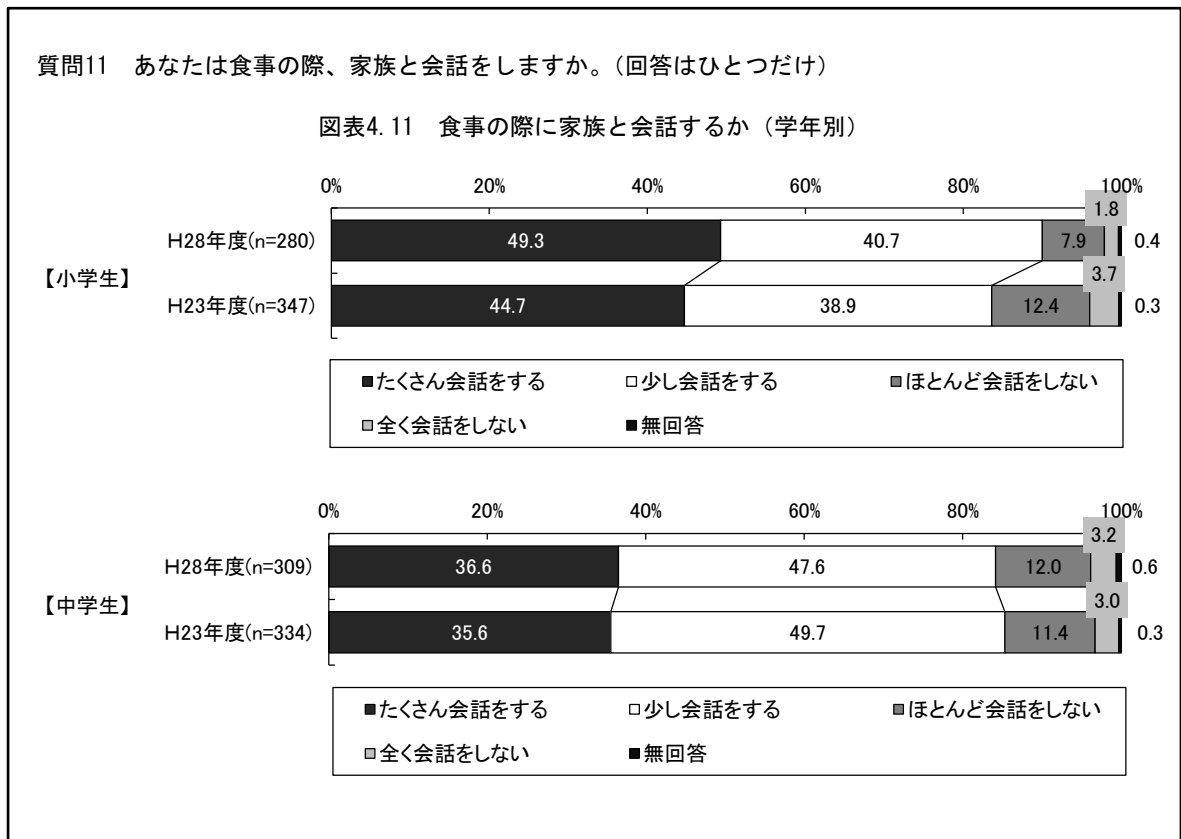
質問 10. 夕食の時間について

●小学生は「午後6時半～7時」（平成 23 年度：27.7%、平成 28 年度：28.9%）が、中学生は「午後7時～7時半」（平成 23 年度：30.5%、平成 28 年度：27.8%）が最も高くなっています。



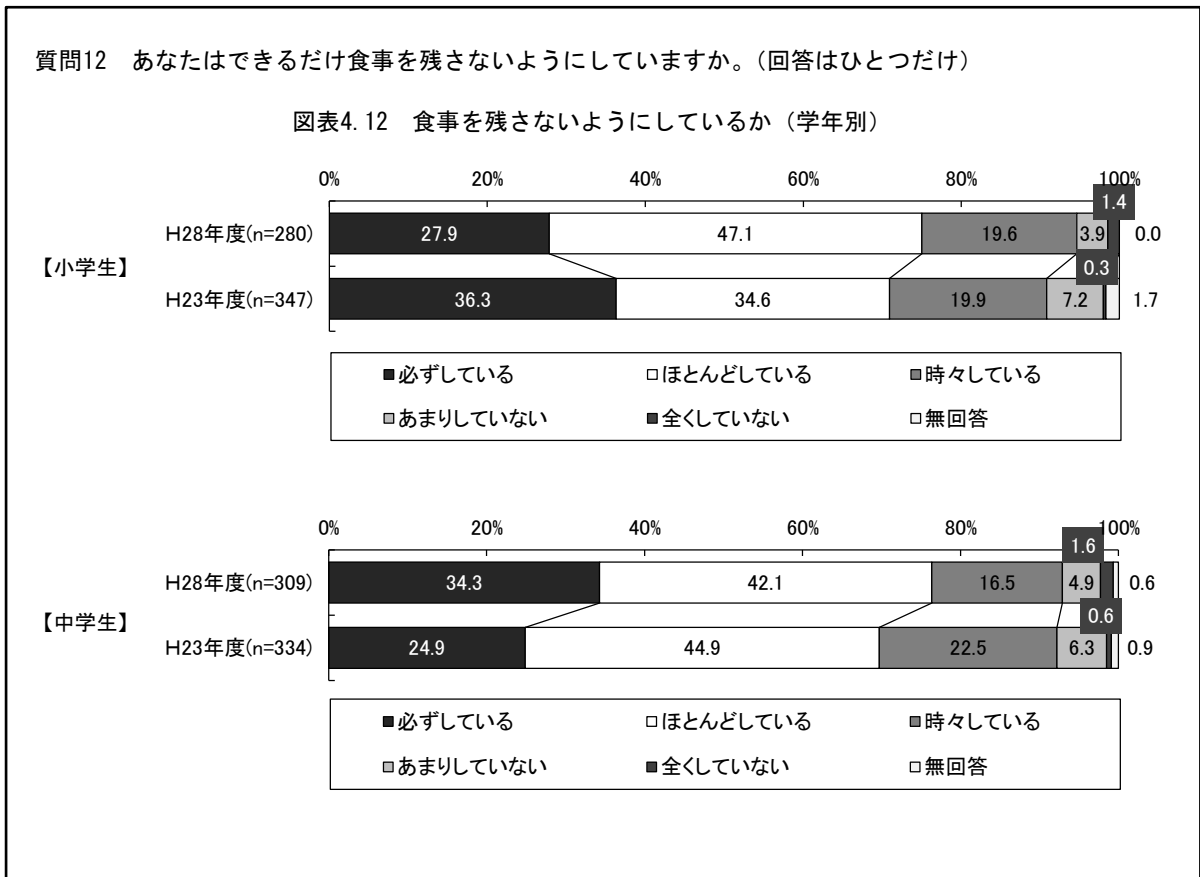
質問 11. 食事の際の会話について

- 小学生では「たくさん会話をする」(平成 23 年度：44.7%、平成 28 年度：49.3%) が、中学生では「少し会話をする」(平成 23 年度：49.7%、平成 28 年度：47.6%) が最も高くなっています。
- 「ほとんど会話をしない」と「全く会話をしない」を合わせると、小学生では平成 23 年度は 16.1%、平成 28 年度は 9.7%となっています。中学生では、平成 23 年度は 14.4%、平成 28 年度は 15.2%となっています。



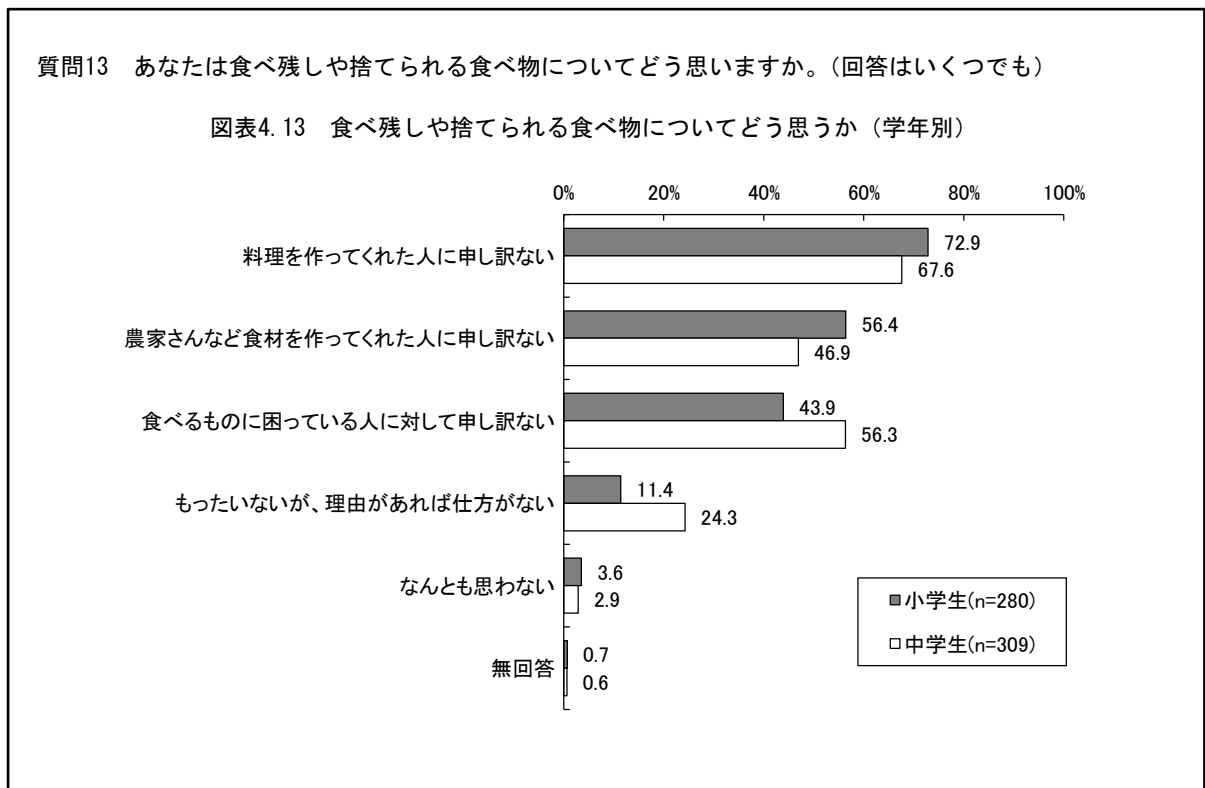
質問 12. 食事を残さないようにしているかについて

- 「ほとんどしている」(平成 23 年度：小学生 34.6%、中学生 44.9%) (平成 28 年度：小学生 47.1%、中学生 42.1%) が最も高く、次いで「必ずしている」(平成 23 年度：小学生 36.3%、中学生 24.9%) (平成 28 年度：小学生 27.9%、中学生 34.3%) となっています。
- 経年変化をみると、小学生では「必ずしている」が 8.4 ポイント減少し、「ほとんどしている」が 12.5 ポイント増加しています。中学生では、逆に「必ずしている」が 9.4 ポイント増加し、「ほとんどしている」が 2.8 ポイント減少しています。「必ずしている」と「ほとんどしている」を合わせると小学生・中学生ともに平成 23 年度を平成 28 年度が上回っています。



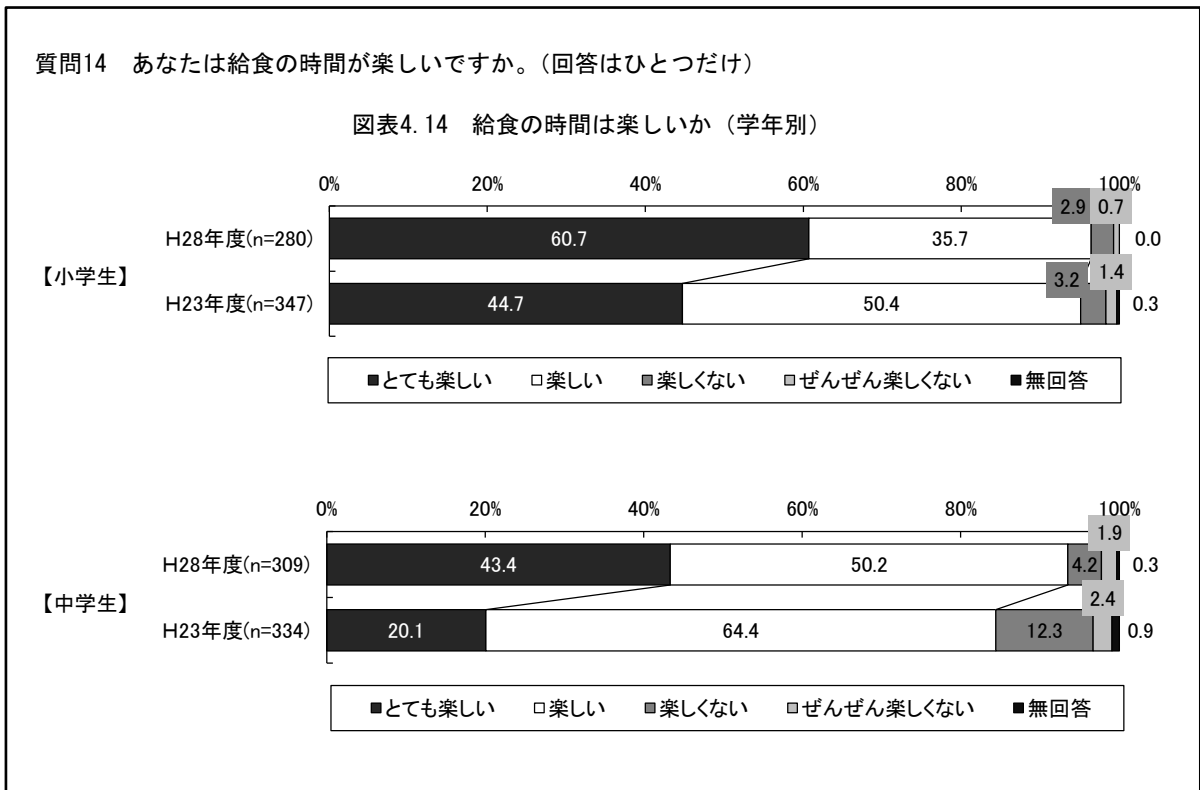
質問 13. 残飯について（平成 28 年度のみ設問）

- 「料理を作ってくれた人に申し訳ない」（小学生 72.9%、中学生 67.6%）が最も多く、次いで、小学生では「農家さんなど食材を作ってくれた人に申し訳ない」（56.4%）、中学生では「食べるものに困っている人に対して申し訳ない」（56.3%）となっています。



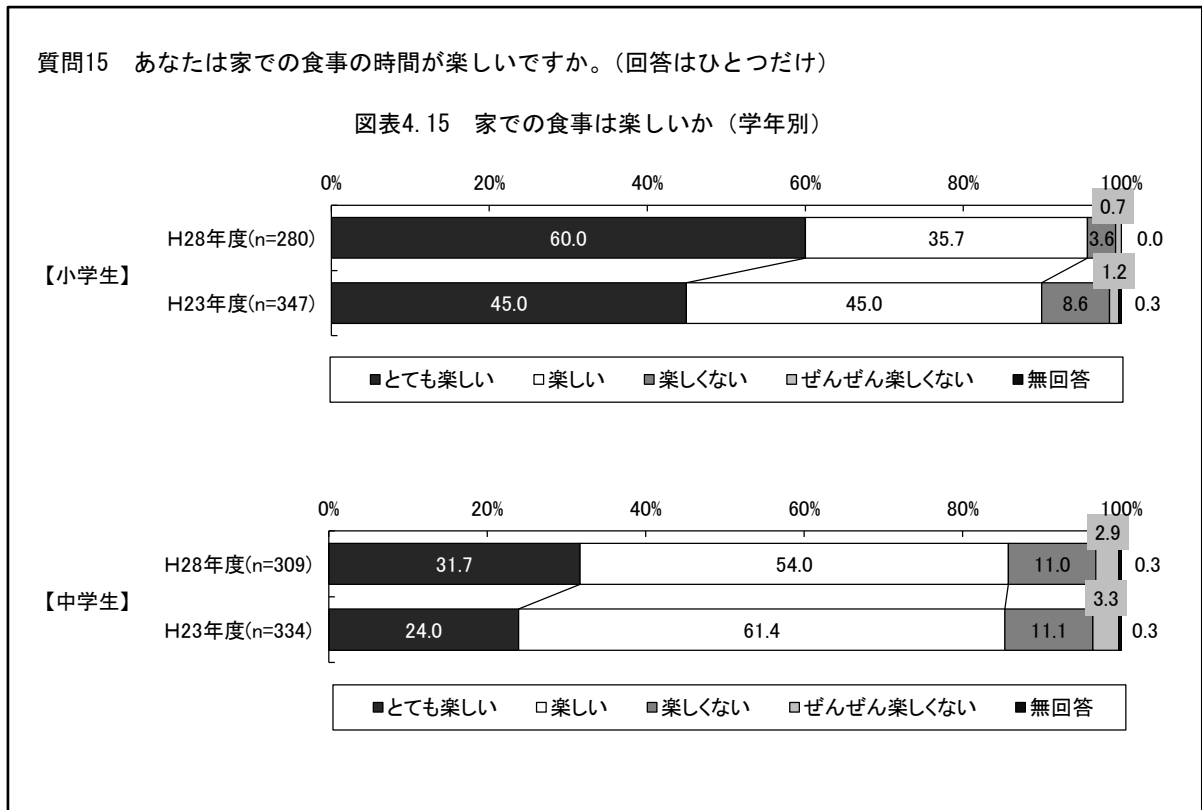
質問 14. 給食の時間について

- 小学生では、平成 23 年度は「とても楽しい」が 44.7%、「楽しい」が 50.4%となっていますが、平成 28 年度は「とても楽しい」が 60.7%、「楽しい」が 35.7%と「とても楽しい」が上回っています。
- 中学生では、「とても楽しい」が平成 23 年度の 20.1%から平成 28 年度は 43.4%と2倍以上になっています。一方、「楽しくない」は平成 23 年度の 12.3%から平成 28 年度は 4.2%と約3分の1になっています。



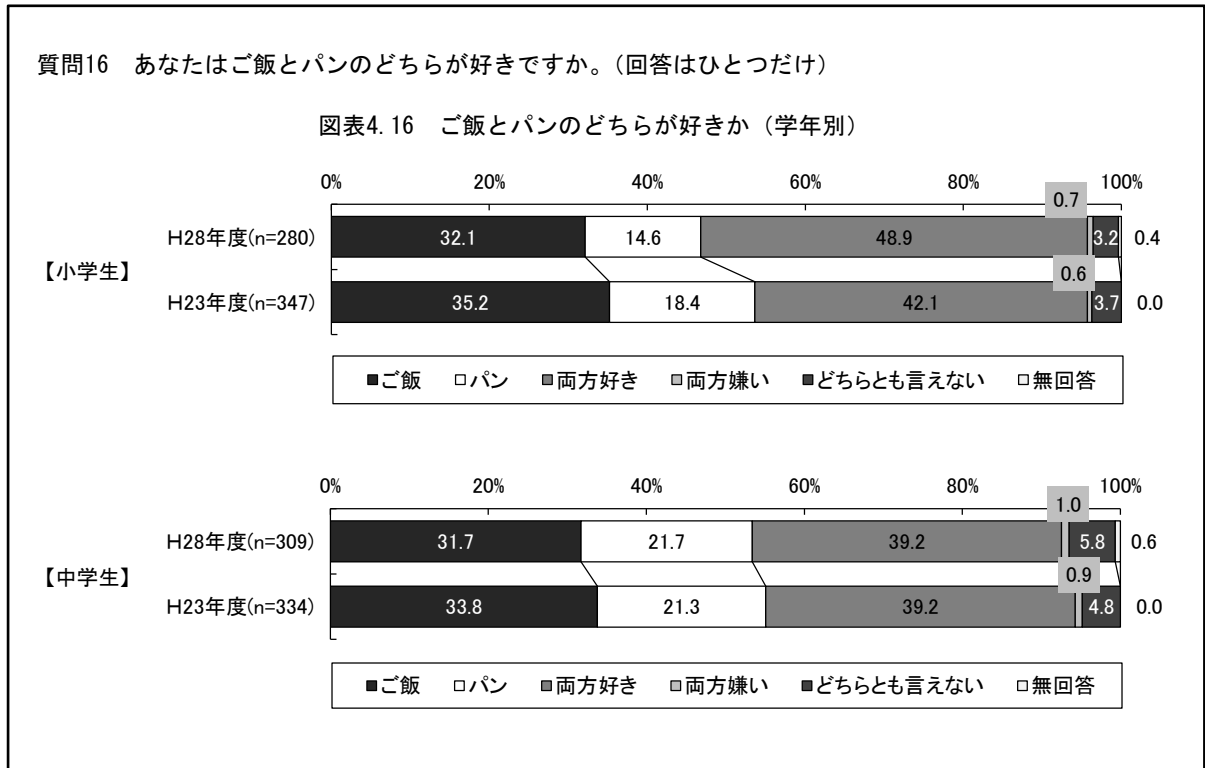
質問 15. 家での食事について

- 小学生では、平成 23 年度は「とても楽しい」（45.0%）と「楽しい」（45.0%）が同等ですが、平成 28 年度は「とても楽しい」（60.0%）が「楽しい」（35.7%）を大きく上回っています。
- 中学生でも、「とても楽しい」は平成 23 年度の 24.0%を平成 28 年度が 31.7%と 7.7 ポイント上回っています。
- 「楽しくない」と「ぜんぜん楽しくない」を合わせると、平成 28 年度では小学生で 4.3%、中学生で 13.9%となっています。



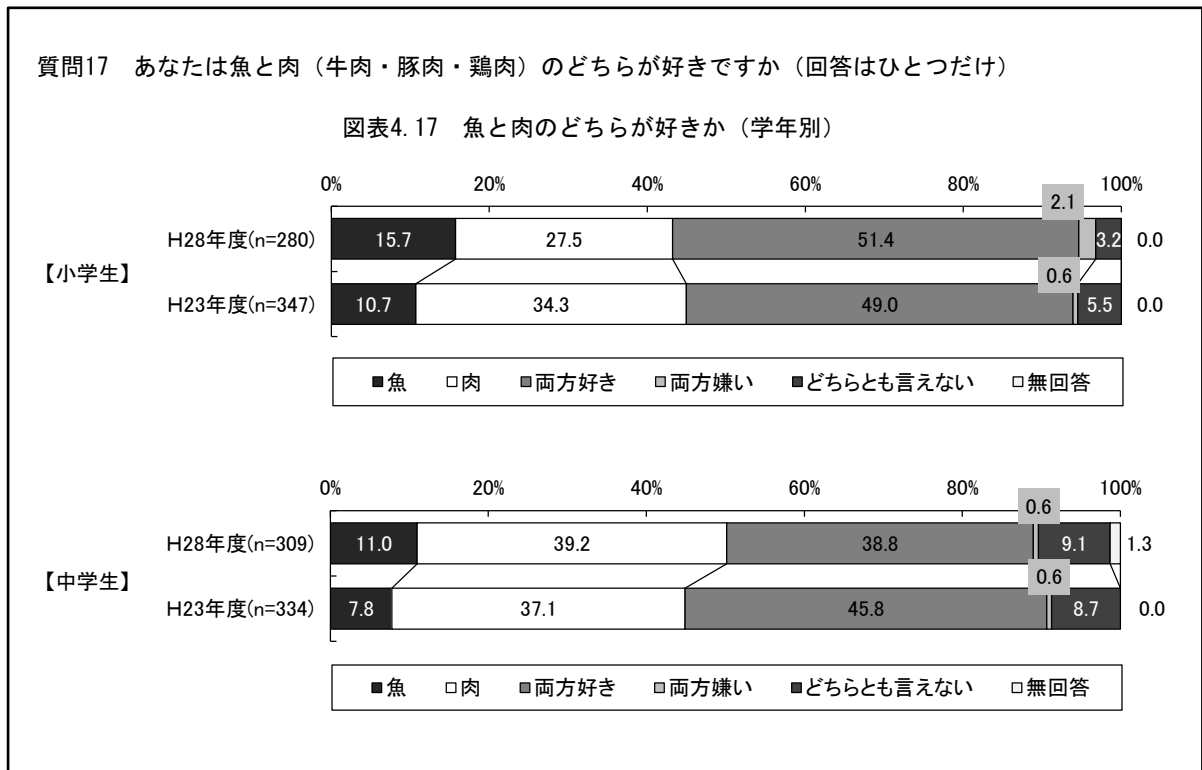
質問 16. ご飯とパンのどちらが好きかについて

- 「両方好き」(平成 23 年度:小学生 42.1%、中学生 39.2%)(平成 28 年度:小学生 48.9%、中学生 39.2%) が最も高く、次いで「ご飯」(平成 23 年度:小学生 35.2%、中学生 33.8%)(平成 28 年度:小学生 32.1%、中学生 31.7%) となっています。



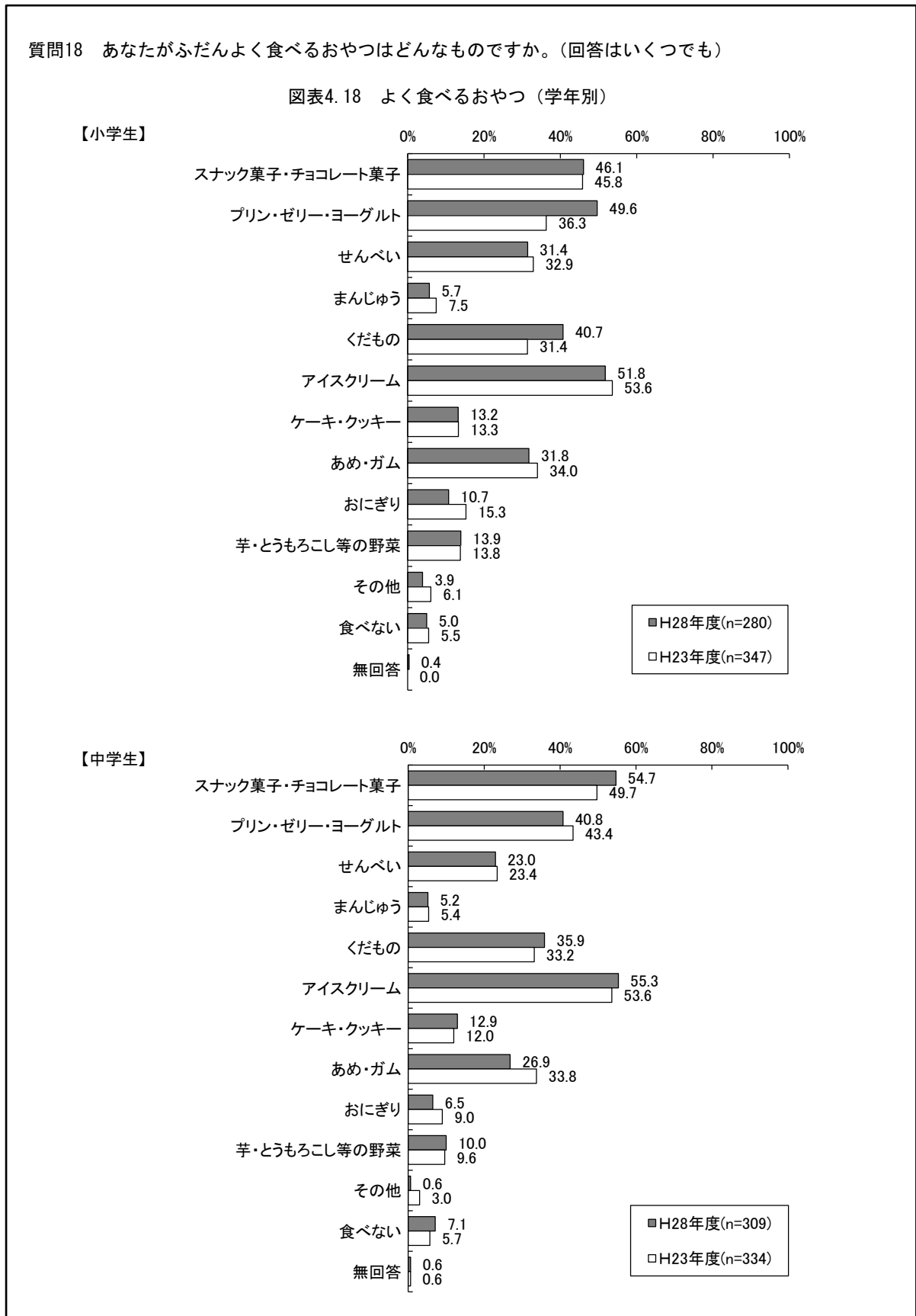
質問 17. 魚と肉のどちらが好きかについて

- 平成 23 年度は、「両方好き」（小学生 49.0%、中学生 45.8%）が最も高く、次いで「肉」（小学生 34.3%、中学生 37.1%）となっていますが、平成 28 年度では、中学生で「両方好き」（38.8%）を「肉」（39.2%）が上回り、最も高くなっています。



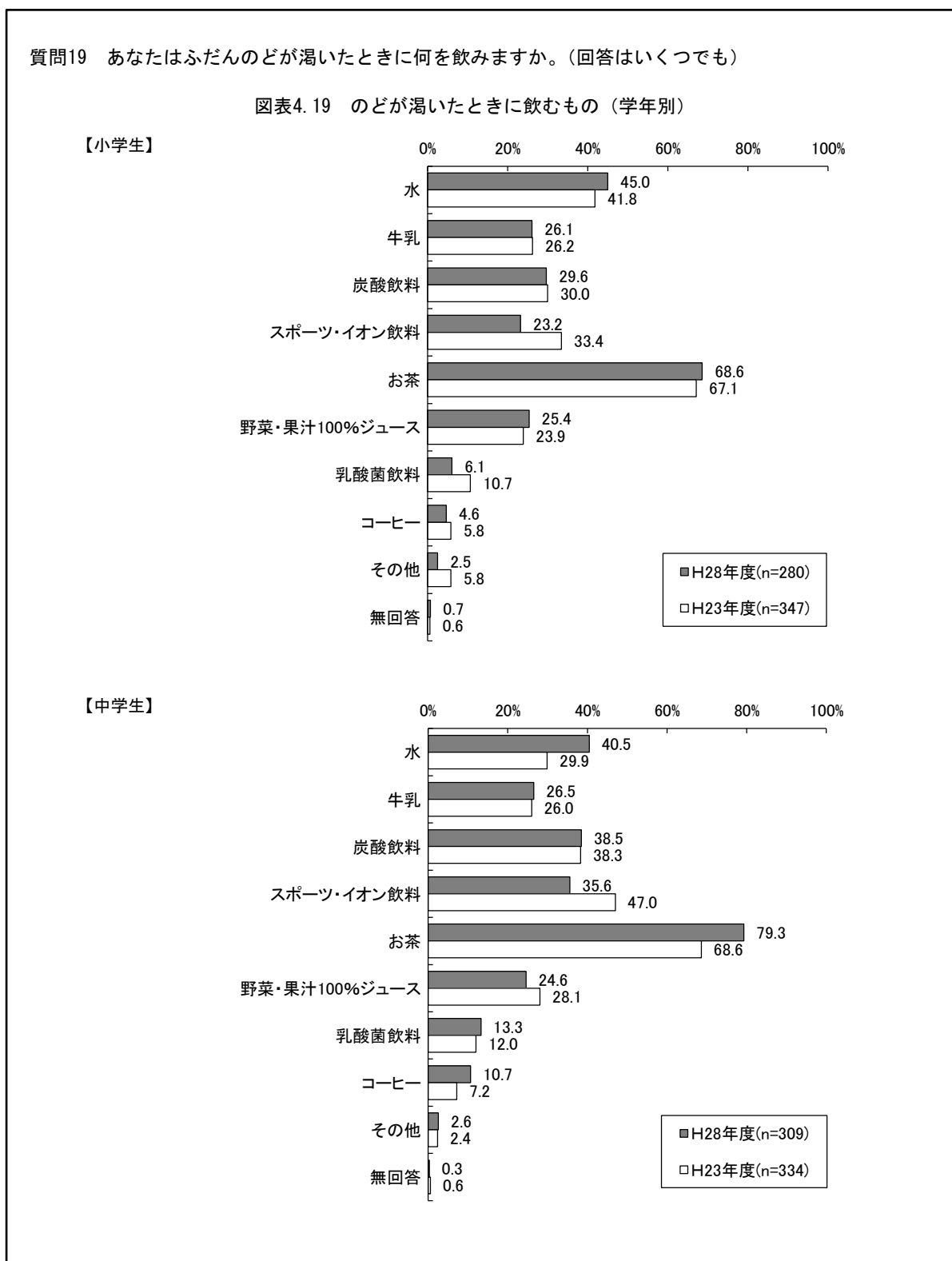
質問 18. よく食べるおやつについて

- 「アイスクリーム」が（平成23年度：小学生53.6%、中学生53.6%）（平成28年度：小学生51.8%、中学生55.3%）が最も高くなっています。



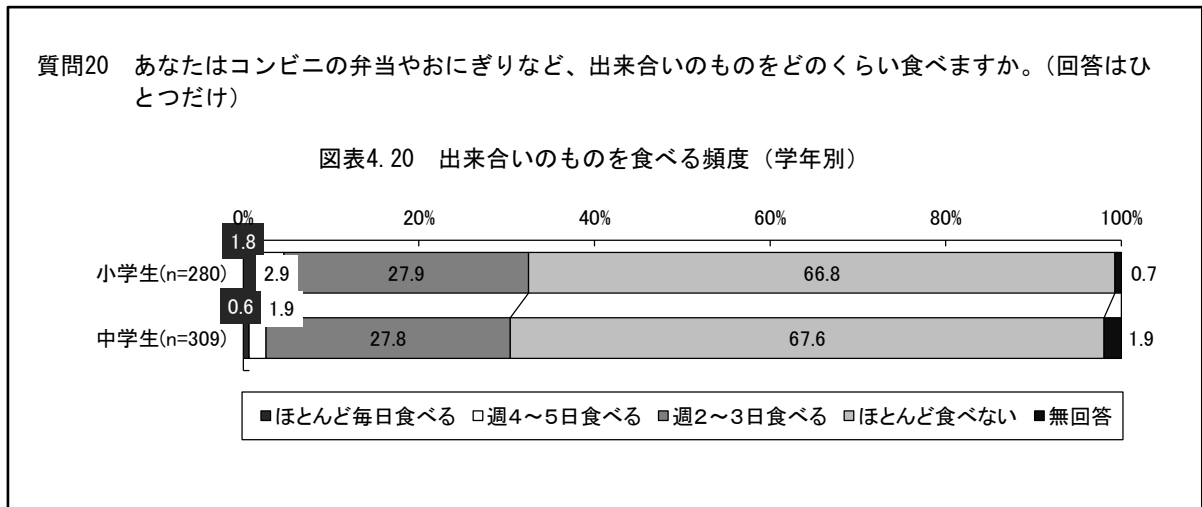
質問 19. のどが渴いたときに飲むものについて

- 「お茶」（平成 23 年度：小学生 67.1%、中学生 68.6%）（平成 28 年度：小学生 68.6%、中学生 79.3%）が最も高くなっています。
- 中学生では、平成 23 年度に第 2 位だった「スポーツ・イオン飲料」（平成 23 年度：47.0%、平成 28 年度：35.6%）は、平成 28 年度では「水」（40.5%）、「炭酸飲料」（38.5%）に次いで第 4 位となっています。



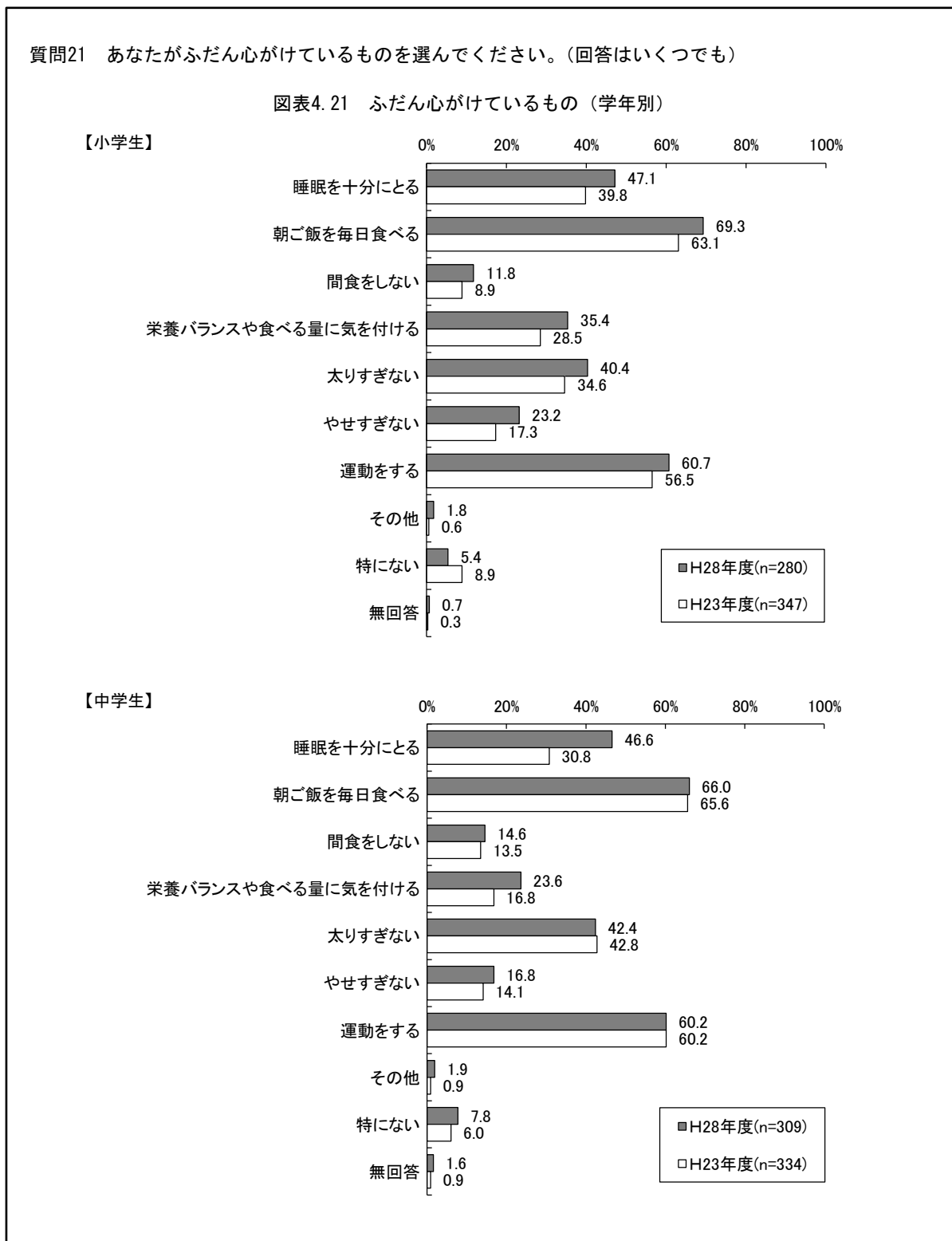
質問 20. 出来合いの食べ物について（平成 28 年度のみ設問）

- 「ほとんど食べない」（小学生 66.8%、中学生 67.6%）が最も多く、次いで「週2～3日食べる」（小学生 27.9%、中学生 27.8%）となっています。



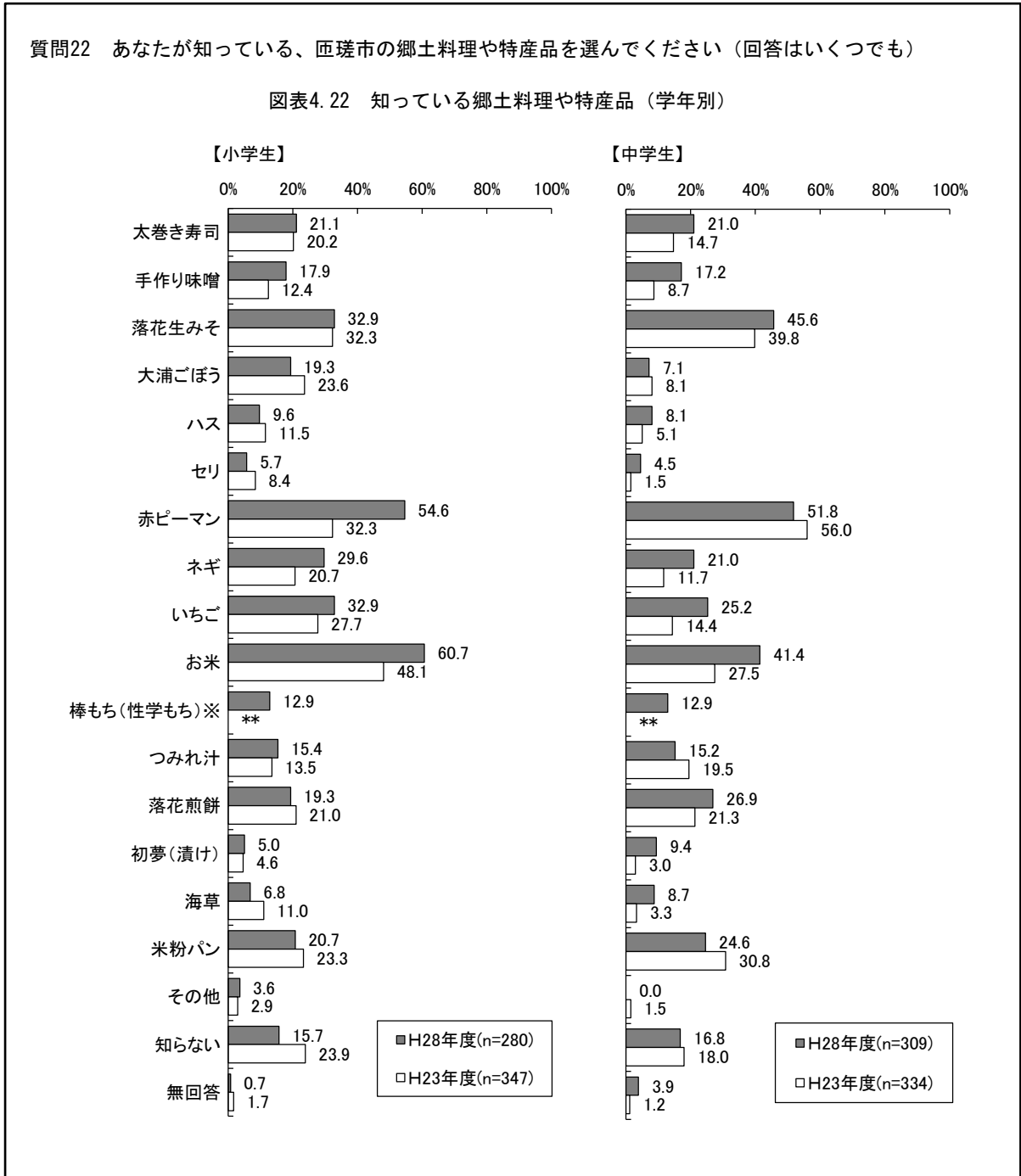
質問 21. ふだん心がけているものについて

- 「朝ご飯を毎日食べる」(平成 23 年度：小学生 63.1%、中学生 65.6%) (平成 28 年度：小学生 69.3%、中学生 66.0%) が最も高く、次いで「運動をする」(平成 23 年度：小学生 56.5%、中学生 60.2%) (平成 28 年度：小学生 60.7%、中学生 60.2%) となっています。



質問 22. 匠瑛市の郷土料理や特産物について

- 小学生では、「お米」（平成 23 年度：48.1%、平成 28 年度：60.7%）が最も高く、次いで「赤ピーマン」（平成 23 年度：32.3%、平成 28 年度：54.6%）となっています。
- 中学生では、「赤ピーマン」（平成 23 年度：56.0%、平成 28 年度：51.8%）が最も高く、次いで「落花生みそ」（平成 23 年度：39.8%、平成 28 年度：45.6%）となっています。



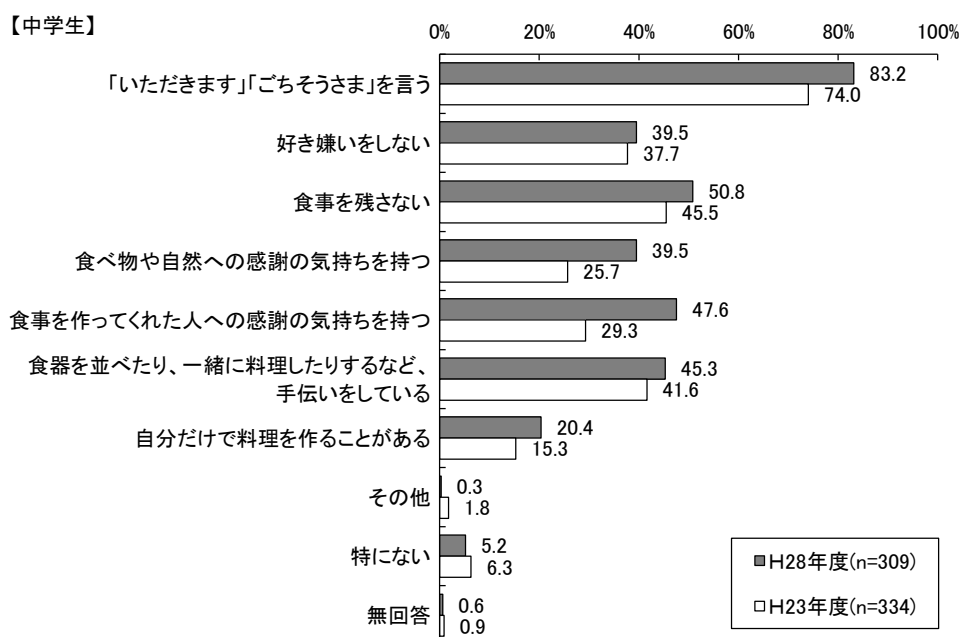
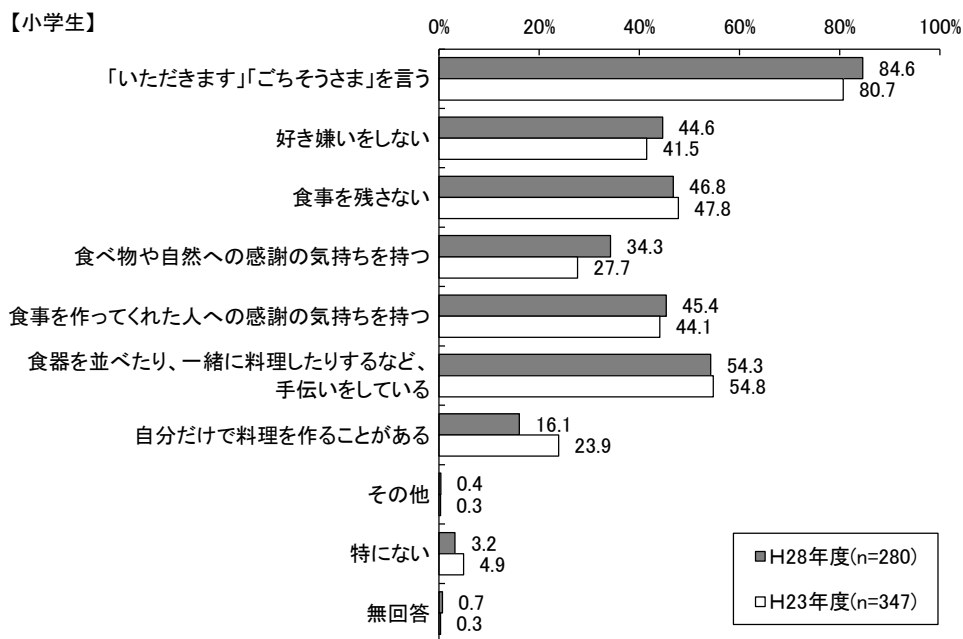
※平成23年度の回答選択肢に「棒もち（性学もち）」はありません。
 ※海草とは、海草を煮溶かし固めた料理です。

質問 23. 食事の際にしていることについて

- 『いただきます』『ごちそうさま』を言う（平成 23 年度：小学生 80.7%、中学生 74.0%）（平成 28 年度：小学生 84.6%、中学生 83.2%）が最も高く、次いで、小学生では「食器を並べたり、一緒に料理するなど、手伝いをしている」（平成 23 年度：54.8%、平成 28 年度：54.3%）、中学生では「食事を残さない」（平成 23 年度：45.5%、平成 28 年度：50.8%）となっています。

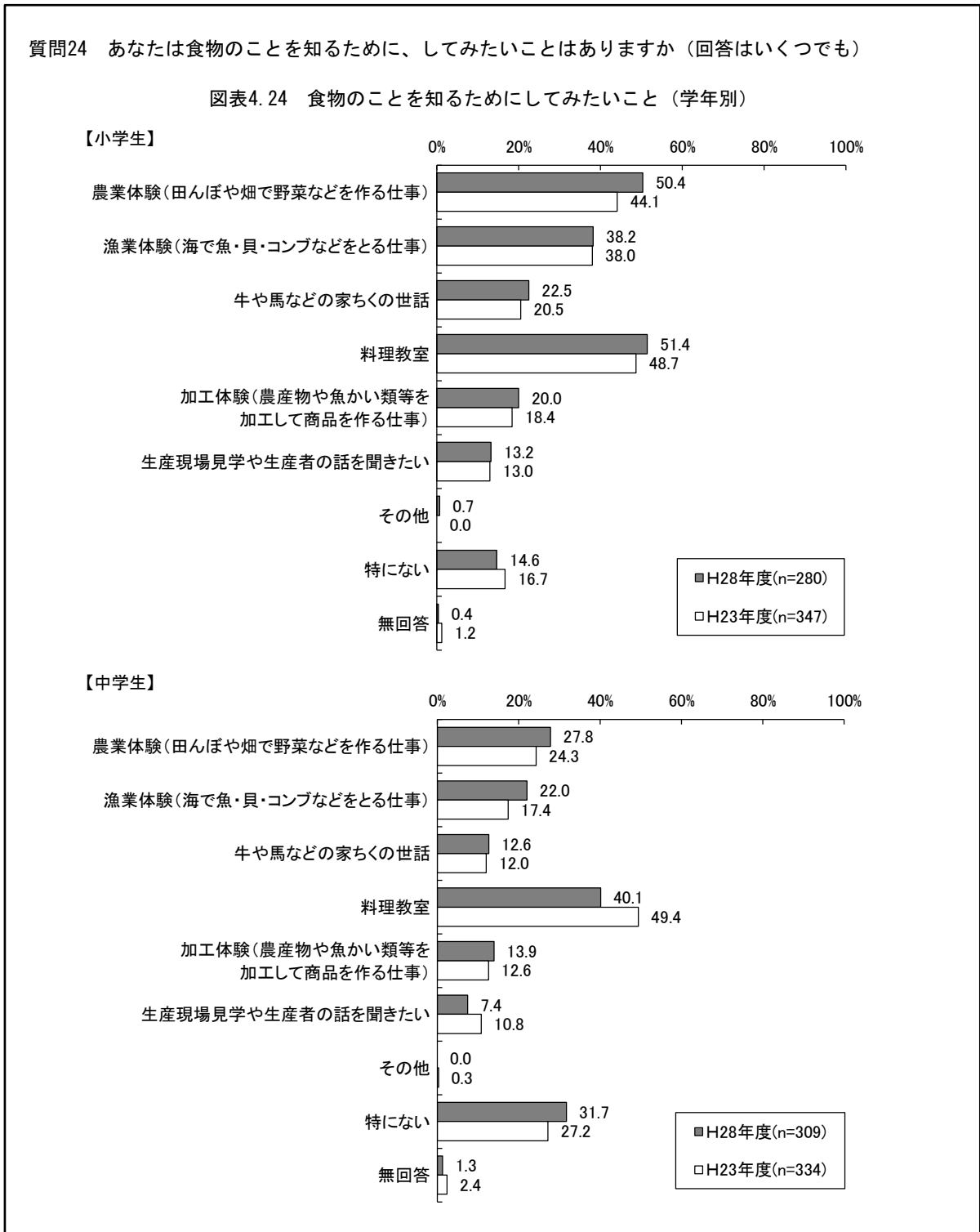
質問23 食事をするとき、あなたは以下のようなことをしていますか。（回答はいくつでも）

図表4.23 食事の際にしていること（学年別）



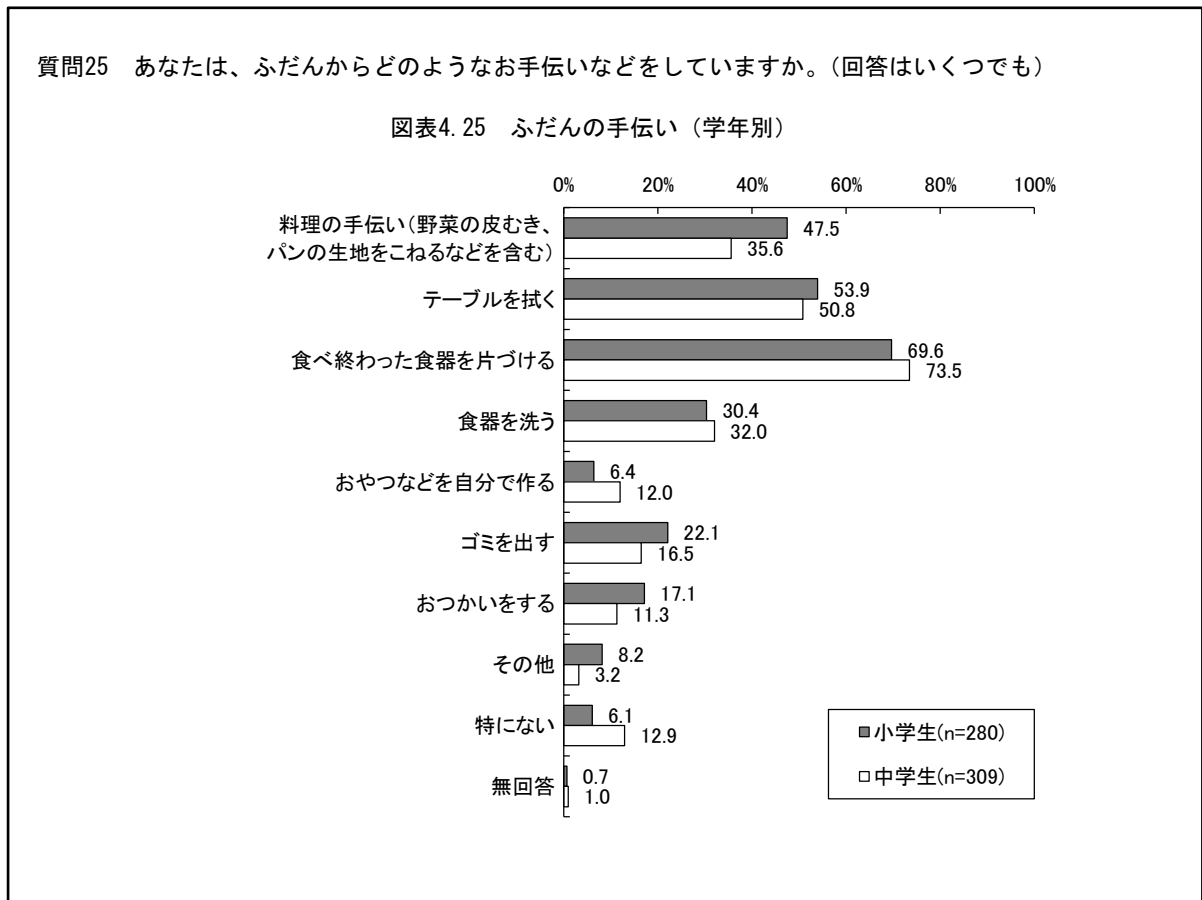
質問 24. 食物のことを知るためにしてみたいことについて

- 「料理教室」(平成 23 年度:小学生 48.7%、中学生 49.4%)(平成 28 年度:小学生 51.4%、中学生 40.1%) が最も高くなっています。
- 次いで、小学生では「農業体験(田んぼや畑で野菜などを作る仕事)」(平成 23 年度:44.1%、平成 28 年度:50.4%)、「漁業体験(海で魚・貝・コンブなどをとる仕事)」(平成 23 年度:38.0%、平成 28 年度:38.2%) が高くなっていますが、中学生では2割台に留まっています。
- 「特にない」は小学生では1割台ですが、中学生では3割前後と高くなっています。



質問 25. ふだんのお手伝いについて（平成 28 年度のみ設問）

- 「食べ終わった食器を片づける」（小学生 69.6%、中学生 73.5%）が最も多く、次いで「テーブルを拭く」（小学生 53.9%、中学生 50.8%）、「料理の手伝い（野菜の皮むき、パンの生地をこねるなどを含む）」（小学生 47.5%、中学生 35.6%）となっています。



「食べること」や「食」についての意見や感想について（自由記述）

小中学生

分類	主な内容	件数
食生活を整える	<p>○バランスが崩れてしまうことが多いので、なるべくバランスよく食べて風邪をひかないようにしたい。匝瑳市にもたくさんの健康によい食材があるので、食べていきたい。(女)</p> <p>○ぼくたちが健康に生活できているのは、全部、食べ物や飲み物があるからなんだと、改めて知りました。ぼくは、食べ物をあまり残さないようにしていますが食べないで、そのまま捨ててしまうことがあると聞いて、もったいないと思いました。なので、これからは、このようなことがないように、毎日残さず、食べようと思いました。(男)</p> <p>○世界には飢えや水不足が問題になっています。その国のほとんどは、川にある汚れた水を飲んでしまい病気などになり、医療がまだ発達していない国がほとんどなので苦しんでいる人がいるのにめぐまれている自分たちが食事を普通にとり、中には残してしまう人がいるので自分は毎日の食事に感謝して、できるだけ残さないようにしたいと思いました。(男)</p>	201
食事のマナーについて	<p>○家族とコミュニケーションをとりながら食す。よくかんで味を楽しみながら食す。(男)</p> <p>○しっかり大きな声「いただきます・ごちそうさまでした」を言う。(男)</p> <p>○食べることは、人にとって生きるために絶対に必要不可欠なことだと思う。食べているときに遊んだりけいたいをいじったりしていることは、食べている物に対してしつれいだと思う。(男)</p>	42
食育に望むこと	<p>○匝瑳市のきょうど料理の作り方をしりたいと思った。(男)</p> <p>○たくさんの食べ物を使った栄養のある料理が毎日食べられているが、その食べ物をつくる上でどのようなことをしているのか、どのような努力をしているのかを知れば、もっと食べることについて感謝の気持ちを持つことができるので農業などをやってみたい。(女)</p> <p>○農作業や漁業を体験して「食」について学びたいと思いました。(男)</p>	75
感謝の気持ちを持つ	<p>○食事をつくってくれた人や、自然などに感謝し、できるだけ残さず食べるようにしたい。(女)</p> <p>○「食べること」については残すことは料理を作っている人、食べ物に対して申し訳ないので、普段から気を付けようと思う。そして、料理を作っている人はいろいろ苦勞していると思う。なので、ぼくは感謝の気持ちを込めて食べようと思う。いつもはこのようなことを意識していなかったので食べ物ほど大切なことなのかということがわかった。(男)</p> <p>○”食べる”ということはいのちをいただくと同じことなので、今よりもっと”いただきます”や”ごちそうさまでした”を心を込めて言いたいと思った。好き嫌いはやっぱよくないな、と思った。(女)</p>	109
手伝い等をする	<p>○料理の作り方をたくさん知ってお母さんにおんがえししたい。(女)</p> <p>○家では農家の手伝いをきちんとしたくさんのお米や野菜がたべられるようにする。それに大人になったら田んぼの田植えをきかいでやってみたいです。(女)</p> <p>○自分で実際に料理をすると、普段のお母さんの苦勞がわかったり大変さを知る。なるべく片付けや準備をするように心がけているのでこれからも継続していきたい。(女)</p>	39

第5章

使用した調査票

第5章 使用した調査票

一般調査票

食育推進計画策定のためのアンケート調査

～ご協力をお願い～

日ごろ、市政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

匝瑳市では、平成24年3月に策定された「匝瑳市食育推進計画」に基づき食育の推進を進めておりますが、計画が本年度をもって修了することから「第2次食育推進計画（仮称）」を策定することとなりました。

策定にあたり、食に関する実情を把握するため、アンケート調査を実施いたします。

本調査は、市内にお住まいの16歳以上の方、600人を無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。

回答内容は計画策定のために利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたり、ほかの目的に利用することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年7月 匝瑳市長 太田 安規

～ご記入に際してのお願い～

- 1 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
- 2 お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 3 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
- 4 調査をお願いする方の抽出データは、平成28年7月1日現在のものですので、この日以降転出された方等に送付された場合はご容赦ください。

ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて

7月29日(金)までに、ポストに投函してください。

※調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

また、記入上の不明な点、調査についてのお問合せは下記までお願いします。

【お問い合わせ先】 匝瑳市 産業振興課 農政班
電話：0479-73-0089（直通）

I 食生活等の状況について

《以下の質問について、あてはまるものに○をつけてください。》

質問1 あなたは普段から朝食を食べますか。(回答はひとつだけ)

- | | | | |
|---|-----------|---|----------|
| 1 | ほとんど毎日食べる | → | 質問2へ |
| 2 | 週4～5日食べる | → | 質問2へ |
| 3 | 週2～3日食べる | → | 質問3、4、5へ |
| 4 | ほとんど食べない | → | 質問3、4、5へ |



【質問1で「1 ほとんど毎日食べる」「2 週4～5日食べる」を選んだ方のみ】

質問2 あなたは普段どのようなものを朝食で食べていますか。(回答はいくつでも)

- | | | | |
|---|--|---|----------------|
| 1 | ご飯・パン・麺
(主に炭水化物) | 4 | 牛乳・乳製品 |
| 2 | 肉・魚・卵・納豆などの大豆料理
(主にたんぱく質や脂肪) | 5 | 果物 |
| 3 | 野菜・芋料理・野菜たっぷりの汁物
(主にビタミン、ミネラル、食物繊維) | 6 | 菓子類(菓子パン含む) |
| | | 7 | コーヒー・紅茶・ジュースなど |
| | | 8 | その他() |

⇒質問6へ

【質問1で「3 週2～3日食べる」「4 ほとんど食べない」を選んだ方のみ】

質問3 あなたが朝食を食べなくなったのはいつ頃からですか。(回答はひとつだけ)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 小学生の頃から |
| 2 | 中学生の頃から |
| 3 | 高校生の頃から |
| 4 | 学生(大学・専門学校等)の頃から |
| 5 | 社会人になった頃から |
| 6 | 仕事が忙しくなった頃から(歳頃) |
| 7 | その他(歳頃から) |

【質問1で「3 週2～3日食べる」「4 ほとんど食べない」を選んだ方のみ】

質問4 あなたが朝食を食べない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--|
| 1 朝はできるだけ長く寝たいから | |
| 2 朝食を作る手間が面倒だから | |
| 3 朝食を用意したり、すすめてくれる人が身近にいないから | |
| 4 朝は食欲がないから | |
| 5 ダイエットをしているから | |
| 6 食費を抑えたいから | |
| 7 以前から朝食を食べる習慣がないから | |
| 8 食べない方が体調がいいから | |
| 9 朝食を食べなくても特に困らないから | |
| 10 その他() | |

続いて、以下の説明文をご覧ください。

健康のためには栄養バランスのとれた食事が必要です。栄養バランスのとれた食事の一つのポイントとして、「主食・主菜・副菜のそろった食事」があげられます。

主食 → ご飯・パン・種類等 (主に炭水化物)

主菜 → 肉・魚・卵・大豆製品等 (主にたんぱく質や脂肪)

副菜 → 野菜・海藻等 (主にビタミン、ミネラル、食物繊維)

(これに、乳製品や果物を適度にとると、更に健康に良いとされています。)

質問5 あなたは主食・主菜・副菜(上記説明文を参照ください)の3つがそろった食事を食べるのが、1日に2回以上あるのは週に何日ありますか。(回答はひとつだけ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 ほとんど毎日 | 3 週に2～3日 |
| 2 週に4～5日 | 4 ほとんどない |

質問6 あなたは普段から食事を抜くことがどのくらいありますか。(回答はひとつだけ)

- | |
|-------------------|
| 1 毎日1食以上(週7食以上)抜く |
| 2 週4～6食抜く |
| 3 週2～3食抜く |
| 4 週1食抜く |
| 5 食事を抜くことはない |

質問7 あなたの普段の食生活で、以下の項目について、当てはまるものを1つずつお選びください。(回答はひとつずつ)

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえばいえない	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
(1) 食事時間が楽しい	1	2	3	4	5
(2) 食事がおいしく食べられる	1	2	3	4	5
(3) 食事の時間が待ち遠しい	1	2	3	4	5
(4) 日々の食事に満足している	1	2	3	4	5

質問8 あなたはよくかんで食事をしていきますか。(回答はひとつだけ)

- 1 よくかんで食べている
- 2 どちらかといえば、よくかんで食べている
- 3 どちらかといえば、よくかまずに食べている
- 4 よくかまずに食べている

質問9 家で朝食を食べるとき、あなたは誰と一緒に食事をすることが多いですか。(回答はひとつだけ)

- 1 家族そろって食べる人が多い
- 2 家族の誰かと食べる人が多い
- 3 知人等と食べる人が多い
- 4 一人で食べる人が多い
- 5 その他 ()

質問10 家で夕食を食べるとき、あなたは誰と一緒に食事をする人が多いですか。(回答はひとつだけ)

- 1 家族そろって食べる人が多い
- 2 家族の誰かと食べる人が多い
- 3 知人等と食べる人が多い
- 4 一人で食べる人が多い
- 5 その他 ()

質問11 あなたは食生活において、どのようなことを実行していますか。あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

- | | | |
|----|-------------------------------------|---|
| 1 | 外食や出来合いの惣菜、インスタント食品等はなるべく避けるようにしている | |
| 2 | （家族がいれば）家族そろって食卓を囲み、会話をするようにしている | |
| 3 | 1日3回、規則正しい食事をする | |
| 4 | 食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う | |
| 5 | 自分で料理をしたり、家族の料理の手伝いをする | |
| 6 | 好き嫌いをしない | |
| 7 | 寝る前や夜遅くに食事をしない | |
| 8 | テレビや本、携帯電話を見ながら食事をしない | |
| 9 | 食べ過ぎない | |
| 10 | 塩分や糖分、脂肪をひかえる | |
| 11 | 野菜を多く食べる | |
| 12 | 地元産や旬の食材を取り入れた料理をつくる | |
| 13 | 食べ残しや廃棄を減らす努力をしている | |
| 14 | 料理教室等に参加する（おおむね1年に1回以上） | |
| 15 | 家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる（おおむね1年に1回以上） | |
| 16 | その他（ | ） |
| 17 | 特に気をつけていることはない | |

質問12 あなたは自分の食事や食卓に対して、どのような不安や不満をお持ちですか。あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

- | | | |
|----|------------------------------|---|
| 1 | どのような食事（栄養や量）をとればよいのか分からない | |
| 2 | つい好きなものだけを食べがちで、栄養バランスに偏りがある | |
| 3 | 食べる量が多めである | |
| 4 | 食費が気になる | |
| 5 | 家族や知人と食卓を囲む機会が少ない | |
| 6 | 間食が多い | |
| 7 | ゆっくりと食事をする時間がとれない | |
| 8 | 食べる時間が不規則である | |
| 9 | 早食いをしてしまう | |
| 10 | 人より食べるのが遅い | |
| 11 | その他（ | ） |
| 12 | 特に不安や不満は感じていない | |

質問13 あなたは以下のことについてご存知ですか。ご存知のものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

- 1 自分の適正体重
- 2 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の意味
- 3 自分の世代が1日に必要なエネルギー（キロカロリー）
- 4 「食事バランスガイド」（下図参照）の見方
- 5 日本の現在の食料自給率
- 6 農地は、癒し、リクリエーション、情操教育の場としても役立つこと
- 7 朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること
- 8 “いただきます”とは「食材の生命をいただいて私の命をつなぎます」という意味であること
- 9 どれも知らない



質問14 あなたは日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針等を参考にしていますか。（回答は3つまで）

- 1 食事バランスガイド
- 2 日本人の食事摂取基準（1日に必要なエネルギーや栄養素摂取量を目安にしたもの）
- 3 3色分類（食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの）
- 4 ちば型食生活食事実践ガイドブック
- 5 その他の指針（)
- 6 参考にしている指針はない
- 7 どの指針も知らない

Ⅱ 食育について

以下の説明文をご覧ください。

食育とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

質問15 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。（回答はひとつだけ）

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 言葉も意味も知らなかった

質問16 あなたは「食育」について関心がありますか。（回答はひとつだけ）

- 1 関心がある → **質問17**へ
- 2 どちらかといえば関心がある → **質問17**へ
- 3 どちらかといえば関心がない → **質問18**へ
- 4 関心がない → **質問18**へ
- 5 わからない → **質問18**へ

【質問16で「1 関心がある」「2 どちらかといえば関心がある」を回答された方のみ】

質問17 あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

- | | | |
|----|--------------------------------------|---|
| 1 | 子どもの心身の健全な発育のために必要だから | |
| 2 | 食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから | |
| 3 | 生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから | |
| 4 | 食中毒や食品表示偽装など、食品の安全確保が重要だから | |
| 5 | 食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから | |
| 6 | 消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから | |
| 7 | 大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから | |
| 8 | 自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから | |
| 9 | その他（ | ） |
| 10 | 特にない | |
| 11 | わからない | |

質問18 あなたは、食育は特にどういった人に対して進めていくべきだと思いますか。特に大切だと思う世代を3つお選びください。（回答は3つまで）

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 基本的な食習慣づくりが必要になる『乳幼児』 | |
| 2 | 心身の発育が著しい『小学生』 | |
| 3 | 自分の意思による食物選択が始まる『中高生』 | |
| 4 | いずれ家庭を築く世代である大学生・新社会人・新婚者等の『青年層』（おおむね18～30歳） | |
| 5 | 『妊婦や授乳婦、及びその夫や近親者』 | |
| 6 | 現在、育児を行っている『子どもの親』（おおむね25～45歳） | |
| 7 | 働き盛りで、自身の健康管理が必要となってくる『壮年層』（おおむね30～44歳） | |
| 8 | 体力が衰え、健康不安を抱えやすくなる『中年層』（おおむね45～64歳） | |
| 9 | 低栄養状態や一人きりの食卓になりやすい『高齢者層』（65歳以上） | |
| 10 | その他（ | ） |
| 11 | わからない | |

質問19 あなたは食育はどこで行われるべきだと思いますか。特に重要と思われる場所を3つお選びください。(回答は3つまで)

- | | |
|----|--------------------|
| 1 | 家庭 |
| 2 | 保育園・幼稚園 |
| 3 | 小学校 |
| 4 | 中学校 |
| 5 | 高校・大学 |
| 6 | 職場 |
| 7 | 飲食店や食品販売店 |
| 8 | 保健所や医療・福祉施設等の地域内機関 |
| 9 | その他 () |
| 10 | わからない |

質問20 あなたは食の安全性に対してどのように感じていますか。(回答はひとつだけ)

- | | | |
|---|--------------|---------|
| 1 | 不安を感じている | → 質問21へ |
| 2 | 多少は不安を感じている | → 質問21へ |
| 3 | 不安はあまり感じていない | → 質問22へ |
| 4 | 不安は感じていない | → 質問22へ |
| 5 | わからない | → 質問22へ |

【質問20で「1 不安を感じている」「2 多少は不安を感じている」に回答した方のみ】

質問21 食の安全性について、あなたが不安に感じることをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|----------------------|
| 1 | 製造年月日や賞味期限・消費期限 |
| 2 | 原産地・原産国 |
| 3 | 食品中の添加物や農薬等 |
| 4 | 食中毒(O-157やノロウイルス等) |
| 5 | アレルギー物質 |
| 6 | 遺伝子組み換え食品 |
| 7 | 放射性物質の農産物等への影響 |
| 8 | 衛生上問題のありそうな飲食店、食品取扱店 |
| 9 | その他 () |
| 10 | 特にない |

質問22 匝瑳市に関する以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。（回答はひとつずつ）

	当てはまる	当てはまる ところかといえは	当てはまる ところかといえは いいえ	当てはまる ところかといえは	当てはまる ところかといえは
(1) 匝瑳市では、必要な食材をスーパー、商店街などで購入することができる	1	2	3	4	5
(2) 匝瑳市は、食の安全面で信頼できるお店や生産者が多い	1	2	3	4	5
(3) 匝瑳市では、食の栄養面や安全面に対する人々の関心は高いと思う	1	2	3	4	5
(4) 匝瑳市では、食の文化や伝統、季節性などを大事にしていると思う	1	2	3	4	5
(5) 匝瑳市では、食に関する必要な情報が得られると思う	1	2	3	4	5
(6) 匝瑳市では、食をテーマにした取組やイベントが活発だと思う	1	2	3	4	5

質問23 あなたは、ここ1ヶ月以内に市内産や県内産の食材を購入しましたか。（回答はひとつだけ）

- 1 市内産を購入した
- 2 県内産を購入した
- 3 市内産も県内産も購入した
- 4 市内産も県内産も購入していない（県外産を購入した）
- 5 わからない

質問24 あなたが知っている、匠瑤市の郷土料理や特産品をお選びください。(回答はいくつでも)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1 太巻き寿司 | 10 お米 |
| 2 手作り味噌 | 11 棒もち(性学もち) |
| 3 落花生みそ | 12 つみれ汁 |
| 4 大浦ごぼう | 13 落花煎餅 |
| 5 ハス | 14 初夢(漬け) |
| 6 セリ | 15 海草(海草を煮溶かし固めた料理) |
| 7 赤ピーマン | 16 米粉パン |
| 8 ネギ | 17 その他() |
| 9 いちご | 18 知らない |

質問25 あなたは地元農産物(市内産や県内産)のよい点は、どのようなところにあると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

- | |
|------------------|
| 1 新鮮 |
| 2 安全・安心 |
| 3 おいしい |
| 4 価格が安い・量が多い |
| 5 栄養価が高い |
| 6 環境にやさしい |
| 7 その他() |
| 8 わからないが、イメージがよい |
| 9 特に地元産がよいとは思わない |

質問26 あなたは家庭において、行事食を伴う伝統的な行事を年間どの程度行っていますか。(回答はいくつでも)

- ◆参考：正月(1月：おせち料理・お雑煮・七草粥等) 節分(2月：豆等)
 桃の節句(3月：五目ずし等) 春分の日(3月：ぼた餅等)
 端午の節句(5月：ちまき・かしわ餅等) 七夕(7月：そうめん等)
 土用(7月：うなぎ等) お盆(8月：団子等) 十五夜(9月：月見団子等)
 秋分の日(9月：おはぎ等) 冬至(12月：かぼちゃ料理等)
 大晦日(12月：そば等)

- | | |
|--------|----------|
| 1 7回以上 | 4 1~2回 |
| 2 5~6回 | 5 全く行わない |
| 3 3~4回 | |

質問27 国が定めた「食育月間」は6月で、「食育の日」は毎月19日、また、千葉県が定めた「食育月間」は11月となっていますが、あなたが知っているものはどれですか。（回答はいくつでも）

- 1 国の「食育月間」
- 2 「食育の日」
- 3 県の「食育月間」
- 4 どれも知らなかった

以下の説明文をご覧ください。

地元の食材を地元で消費する取り組みを「地産地消*」（ちさんちしょう）と言います。

*千葉県では「千産千消」とも表現しています。

質問28 この地産地消を進めていく上で、あなたが必要だと思うものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

- 1 スーパーや八百屋に地元農産物コーナーを設置する
- 2 農産物直売所の充実を図る
- 3 飲食店や弁当屋等で、地元農産物をより多く利用する
- 4 （学校や福祉施設等での）給食で、地元農産物をより多く利用する
- 5 地元農産物のPR・宣伝（地産地消フェアやパンフレット提供等）をする
- 6 地元農産物の品質（鮮度・安全性・おいしさ等）や生産量を高める
- 7 その他（ ）
- 8 わからない
- 9 地産地消の必要はない
理由：（ ）

質問29 あなたは、食育に関するボランティア活動（講演、調理実習の受け入れ、それらのサポート活動など）に参加してみたいと思いますか。（回答はひとつ）

- 1 参加してみたい
- 2 条件が合えば参加してみたい
- 3 参加したくはないが興味はある
- 4 参加したくない
- 5 食育に関するボランティア活動のイメージがわからない

質問30 あなたは食育を通してどのようなことを知りたいですか。特にあてはまるものを3つまでお選びください。(回答は3つまで)

- | | | |
|----|-----------------------------|--|
| 1 | 仕事や勉強の効率を高める食事のとり方 | |
| 2 | 若さや活力、美容に良い食事のとり方 | |
| 3 | 家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方 | |
| 4 | 食品表示や食の安全に関する知識 | |
| 5 | 手軽につくれる料理の仕方 | |
| 6 | おいしい食材の見分け方 | |
| 7 | 家庭菜園や農業体験等、食生産を通して得られる感動や体験 | |
| 8 | 食事のマナーや礼儀作法、食文化 | |
| 9 | その他() | |
| 10 | 知りたいことはない | |

質問31 食育を進めるにあたって、あなたが「行政や地域社会」に期待したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

- | | | |
|----|-----------------------------|--|
| 1 | 自分や家族の健康状態・ライフスタイルに応じた食事の提案 | |
| 2 | 食生活や食育に関する情報提供・相談窓口の強化 | |
| 3 | 乳幼児期からの食育の推進 | |
| 4 | 健康的で安全な食材や料理を提供するお店の紹介・PR | |
| 5 | 食育セミナーや食育体験ツアー、イベント等の開催 | |
| 6 | 地産地消の推進 | |
| 7 | 農薬や添加物を減らす等、より安全な食品生産・製造の指導 | |
| 8 | 郷土料理や地元の食文化の伝承 | |
| 9 | その他() | |
| 10 | 期待することは何もない | |

最後にあなたのことについておたずねします

FS 1 あなたの性別はどちらですか。(回答はひとつだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

FS 2 あなたの年代はどれですか。(回答はひとつだけ)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1 10代 | 4 40代 | 7 70歳以上 |
| 2 20代 | 5 50代 | |
| 3 30代 | 6 60代 | |

FS 3 あなたのご職業は何ですか。(回答はひとつだけ)

- | |
|--------------------------|
| 1 正社員・公務員・団体職員 |
| 2 自営業・自由業 |
| 3 パート・アルバイト(派遣社員・臨時職員含む) |
| 4 専業主婦 |
| 5 学生(大学・専門学校等) |
| 6 高校生 |
| 7 無職 |
| 8 その他() |

FS 4 同居している家族構成はどれですか。(回答はひとつだけ)

- | |
|--------------------|
| 1 単身 |
| 2 夫婦のみ |
| 3 二世帯家族(親と子ども) |
| 4 三世帯家族(祖父母と子どもと孫) |
| 5 その他() |

FS 5 あなたは自分の健康状態について、どのようにお感じですか。(回答はひとつだけ)

- | |
|-------------|
| 1 とても良い |
| 2 まあ良い |
| 3 どちらともいえない |
| 4 あまり良くない |
| 5 良くない |

F S 6 あなたの平日の平均起床時刻をお選びください。（回答はひとつだけ）

1 午前5時以前	4 午前7時台
2 午前5時台	5 午前8時台
3 午前6時台	6 午前9時以降

F S 7 あなたの平日の平均就寝時刻をお選びください。（回答はひとつだけ）

1 午後8時以前	5 午後11時台
2 午後8時台	6 午後12時台
3 午後9時台	7 午前1時台
4 午後10時台	8 午前2時以降

食育に関する意見や感想、また、よりよい食生活を楽しむためにあなたが今後心がけたいこと・やってみたいこと等、ご自由にお書きください。（自由回答）

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。
 記入もれがないかどうかもう一度お確かめの上、
 同封の返信用封筒に入れて**7月29日（金）**までに
 お近くのポストに投函してください。

食育に関するアンケート調査

【小中学生用】

みなさん、こんにちは。

「食べること」は、私たちの命や健康のもとになるだけでなく、豊かな心をはぐくむためにも大切なことです。また、みなさんにとって「食べること」は、将来の夢に向かって羽ばたく力を身につけるためにも大切なことです。

現在、匠瑛市では、一人ひとりの食生活をよくするためのまちづくりに取り組んでいます。そこで、みんなで協力して匠瑛市の「食」に関する問題を解決していくための計画を作ることになりました。

このアンケート調査では、みなさんの「食べること」についての考えや、ふだん取り組んでいることなどについて意見を聞いて、この計画作りに生かしていきたいと考えていますので、あなたが思ったとおりに教えてください。

ご協力をお願いします。

平成 28 年 7 月

匠瑛市長 太田 安規

～ご記入に際してのお願い～

- 1 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
- 2 お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。

ご記入が終わったら、先生の指示があるまでお待ちください。

【調査をしているところ】 匠瑛市 産業振興課 農政班
電話：0479-73-0089（直通）

《以下の質問について、あてはまるものに○をつけてください。》

以下の説明文をご覧ください。

食育とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

質問1 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(回答はひとつだけ)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 言葉も意味も知っていた |
| 2 | 言葉は知っていたが、意味は知らなかった |
| 3 | 言葉も意味も知らなかった |

質問2 あなたは、ふだん朝ご飯を食べますか。(回答はひとつだけ)

- | | | | |
|---|-----------|---|--------|
| 1 | ほとんど毎日食べる | → | 質問3、4へ |
| 2 | 週4～5日食べる | → | 質問3、4へ |
| 3 | 週2～3日食べる | → | 質問5へ |
| 4 | ほとんど食べない | → | 質問5へ |

【質問2で1、2を選んだ方のみ】

質問3 あなたはふだんどのような朝ご飯を食べていますか。(回答はいくつでも)

- | | | | |
|---|-------------------|---|----------------|
| 1 | ごはん・パン・めん | 5 | くだもの |
| 2 | 肉・魚・卵・納豆などの大豆料理 | 6 | お菓子類(菓子パン含む) |
| 3 | 野菜・いも料理・野菜たっぷりの汁物 | 7 | コーヒー・紅茶・ジュースなど |
| 4 | 牛乳・乳製品 | 8 | その他() |

【質問2で1、2を選んだ方のみ】

質問4 あなたは家族と一緒に朝ご飯を食べますか。(回答はひとつだけ)

- | | |
|---|---|
| 1 | 家族そろって食べることが多い |
| 2 | 家族の誰かと食べるが多い |
| 3 | 一人で食べるが多い
(3を選んだ場合、その理由：家族が仕事で遅い・塾や習い事がある・その他) |
| 4 | その他() |

⇒質問6へ

【質問2で3、4を選んだ方のみ】

質問5 あなたが朝ご飯を食べない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。
(回答はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1 朝はできるだけ長く寝たいから |
| 2 朝ご飯を用意したりすすめてくれる人が身近にいないから |
| 3 朝は食欲がないから |
| 4 ダイエットをしているから |
| 5 以前から朝ご飯を食べる習慣がないから |
| 6 食べない方が体調がいいから |
| 7 朝ご飯を食べなくても特に困らないから |
| 8 その他 () |

質問6 あなたはふだん学校のある日は、朝何時くらいに起きますか。(回答はひとつだけ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 6時より前 | 4 7時くらい |
| 2 6時くらい | 5 7時半くらい |
| 3 6時半くらい | 6 8時くらい |

質問7 あなたはふだん学校のある日は、夜何時くらいに寝ますか。(回答はひとつだけ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 午後8時より前 | 5 午後11時台 |
| 2 午後8時台 | 6 午後12時台 |
| 3 午後9時台 | 7 午前1時台 |
| 4 午後10時台 | 8 午前1時より後 |

質問8 あなたは朝すっきり目が覚めますか。(回答はひとつだけ)

- | |
|-----------------|
| 1 すっきり目が覚める |
| 2 少し眠い |
| 3 眠くてなかなか起きられない |

質問9 あなたは家族と一緒に夜ご飯を食べますか。(回答はひとつだけ)

- | |
|---|
| 1 家族そろって食べることが多い |
| 2 家族の誰かと食べることが多い |
| 3 一人で食べることが多い
(3を選んだ場合、その理由：家族が仕事で遅い・塾や習い事がある・その他) |
| 4 その他 () |

質問10 あなたは夜ご飯を何時くらいに食べますか。(一番多い時間帯をひとつだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 午後6時より前 | 5 午後7時半～8時 |
| 2 午後6時～6時半 | 6 午後8時～8時半 |
| 3 午後6時半～7時 | 7 午後8時半～9時 |
| 4 午後7時～7時半 | 8 午後9時より後 |

質問11 あなたは食事の際、家族と会話をしますか。(回答はひとつだけ)

- | |
|--------------|
| 1 たくさん会話をする |
| 2 少し会話をする |
| 3 ほとんど会話をしない |
| 4 全く会話をしない |

質問12 あなたはできるだけ食事を残さないようにしていますか。(回答はひとつだけ)

- | |
|------------|
| 1 必ずしている |
| 2 ほとんどしている |
| 3 時々している |
| 4 あまりしていない |
| 5 全くしていない |

質問13 あなたは食べ残しや捨てられる食べ物についてどう思いますか。(回答はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1 料理を作ってくれた人に申し訳ない |
| 2 農家さんなど食材を作ってくれた人に申し訳ない |
| 3 食べるものに困っている人に対して申し訳ない |
| 4 もったいないが、理由があれば仕方がない |
| 5 何とも思わない |

質問14 あなたは給食の時間が楽しいですか。(回答はひとつだけ)

- | |
|-------------|
| 1 とても楽しい |
| 2 まあ楽しい |
| 3 あまり楽しくない |
| 4 ぜんぜん楽しくない |

質問15 あなたは家での食事の時間が楽しいですか。(回答はひとつだけ)

- 1 とても楽しい
- 2 まあ楽しい
- 3 あまり楽しくない
- 4 ぜんぜん楽しくない

質問16 あなたはご飯とパンのどちらが好きですか。(回答はひとつだけ)

- 1 ご飯
- 2 パン
- 3 両方好き
- 4 両方嫌い
- 5 どちらとも言えない

質問17 あなたは魚と肉(牛肉・豚肉・鶏肉)のどちらが好きですか。(回答はひとつだけ)

- 1 魚
- 2 肉
- 3 両方好き
- 4 両方嫌い
- 5 どちらとも言えない

質問18 あなたがふだんよく食べるおやつはどんなものですか。(回答はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 スナック菓子・チョコレート菓子 | 7 ケーキ・クッキー |
| 2 プリン・ゼリー・ヨーグルト | 8 あめ・ガム |
| 3 せんべい | 9 自分・家族が作るおにぎり |
| 4 まんじゅう | 10 芋・とうもろこし等の野菜 |
| 5 くだもの | 11 その他() |
| 6 アイスcream | 12 食べない |

質問19 あなたはふだんのどが滯いたときに何を飲みますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 水 | 6 野菜・果汁100%ジュース |
| 2 牛乳 | 7 乳酸菌飲料 |
| 3 炭酸飲料 | 8 コーヒー |
| 4 スポーツ・イオン飲料 | 9 その他() |
| 5 お茶 | |

質問20 あなたはコンビニの弁当やおにぎりなど、出来合いのものをどのくらい食べますか。
(回答はひとつだけ)

- | | |
|---|-----------|
| 1 | ほとんど毎日食べる |
| 2 | 週4～5日食べる |
| 3 | 週2～3日食べる |
| 4 | ほとんど食べない |

質問21 あなたがふだん心がけているものを選んでください。(回答はいくつでも)

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 睡眠を十分にとる |
| 2 | 朝ご飯を毎日食べる |
| 3 | 間食をしない |
| 4 | 栄養のバランスや食べる量に気をつける |
| 5 | 太りすぎない |
| 6 | やせすぎない |
| 7 | 運動をする |
| 8 | その他() |
| 9 | 特にない |

質問22 あなたが知っている、匠瑛市の郷土料理や特産品を選んでください。(回答はいくつでも)

- | | | | |
|---|-------|----|------------------|
| 1 | 太巻き寿司 | 10 | お米 |
| 2 | 手作り味噌 | 11 | 棒もち(性学もち) |
| 3 | 落花生みそ | 12 | つみれ汁 |
| 4 | 大浦ごぼう | 13 | 落花煎餅 |
| 5 | ハス | 14 | 初夢(漬け) |
| 6 | セリ | 15 | 海草(海草を煮溶かし固めた料理) |
| 7 | 赤ピーマン | 16 | 米粉パン |
| 8 | ネギ | 17 | その他() |
| 9 | いちご | 18 | 知らない |

質問23 食事をするとき、あなたは以下のようなことをしていますか。(回答はいくつでも)

- 1 「いただきます」「ごちそうさま」を言う
- 2 好き嫌いをしない
- 3 食事を残さない
- 4 食べ物や自然への感謝の気持ちを持つ
- 5 食事を作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ
- 6 食器を並べたり、一緒に料理したりするなど、手伝いをしている
- 7 自分だけで料理を作ることがある
- 8 その他()
- 9 特にしていない

質問24 あなたは食物のことを知るために、してみたいことはありますか。(回答はいくつでも)

- 1 農業体験(田んぼや畑で野菜などを作る仕事)
- 2 漁業体験(海で魚・貝・コンブなどをとる仕事)
- 3 牛や馬などの家畜の世話
- 4 料理教室
- 5 加工体験(農産物や魚かい類等を加工して商品をつくる仕事)
- 6 生産現場見学や生産者の話を聞きたい
- 7 その他()
- 8 特にない

質問25 あなたは、ふだんからどのようなお手伝いなどをしていますか。(回答はいくつでも)

- 1 料理の手伝い(野菜の皮むき、パンの生地をこねるなどを含む)
- 2 テーブルを拭く
- 3 食べ終わった食器を片づける
- 4 食器を洗う
- 5 おやつなどを自分で作る
- 6 ゴミを出す
- 7 おつかいをする
- 8 その他()
- 9 特にない

食育推進計画策定のためのアンケート調査報告書

発行日：平成 28 年 10 月

発行：千葉県匝瑳市

〒289-2198

千葉県匝瑳市八日市場ハ 793-2

編集：匝瑳市役所産業振興課

TEL：0479-73-0089

URL：<http://www.city.sosa.lg.jp/>